

アプリケーション操作ガイド

(Windows 95インストール)

- パソコン通信をする
- マルチメディア機能を利用する
- こんな機能もあります
- その他の機能を使う
- インターネットを利用する
- アプリケーションの削除と追加



98 MATE

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を、無断で他に転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は、万全を期して作成しております。万一、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3) 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
 - ・ 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NIFTY MANAGERは、ニフティ(株)の商標です。

その他の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

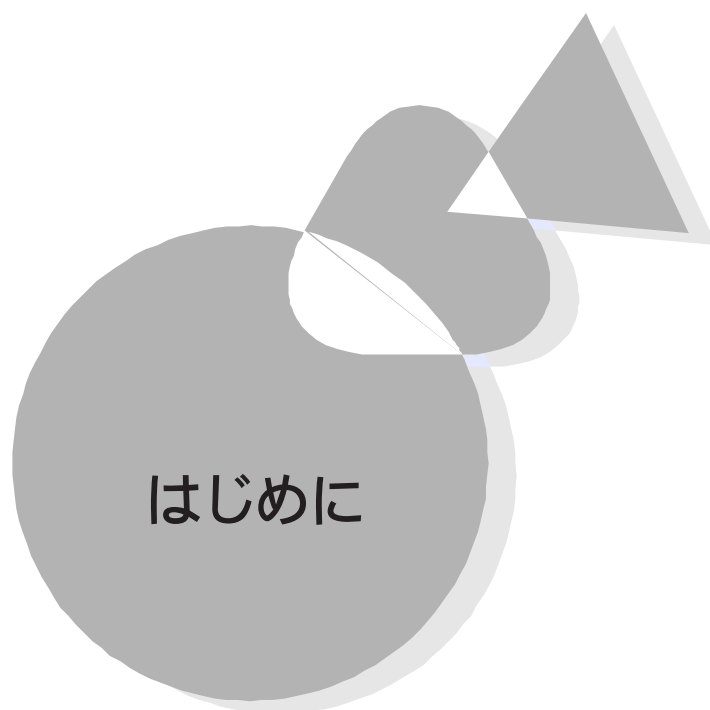
Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

© NEC Corporation 1997, 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

DN8C1A

808-882706-013-A



はじめに

本機には、さまざまなアプリケーションが添付されており、購入したその日から使い始めることができるようになっています。

本書はそれらのアプリケーションの紹介と基本的な使い方について説明しています。

このマニュアルの構成

このマニュアルは次の内容で構成されています。

なお、このマニュアルは次の機種を対象にしています。

- ・ PC-9821 Ra266/W30R
- ・ PC-9821 Xa20/W30R
- ・ PC-9821 Xa200/W30R
- ・ PC-9821 Ra333/W60*
- ・ PC-9821 Ra300/W40*

*PC-9821 Ra266/W30Rをそれぞれに読み替えてください。



Part 1 パソコン通信をする

本機でPC-VANやNIFTY-SERVEに接続するための設定方法について説明しています。



Part 2 マルチメディア機能を利用する

CDを再生するのに便利なソフトについて説明しています。




Part 3 こんな機能もあります

本機を使いこなすのに便利なツールについて説明しています。




Part 4 その他の機能を使う

購入時にはセットアップされていない機能のセットアップ方法と使い方について説明しています。



Part 5 インターネットを利用する

本機でインターネットを利用する方法や注意事項について説明しています。



Part 6 アプリケーションの削除と追加

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除方法と削除したアプリケーションの再追加方法について説明しています。



付録

本機を利用するための補足情報です。

本書では、次のアプリケーションについての操作説明はしていません。
アプリケーションの操作説明については、「Microsoft® Windows®95ファーストステップ
ガイド」またはオンラインヘルプを参照してください。

- ・ Windows 95のアクセサリ類

次の情報については、本機に添付されている次のマニュアルを参照してください。

- ・ Windows 95の基本操作について知りたい
『かんたんスタートガイド』
『Microsoft® Windows®95 ファーストステップガイド』
- ・ Windows 95以外のOSを使いたい
『再セットアップガイド』
- ・ システムを再セットアップしたい
『再セットアップガイド』
- ・ MS-DOSモードで使いたい
『ステップアップガイド』
- ・ ハードウェアの設定について知りたい
『ステップアップガイド』

ソフトウェアの最新情報のお知らせ

製品の最新情報、ソフトウェアのアップデートサービスの情報（ソフトウェアの強化・修正情報、モジュールの入手情報）を、FAXサービス、パソコン通信、インターネットでご案内しております。

- ・ NECパソコン情報FAXサービス
FAX 東京：(03)3769-9821
大阪：(06)304-9821
- ・ パソコン通信
PC-VAN NECパソコン情報（J NECPC）
NIFTY-SERVE NEC Information Center Forum（GO FNECINFO）
- ・ インターネット
98 Information URL <http://www.nec.co.jp/98/>

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号には、次のような意味があります。



行ってはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。場合によっては、本機が故障したり、本機で使用しているソフトウェアや、お客様が作成されたデータが壊れたりする可能性もあります。



参考にしていただきたいことを説明しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

[XXX]	[]で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックス、ボタンなどの名前を表しています。例：[OK]ボタン
ESC	キーボードのキーは、枠で囲んで表記しています。
バックアップ CD-ROM	本機に添付している「アプリケーションCD-ROM/バックアップCD-ROM(OSを除く)」を指しています。

記載されているアプリケーションなどの製品正式名称は、以下のとおりです。

本文中の表記	正式名称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System

安全にお使いいただくために



警告

本機に添付のCD-ROMは、CD-ROM対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。
大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカを破損する恐れがあります。

目次

はじめに	
このマニュアルの構成	iv
このマニュアルの表記について	vii



Part 1 パソコン通信をする

PC-VANを利用する～PC-VANナビゲータ	3
BIGLOBEに入会する	3
PC-VANに接続する	11
AOLを利用する～AOLへのご招待	14
NIFTY-SERVEを利用する～NIFTY MANAGER	15
NIFTY MANAGERのインストール	15
NIFTY MANAGERの削除	17
NIFTY-SERVEに接続する	17



Part 2 マルチメディア機能を利用する

オーディオCD/ビデオCD/フォトCDを再生する～98プレーヤー	22
CDを再生する	23
オーディオCDを聴く	24
ビデオCD(カラオケCD)を見る	26
オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する	29
フォトCDを見る	30
MPEG動画を再生する	32
NEC Soft MPEG 1.0に関する注意事項	33
マルチメディア機能を使う場合の注意	34
メディアプレーヤーを利用する場合のご注意	34
ビデオCD(カラオケCD)を再生する場合のご注意	34




Part 3 こんな機能もあります

DMIT00Lを利用する	36
98Timerを使う	46
他のパソコンからのリモートコントロールを受ける ～pcANYWHEREプラス(ホスト専用版).....	52
コンピュータウイルスに備える～ウイルススキャン	58
スキャンワクチンを使ってウイルスを検査する	58
ウイルスを除去する	60
かな漢字変換(NECAIME95)を利用する	62




Part 4 その他の機能を使う

インストールされていない機能を追加する	66
LANシリーズのデータを見る～LANWORD、LANPLAN/G、LANFILE ファイルのクイック表示	71
英語モードフォントを使用する	73
DOS APインストーラ	75
MS-DOSアプリケーションをインストールしてショートカットを 作成する	76
MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成する	81
DOS APインストーラの注意事項	82
手作業によるアプリケーションの登録	83
アプリケーションを利用する際の注意	85



Part 5 インターネットを利用する

インターネットに接続する	88
LANによる接続	88
モデムによる接続	97
BIGLOBEと契約する～BIGLOBEに入会する	98
インターネットに接続するための設定を行う～インターネット接続	100
インターネットに接続する～インターネットエクスプローラ	113
インターネットエクスプローラを使う～Microsoft Internet Explorer ...	117
ページを表示する	117
情報を入手する	123
インターネットメールを使う～Outlook Express	126
インターネットメール	126
インターネット上で会議する～Microsoft NetMeeting	145



Part 6 アプリケーションの削除と追加

アプリケーションを削除する	148
コントロールパネルを使って削除する	150
アンインストール機能を使って削除する	158
削除したアプリケーションを再追加する	161



付録

ツール一覧	174
-------------	-----

索引	177
----------	-----

パソコン通信をする

本機でPC-VANやNIFTY-SERVEに接続するための設定方法について説明しています。

PC-VANを利用する

AOLを利用する

NIFTY-SERVEを利用する

パソコン通信とは

パソコン通信とは、電話回線を通して、他のパソコンと情報をやりとりすることです。パソコン通信を使えば、仕事や趣味に役立つ情報を入手したり、知らない人と知り会えたりすることができます。

PC-VANとNIFTY-SERVEは、どちらも国内最大級のパソコン通信サービスです。これらのサービスを利用するには、ユーザー登録をして、会員になる必要があります。本機のPC-VANナビゲータやNIFTY MANAGERを使えば、簡単にユーザー登録を行ったり、サービスを利用することができます。

PC-VANを利用する場合は「PC-VANを利用する」を、NIFTY-SERVEを利用する場合は、「ニフティーサーブ イントロパック」を参照してください。

パソコン通信をするには

パソコン通信ができるようになるには、次の手順で行います。

通信環境(モデムなど)の準備

パソコン通信をするためには、別売のモデム、モデムカードまたはモデムボード(以降モデム)が必要です。本書「Part5 インターネットを利用する」の「モデムによる接続」および、モデムに添付のマニュアルを参照して、本機とモデム、およびモデムと電話回線を正しく接続し、Windowsで使用できるように設定してください。

また、PC-VANについては、LANで接続することが可能です。

後述の「PC-VANに接続する」の「PC-VANへの接続」の通信設定でTELNET接続を行う場合の設定(ポート番号をTELNETにする等)を行い、接続します。

ユーザー登録

PC-VANの場合は「BIGLOBE(入会申込)」NIFTY-SERVEの場合は「NIFTY サインアップ」を使って、それぞれのパソコン通信サービスと契約(サインアップ)をします。

以降の「BIGLOBEに入会する」または「ニフティーサーブ イントロパック」の手順で、ユーザー登録を行ってください。

通信設定

[PC-VANナビゲータ]や[NIFTY MANAGER]で通信を行うための設定を行います。

以降の「PC-VANに接続する」や「NIFTY-SERVEに接続する」を参照して、通信設定を行ってください。

以上の手順でパソコン通信ができるようになります。

PC-VANを利用する ～PC-VANナビゲータ

パソコン通信サービス「PC-VAN」のサービスを利用するためには、まず最初にPC-VANにユーザー登録する必要があります。

ユーザー登録の方法については、次の「BIGLOBEに入会する」をご覧ください。なお、すでにユーザー登録されている場合は「PC-VANに接続する」にお進みください。

BIGLOBEに入会する

BIGLOBE とは

「BIGLOBE」は、インターネットとパソコン通信を融合し、発展させた新しいスタイルのネットワークサービスです。インターネットをフル活用できるのはもちろん、パソコン通信サービスPC-VANから受け継いだ豊富なメニューもIDひとつでお楽しみ頂けます。

他のプロバイダと比較したBIGLOBEの特徴

- ・インターネットもパソコン通信もひとつのIDで利用可能
- ・お手頃料金で利用可能
- ・365日、24時間のユーザーサポート（BIGLOBEカスタマーサポート）
- ・国内最大級のアクセスポイントの設置
- ・利用者の利用勝手を考えた入会コースをご用意
- ・ホームページ「CYBER PLAZA」を自ら運営。最新技術を駆使したコンテンツを日々提供!!

「BIGLOBE」のサービスとしては以下の四種類があります。（コース内容は予告なく変更することがありますのでご注意ください。）

ばりばり15コース

BIGLOBE が提供するインターネットサービスとパソコン通信サービスのフル機能をお手頃な料金でご利用いただけるコースです。（旧ばりばり/らくらくコース）

わいわいコース

パソコン通信もインターネットも使った分だけという従量制のコースです。パーソナルホームページやメールングリストもご利用頂けます。

るんるんコース

BIGLOBE以外のインターネット接続会社と契約されている方にインターネットコンテンツサービス「BIGLOBE CYBER PLAZA」の有料メニューをご利用頂くためのコースです。ホットなオンラインマガジンをお楽しみください。

ばりばり50コース

インターネットもパソコン通信ももっとばりばり使いたいという方にお得な長時間利用コースです。

詳しくは本体添付の「BIGLOBEおいでまし - ト」および、本体インストールソフト「BIGLOBE」の説明をご覧ください。

入会申込の準備

次のものをご用意ください。

- ・ クレジットカード(本人名義のもの)
- ・ 本機添付の「BIGLOBEおいでましシート」

以降のサインアップでは、BIGLOBE サービスのコースを選択します。あらかじめ「BIGLOBEおいでましシート」を参照して、ご利用になりたいコースを選んでおいてください。



なお、ここでは、主に「わいわいコース」での手順について説明します。

入会申し込みをする

BIGLOBEの入会申し込みを行います。

- 1 [スタート]メニューの[プログラム]から[Biglobe] - [入会申込]をクリックします。BIGLOBEサインアップナビが起動します
- 2 [BIGLOBEに今すぐ入会しよう! 画面で「次へ」ボタンをクリックします。



3 オンラインサインアップセンターへの接続テストおよび最新情報の入手を行います。以下の設定を行います。

ここをクリックして電話回線用または非同期ISDN回線用の番号を選択する

ここをクリックして、使用するモデムを選択する

4 サインアップセンターの電話番号と使用モデムを設定したら、[ダイヤル設定変更] ボタンをクリックします。

ここをクリック

5 [所在地情報] 画面が表示された場合は、[国番号]で「日本」を、[市外局番]にご自分の市外局番を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

本機をお使いの場所の市外局番を入力

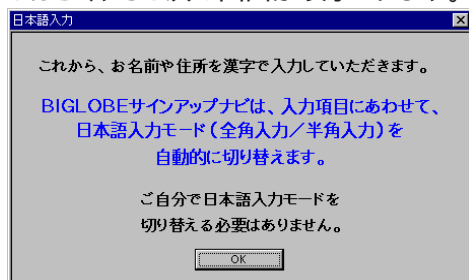
外線発信が必要な場合は番号を入力

お使いの電話回線を指定するどちらかわからない場合はNTTにお問い合わせください

[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示された場合は、画面に表示されている内容が正しいかどうか確認して、[OK] ボタンをクリックします。

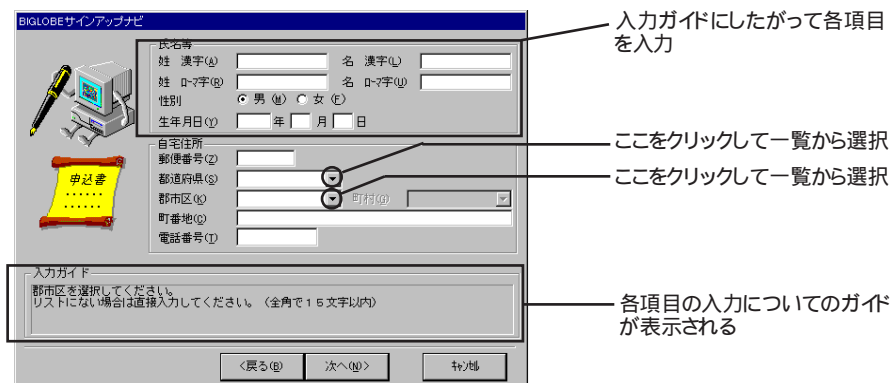
- 6** 設定が終わったら、[設定完了] ボタンをクリックします。
サインアップセンターへの接続テストと最新情報の入手が自動的に行われます。

しばらくすると次の画面が表示されます。



内容を確認して、[OK] ボタンをクリックします。

- 7** 氏名や自宅住所を入力する画面が表示されます。画面下部の『入力ガイド』にしたがって、各項目を入力してください。次の項目に移るには、その項目をマウスでクリックするか、または、キーボードの[TAB]キーを押してください。



すべて入力したら、[次へ] ボタンをクリックします。

- 8 クレジットカードや入会コースについて入力する画面が表示されます。画面下部の「入力ガイド」にしたがって、各項目を入力してください。次の項目に移るには、その項目をマウスでクリックするか、または、キーボードの[TAB]キーを押してください。

The screenshot shows a window titled "BIGLOBEサインアップナビ". On the left, there are logos for "BIGLOBE BESH", "BIGLOBE TRIP TELKA", and "BIGLOBE PC-VAN". The main area is divided into two sections: "クレジットカード" (Credit Card) and "コース選択" (Course Selection). The "クレジットカード" section has a dropdown menu for "カードの種類" (Card Type), a text box for "カードの番号" (Card Number), and checkboxes for "有効期限" (Valid Period) with "年" (Year) and "月" (Month) boxes. The "コース選択" section has a dropdown menu for "コース名" (Course Name) with "ばりばり15コース" selected. Below these is an "入力ガイド" (Input Guide) section with text: "使用するクレジットカードを選択してください。なお、カード名義人は申込者ご本人に限らせていただきます。" At the bottom are buttons: "コース選択が完了" (Course Selection Complete), "<戻る" (Back), "次へ" (Next), and "キャンセル" (Cancel). An arrow points from the text "ここをクリックして一覧から選択" (Click here to select from the list) to the "カードの種類" dropdown menu.

すべて入力したら[次へ]ボタンをクリックします。

- 9 入会方法や情報誌購読についての入力する画面が表示されます。

The screenshot shows a window titled "BIGLOBEサインアップナビ". On the left, there are icons for a pen and a computer, and a yellow envelope icon labeled "申込書" (Application Form). The main area is divided into three sections: "入会方法" (Membership Method) with text boxes for "優待ID" (Privilege ID) and "パスワード" (Password), both containing "necpc003"; "情報誌購読" (Magazine Subscription) with a radio button for "情報誌 SAAI isara の購読" (Subscription to SAAI isara magazine) set to "する" (Yes) and "しない" (No); and "インターネットメールのアカウント" (Internet Mail Account) with three text boxes for "第1希望" (1st Choice), "第2希望" (2nd Choice), and "第3希望" (3rd Choice). Below these is an "入力ガイド" (Input Guide) section with text: "情報誌 SAAI isara 定期購読(300円税別/月)を申し込み込む場合、「する」にチェックしてください。「生活情報」「ビジネス情報」など盛りだくさんの情報が、毎月お手元に届きます。" At the bottom are buttons: "優待ID変更" (Change Privilege ID), "<戻る" (Back), "設定完了" (Settings Complete), and "キャンセル" (Cancel).

インターネットメールのアカウントを入力します。

「情報誌購読」欄の『情報誌 SAAI isara の購読』については、画面の下にある「入力ガイド」をお読みください。

購読を希望される方は、そのまま次へ進んでください。

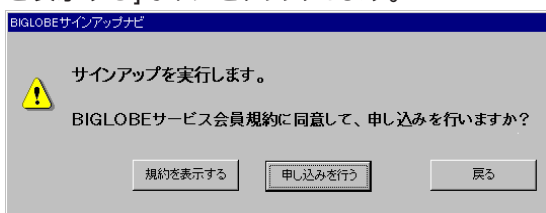
購読を希望されない場合は[しない]を選択してください。



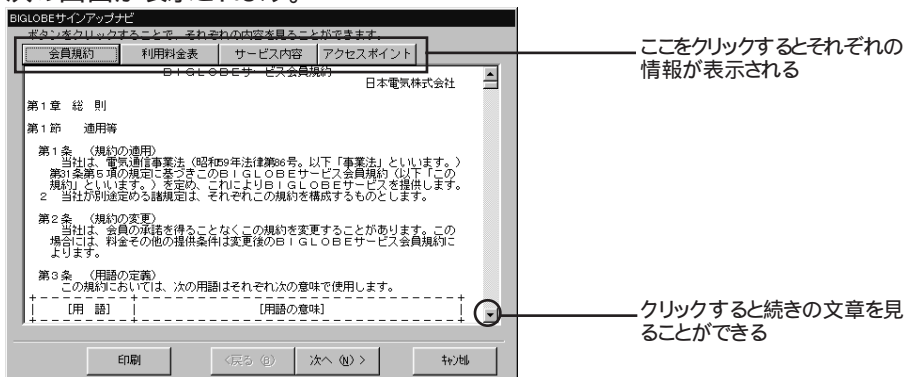
「るんるんコース」を選択した場合はインターネットメールのアカウントは入力できません。

すべて入力したら[設定完了]ボタンをクリックします。

- 10** 「サインアップを実行します。BIGLOBEサービス会員規約に同意して、申し込みを行いますか?」というメッセージが表示されますので、申し込みを行う前に [規約を表示する] ボタンをクリックします。



- 11** 次の画面が表示されます。



この画面では、次の情報が表示されます。

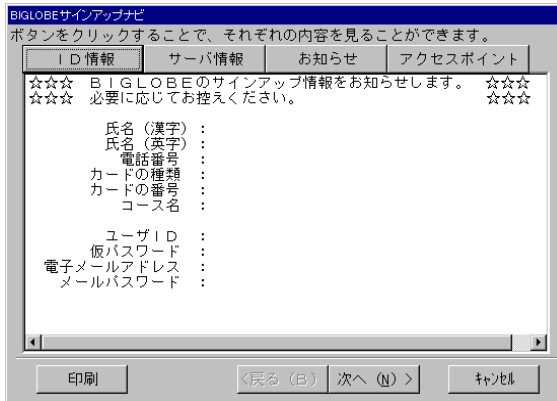
- ・ 会員規約 「BIGLOBEサービス会員規約」が表示されます。
- ・ 利用料金表 BIGLOBEでの料金体系が表示されます。
- ・ サービス内容 BIGLOBEが提供するサービス内容です。
- ・ アクセスポイント BIGLOBEに接続するためのアクセスポイント(電話をかける場所)の一覧です。

それぞれの情報を表示するには、各情報のタブをクリックします。各画面で画面のスクロールボタンをクリックすると文章の上下の内容が表示されます。よくお読みください。

各種の情報を読み終えたら、[戻る]ボタンをクリックします。

- 12** 再度「サインアップを実行します。BIGLOBEサービス会員規約に同意して、申し込みを行いますか?」というメッセージが表示されますので、申し込みを行う場合は [申し込みを行う] ボタンをクリックします。

13 BIGLOBEに関する各種情報が表示されます。表示されている画面をよくお読みください。



14 [ID情報]画面の次の内容をメモしてください。プリンタが使用できる場合は、[印刷]ボタンで印刷できます。

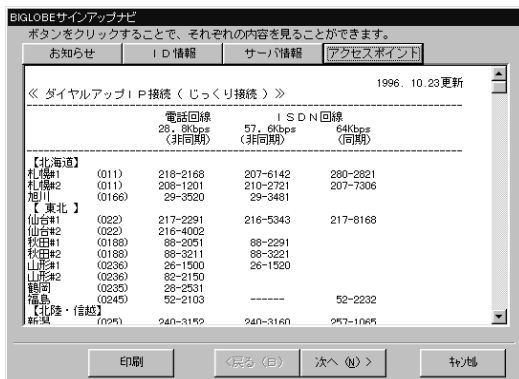
- ・ ユーザID
 - ・ 仮パスワード
- 「るんるんコース」では以下の情報はありません。
- ・ 電子メールアドレス
 - ・ メールパスワード



この画面は、オンラインサインアップ後に[BIGLOBEサインアップナビ]を起動して、[登録内容確認]ボタンをクリックしても表示されます。

15 [サーバ情報]をクリックして、表示された内容をメモしてください。「るんるんコース」コースの場合は[サーバ情報]はありません。

16 [アクセスポイント]をクリックして、画面に表示されている最寄りのアクセスポイントの電話番号をメモします。



各種情報を見終わったら、[次へ]ボタンをクリックします。

17 接続先名とアクセスポイントを設定後、[次へ] ボタンをクリックします。



BIGLOBEサインアップナビ

インターネットへ接続するために、取得情報及び、アクセスポイント情報をWindows(R)95システムへ登録します。アクセスポイントの設定情報確認または設定し「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。

アクセスポイントの設定

接続先名(S)

呼び名(N)

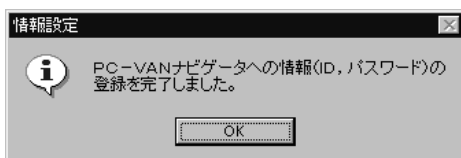
アクセスポイント(A)

入力ガイド

BIGLOBEサインアップナビでは、インターネット接続するための接続先名を「BIGLOBE」という名称で作成し、その接続先名へ取得した情報を登録します。

<戻る(B) 次へ(N) 終了

18 「わいわいコース」の場合、次の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

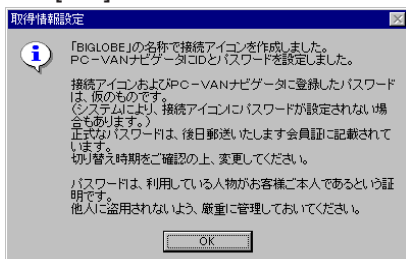


情報設定

PC-VANナビゲータへの情報(ID、パスワード)の登録を完了しました。

OK

19 [取得情報設定]画面が表示されます。表示されている画面をよくお読みになってから[OK]ボタンをクリックしてください。



取得情報設定

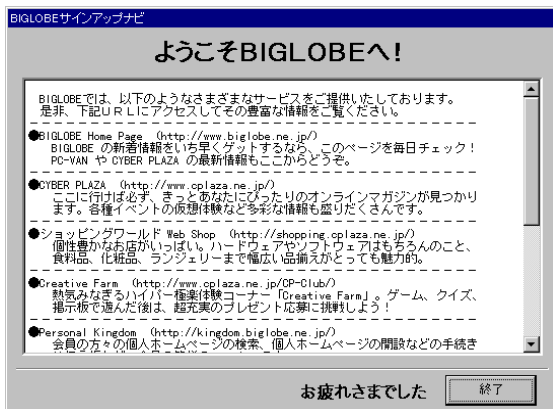
「BIGLOBE」の名称で接続アイコンを作成しました。PC-VANナビゲータIDとパスワードを設定しました。

接続アイコンおよびPC-VANナビゲータに登録したパスワードは、仮のものですが、(システムにより、接続アイコン/パスワードが設定されない場合もあります)正式なパスワードは、後日郵送いたします会員登録に記載されます。切替時期をご確認の上、変更してください。

パスワードは、利用している人物がお客様ご本人であるという証明です。他人に盗用されないよう、厳重に管理しておいてください。

OK

20 「ようこそBIGLOBEへ!」のメッセージが表示されたら[終了]ボタンをクリックします。



BIGLOBEサインアップナビ

ようこそBIGLOBEへ!

BIGLOBEでは、以下のようなさまざまなサービスをご提供いたしております。是非、下記URLにアクセスしてその豊富な情報をご覧ください。

- BIGLOBE Home Page (<http://www.biglobe.ne.jp/>)
BIGLOBEの最新情報を知りたくするなら、このページを毎日チェック! PC-VAN や CYBER PLAZA の最新情報もここからどうぞ。
- CYBER PLAZA (<http://www.cplaza.ne.jp/>)
ここに行けば必ず、きっとあなたにぴったりのオンラインマガジンが見つかります。各種イベントの仮想体験など多彩な情報も盛りだくさんです。
- ショッピングワールド Web Shop (<http://shopping.cplaza.ne.jp/>)
価格豊かなお店がいっぱい。リワードウェアやソフトウェアももちろんのこと、食料品、化粧品、ランジェリーまで幅広い品揃えがとっても魅力的。
- Creative Farm (<http://www.cplaza.ne.jp/CP-Club/>)
熱帯なまるハイパー種族情報コーナー「Creative Farm」。ゲーム、クイズ、掲示板で遊んだ後は、超花鳥のプレゼント応募に挑戦しよう!
- Personal Kingdom (<http://kingdom.biglobe.ne.jp/>)
会員の方々の個人ホームページの検索、個人ホームページの開設などの手続き

お疲れさまでした 終了

これで、設定は終了です。



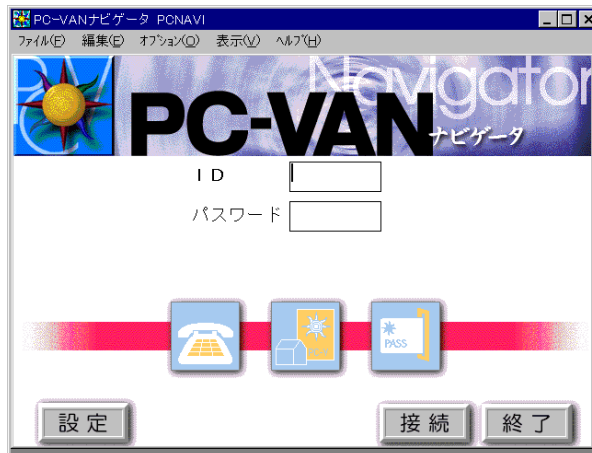
- ・サインアップ直後にはBIGLOBEサービスをまだご利用になれない場合があります。この場合は30分程待ってから再度接続してみてください。
- ・「BIGLOBEおいでまシート」に記載されたパスワードは仮のものです。正式なパスワード情報は約1週間後に郵送にて送付いたします。切り替え日時 約14日後 をご確認の上、変更願います。

PC-VANに接続する

PC-VANナビゲータの起動

[PC-VANナビゲータ] を起動して、PC-VANを利用します。

- 1 [PC-VANナビゲータ] を起動します。
[スタート] メニューの [プログラム] - [PC-VANナビゲータ] の [PC-VANナビゲータ] をクリックします。



PC-VANへの接続

パソコン通信を利用して、PC-VANに接続します。

- 1 はじめて [PC-VANナビゲータ] を起動した場合は [設定] ボタンをクリックしてください。以下の項目をご自分の通信環境に合わせて設定してください。



通信速度	モデム - パソコン間の通信速度を設定します。初期値は9600bpsに設定されています。
フロー制御	初期値の「CTS/RTS」にしておきます。
ポート番号	使用するCOMポート番号を設定します。TELNET接続を行う場合は「TELNET」に設定します。
ID、パスワード	PC-VANのIDとパスワードを入力します。 ここで設定しておく、手順3でIDとパスワードを入力しなくてよくなります。 [BIGLOBE(入会申込)]でサインアップした場合は、自動的に設定されています。
ID、パスワードを暗号化する	ID、パスワードを暗号化するかどうかを選択します。使用する場合はチェックを付けます。 TELNET接続を行う場合は、設定するようにしてください。
アクセスポイント 第1候補～第3候補	最寄りのPC-VANのアクセスポイントの電話番号を設定します。[参照]ボタンをクリックすると「アクセスポイント選択」画面が表示されますので、接続するアクセスポイントの「地区名」[速度]を選択してください。アクセスポイントは第3候補まで設定できます。[アクセスポイント第1候補]は必ず設定してください。
内線	0発信の内線からご利用の場合は、[内線]をクリックして、チェックを付けます。
パルス10 / パルス20 / トーン	ご利用の電話回線に合わせて設定します。よくわからない場合はNTTにお問い合わせください。
IPアドレスドメイン名	PC-VANのIPアドレスまたはドメイン名を設定します。ドメイン名は「pcvan.or.jp」となります。[ポート番号]で「TELNET」を指定した場合のみ入力できます。
初期化文字列	通常は設定する必要はありません。空白のままにしておいてください。なお、設定する場合は、先頭の「AT」は省略してください。
ログファイルの作成	ログファイルを作成するかどうかを選択します。ログファイルとは、通信上の履歴を記録したファイルのことです。ログファイルを作成する場合は、チェックを付けます。
ログファイルの自動削除	ログファイルが特定の件数に達した場合、自動的に削除するかどうかを選択します。これにより、必要以上にログファイルが保存されることがなくなります。 保存件数として指定できるのは1～365件までです。指定件数を越えた場合は、古いものから順に自動的に削除されます。 保存の必要があるログファイルは、ご自分で保存しておいてください。

モデム設定	[モデム設定] ボタンをクリックすると、モデムの設定が行えます。[メーカー名] [型名] にご利用のモデムのメーカー名と型名を設定してください。なお、ご利用のモデムがリスト中不在の場合は、メーカー名を「ATモデム」、型名を「汎用」にして、必要に応じて、[初期化文字列] を設定してください。
ディレクトリ	[ディレクトリ] ボタンをクリックすると、ログファイル、ダウンロードファイル、アップロードファイルを格納するディレクトリを指定できます。必要に応じて設定してください。なお、初期値は「A: ¥PCNAVI」になります。
オプション	[オプション] ボタンをクリックすると、他のアプリケーションとの連動機能を使用するかどうか指定できます。必要に応じて設定してください。
フォント	[フォント] ボタンをクリックすると、フォントを設定できます。必要に応じて設定してください。

2 設定が終了したら、[通信設定] 画面の [OK] ボタンをクリックします。

3 [ID] [パスワード] に自分の番号を入力した後、[接続] ボタンをクリックすると、[PC-VANナビゲータ] が自動的にPC-VANのセンターに電話をかけて、PC-VANサービスに接続します。画面が切り替わり、PC-VANからのお知らせが表示されます。
[インデックス] アイコンをクリックすると、各サービスのアイコンが表示されます。アイコンをクリックしていくことによって、PC-VANの数多くのサービスを利用することができます。



PC-VANメインメニュー画面以降のメニューの選択方法については、[PC-VANナビゲータ] のヘルプをご覧ください。

AOLを利用する～AOLへのご招待

はじめてパソコン通信サービス「AOL」のサービスを利用する場合は、AOLに加入する必要があります。入会手続きおよびご利用方法については、本機添付の「AOLハンドブック」をご覧ください。

NIFTY-SERVE を利用する ～ NIFTY MANAGER

NIFTY MANAGERは、本機にはセットアップされていません。NIFTY MANAGERをお使いになるには、まず本機添付の「バックアップCD-ROM」を使って、本機にセットアップしてください。

はじめてパソコン通信サービス「NIFTY-SERVE」のサービスを利用する場合は、NIFTY-SERVEに加入する必要があります。

入会手続きの方法については、本機添付の「ニフティサーバ イントロパック」をご覧ください。なお、すでに入会手続きが済んでいる（NIFTY-SERVEのIDを持っている）場合は入会手続きは必要ありません。次の「NIFTY-SERVEに接続する」にお進みください。

NIFTY MANAGERのインストール.....

- 1 Windows95を起動します。
- 2 CD-ROMドライブに本機添付の「バックアップCD-ROM」をセットします。
- 3 [スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]を起動します。
- 4 [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を起動します。
- 5 [セットアップと削除]タブが選択されていることを確認します。
選択されていない場合は[セットアップと削除]タブをクリックします。
- 6 [セットアップ]ボタンをクリックして[フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ]を起動します。
- 7 「バックアップCD-ROM」がCD-ROMドライブにセットされていることを確認して、[フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ]の画面で[次へ]ボタンをクリックします。
- 8 [セットアッププログラムの実行]画面の「セットアッププログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>: ¥NSETUP.EXE」になっていることを確認して、[完了]ボタンをクリックします。
- 9 [プロダクトの選択]画面が表示されます。
- 10 [プロダクトの選択]画面で[NIFTY MANAGER for Windows 95 Ver 4.50]をクリック（反転表示）して、[OK]ボタンをクリックします。
- 11 [よろこそ]画面で[次へ]ボタンをクリックします。

- 12** 利用規約が表示されます。よくお読みになり、同意する場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。
- 13** [インストール先の選択] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。
- 14** 「情報を引き継ぎますか?」という内容のメッセージが表示されます。[いいえ] ボタンをクリックしてください。
インストールが実行されます。
- 15** 「デスクトップにNIFTY MANAGER for Windows 95のショートカットを置きますか?」というメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックしてください。
- 16** [情報] 画面で [OK] ボタンをクリックします。
- 17** [質問] 画面で「Read Meファイルを読みますか?」というメッセージが表示されたら、[いいえ] ボタンをクリックします。
- 18** 「セットアップが完了しました。」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
- 19** 「ダイヤルアップネットワークの設定を行いますか?」と表示されたら、[いいえ] ボタンをクリックします。
インターネット接続に必要な通信設定はPart 1の「NIFTY-SERVEを利用する」をご覧ください。セットアップ完了後に行ってください。

これでインストールは完了です。



NIFTY-SERVEへの入会および接続方法は、本機添付の「ニフティサーブ イントロパック」をご覧ください。

NIFTY MANAGERの削除

NIFTY MANAGERをお使いにならない場合は、次の手順で削除できます。

- 1** Windows 95を起動します。
- 2** [スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]を起動します。
- 3** [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を起動します。
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されます。
- 4** [セットアップと削除]タブが選択されていることを確認します。
選択されていない場合は[セットアップと削除]タブをクリックします。
- 5** [セットアップと削除]画面の一覧から「NIFTY MANAGER for Windows 95 Ver 4.50」をクリック(反転表示)して、[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 6** 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」のメッセージが表示されます。削除する場合は[はい]ボタンをクリックしてください。アプリケーションの削除がはじまります。
- 7** 「アンインストールが完了しました。」のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

NIFTY-SERVEに接続する.....

NIFTY MANAGERの起動

[NIFTY MANAGER]を起動して、NIFTY-SERVEを利用します。



以前からNIFTY-SERVEのIDを持っている場合などで、[NIFTYサインアップ]を利用しないで、はじめてNIFTY MANAGERを起動する場合は、起動する前に[コントロールパネル]の[モデム]を起動して、[ダイヤルのプロパティ]で所在地情報やダイヤル方法を設定しておいてください。

- 1** [NIFTY MANAGER]を起動します。
[スタート]メニューの[プログラム] - [NIFTY MANAGER]の[NIFTY MANAGER]をクリックします。
うまく起動しないときは、他のアプリケーションをすべて終了させてから再起動してください。

2 「NIFTY-SERVEサインアップ」の「完了」画面で「登録する」ボタンをクリックした場合は、「ワンポイント」画面が表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

この場合、以降の「通信環境の設定」の手順は必要ありません。「NIFTY-SERVEへの接続」に進んでください。

なお、ここで「セットアップ」画面が表示された場合は、以降の「通信環境の設定」の手順を行ってください。

通信環境の設定

「NIFTY-SERVEサインアップ」の「完了」画面で「登録する」ボタンをクリックしなかった場合や、以前からNIFTY-SERVEのIDを持っていて、「NIFTYサインアップ」を利用しなかった場合は、はじめてNIFTY MANAGERを起動したときに通信環境を設定する画面が表示されます。次の手順で設定してください。

1 表示された画面でユーザーIDとパスワードを入力してください。入力したら、「次へ」ボタンをクリックします。

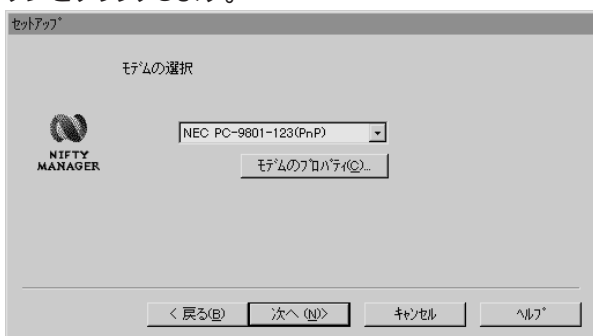
2 アクセスポイントを設定します。ご利用のモデムの通信速度に合った、最寄りのアクセスポイントをクリックします。設定したら、「次へ」ボタンをクリックします。

所在	速度	番号
札幌(ROAD 2)	2400	011-898-3344
札幌(ROAD 3 INS-C)	9600	011-809-2026
札幌(ROAD 4)	14400	011-898-9425
札幌(ROAD 5)	28800	011-898-7670
札幌(HyperROAD)	33600	011-809-2262
札幌(HyperROAD64)	64000	011-809-2471
札幌(ROAD 7 PIAFS)	32000	011-809-2296
札幌(HyperROAD PIA...	32000	011-809-2294
滝川(ROAD 2)	2400	0125-22-4126
滝川(ROAD 4)	14400	0125-23-0339

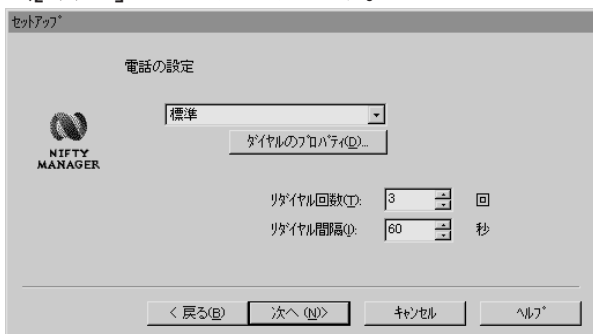


アクセスポイントの設定の際、HyperROADをご使用になるためには、[スタート]メニューの[プログラム]-[NIFTY MANAGER]にある[ダイヤルアップネットワークの設定]で、インターネットを利用するように設定する必要があります。なお、[ダイヤルアップネットワークの設定]で設定を行うと、すでに設定してあったインターネット接続用の環境が変更されます。BIGLOBEなど、他のプロバイダと接続する場合には、[コントロールパネル]の[インターネット]で設定を変更してください。

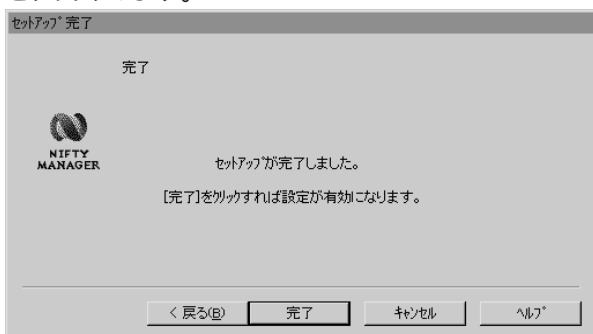
- 3** モデムを選択します。お使いのモデムが表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



- 4** 電話の設定をします。[標準]が表示されていることを確認してください。確認したら、[次へ]ボタンをクリックします。



- 5** 「セットアップが完了しました」というメッセージが表示されますので、[完了]ボタンをクリックします。



6 [ワンポイント]画面が表示されますので、[閉じる]をクリックします。


これで設定は完了です。次の「NIFTY-SERVEへの接続」に進みます。



通信環境を設定した後で通信環境を変更する場合は、NIFTY MANAGERの [オプション]メニューの [通信設定] で設定を行います。

NIFTY-SERVEへの接続

NIFTY-SERVEに接続してみます。

- 1** [NIFTY MANAGER]の [ファイル]メニューから [接続] を選択します。または、ツールバーの  をクリックします。



- 2** IDやパスワードを設定していない場合は、入力する画面が表示されますので、入力してください。NIFTY-SERVEに自動的に接続して、TOPメニューが表示されます。



NIFTY-SERVEに接続してからの操作方法については、NIFTY MANAGERのヘルプを参照してください。

マルチメディア機能を利用する

本機でマルチメディア機能を利用する手順や注意事項について説明します。

オーディオCD/ビデオCD/フォトCDを再生する

MPEG動画を再生する

マルチメディア機能を使う場合の注意

オーディオCD/ビデオCD/フォトCDを再生する～98プレーヤー

オーディオCD、ビデオCD(カラオケCD)やフォトCDに対応した再生用のアプリケーションが起動します。



98プレーヤー終了後、再度起動させるときは、[スタート]メニューの[プログラム]-[アクセサリ]-[マルチメディア]から[98プレーヤー]をクリックします。

CDの規格

98プレーヤーが対応しているCDの規格は次のとおりです。規格外のCDは再生できない場合があります。

- ・オーディオCD
- ・ビデオCD(Ver1.1)/カラオケCD(Ver1.1)
- ・ビデオCD(Ver2.0)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ



CDを再生する.....

オーディオCDの場合、CDをCD-ROMドライブにセットすると、自動的に98プレーヤーが起動し、次のような画面が表示されます。自動的に起動しない場合およびビデオCD(カラオケCD)、フォトCDの場合は、CDをCD-ROMドライブにセットして、[スタート]メニューの[プログラム]-[アクセサリ]-[マルチメディア]をポイントして[98プレーヤー]をクリックすると98プレーヤーが起動します。

オーディオCDの場合

総トラック数と総演奏時間が表示されています。
ボタンの操作方法については、後述する「オーディオCDを聴く」をご覧ください。



ビデオCD(カラオケCD)の場合

総トラック数が表示されます。
ボタンの操作方法については、後述の「ビデオCD(カラオケCD)を見る」をご覧ください。



プレイバックコントロール機能付きのビデオCDの場合は、プレイバックコントロールウィンドウも表示されます。詳しくは、「ビデオCD(カラオケCD)を見る」をご覧ください。

フォトCDの場合

1枚目の写真が表示されます。
ボタンの操作方法については、「フォトCDを見る」をご覧ください。



オーディオCDを聴く.....

オーディオCD再生時のボタン操作について説明します。
[Option] をクリックすると、98プレーヤーの下に、拡張ボタンが表示されます。



基本的な使い方

- ・ 再生 / 一時停止
 - [▶] ボタン ・ クリックすると、再生が始まります([||] に変わる)
 - [||] ボタン ・ クリックすると、一時停止します([▶] に変わる)
再度 ▶ をクリックすると、一時停止した場所から再生します。
- ・ 停止
 - [■] ボタン ・ クリックすると再生を停止、または一時停止状態を解除します。



[■] ボタンで停止させた後 ▶ をクリックすると先頭の曲に戻って再生を始めます。

- ・ 巻き戻し / 早送り
 - [◀◀] ボタン ・ 再生中、または一時停止中にクリックし続けると巻き戻し、ボタンを離すと再生します。
 - [▶▶] ボタン ・ 再生中、または一時停止中にクリックし続けると早送り、ボタンを離すと再生します。



画面の時間表示が変化します。ボタンを離すとそのとき表示されている時間から再生を開始します。



- ・ 曲の頭出し
 - [◀] ボタン
 - ・ 再生中、または一時停止中にクリックすると、再生中の曲の先頭に戻って再生します。
 - ・ 再生中、または一時停止中に連続してクリックすると、一曲ずつ再生する曲番号が戻ります。
 - ・ 停止中に連続してクリックすると、クリックした数だけ戻って再生します。
 - [▶] ボタン
 - ・ 再生中、または一時停止中にクリックすると、再生中の次の曲から再生します。
 - ・ 再生中、または一時停止中に連続してクリックすると、一曲ずつ曲番号が先に進んで再生します。
- ・ CD-ROMトレイのイジェクト
 - [▲] ボタン
 - ・ 停止中にクリックするとトレイがイジェクトされます。



別売のCD-ROMドライブを使用する場合、イジェクト機能はご利用できない場合があります。

- ・ 98プレーヤーの終了
 - をクリックすると、98プレーヤーを終了します。

[Option] ボタンの使い方

- ・ リpeat [↺] ボタン
クリックするたびに、リpeat再生モードが1曲のみ、全曲へと切り替わり、インジケータが表示されます。
- ・ 演奏時間表示切り替え [⌚] ボタン
クリックするたびに、表示ディスプレイ部分の時間表示が、現在のトラック内の演奏経過時間か残り演奏時間に切り替わります。
- ・ [Program] ボタン
再生順序を指定できます。詳しくは、「オーディオCD / ビデオCDの再生順序を指定する」をご覧ください。
- ・ ミューt [⏸] ボタン
左右の音声出力を同時にOFFします。音声出力が左右ともOFFの場合に、このボタンをクリックすると、左右同時にONになります。
ただし、CDの再生中は使用できません。
- ・ 音声チャンネル [🔊] ボタン
[🔊] ボタンは、左チャンネル、[🔊] ボタンは右チャンネルの音声出力のON/OFFを切り替えます。
ただし、CD再生中は使用できません。

- ・ [状態設定] ボタン
[自動再生] チェックボックスを選択すると、98プレーヤーの起動時に自動的に再生が始まります。



[元の画像サイズで表示] ボタンと [カラオケ一覧表示] ボタンは利用できません。

ビデオCD(カラオケCD)を見る.....

ビデオCD再生時のボタン操作について説明します。
[Option] をクリックすると、98プレーヤーの下に、拡張ボタンが表示されます。



基本的な使い方

基本的な操作は、オーディオCDとほとんど同じです。
前述の「オーディオCDを聴く」の「基本的な使い方」をご覧ください。



- ・ ビデオCDの再生中にウィンドウサイズをひんばんに変更すると、ビデオの表示が乱れることがあります。このようなときは、98プレーヤーをいったん終了させて再起動すると、表示が正常に戻ります。
- ・ プレイバックコントロール機能に対応したビデオCDの再生時には、頭出し機能は利用できません。

[Option] ボタンの使い方

- ・ リpeatのボタン
クリックするたびに、リピート再生モードが1プログラムのみ、全プログラムへと切り替わり、インジケータが表示されます。



- ・ [Program] ボタン
再生順序を指定できます。詳しくは、「オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する」をご覧ください。
- ・ ミュート [M] ボタン
左右の音声出力を同時にOFFします。音声出力が左右ともOFFの場合に、このボタンをクリックすると、左右同時にONになります。
- ・ 音声チャンネル [L] ボタン
[L] ボタンは、左チャンネル、[R] ボタンは右チャンネルの音声出力のON/OFFを切り替えます。



カラオケCDでは、カラオケ演奏とボーカル音声は、左右どちらかのチャンネルに分かれて録音されています。ボーカル音声を消すときは、左右どちらか、ボーカル音声で録音されているチャンネルの音声を消す必要があります。左右どちらかの音声を消すときは、[L] または [R] をクリックします。また、[M] をクリックすると、両方の音声を消すことができます。

- ・ [元の画像サイズで表示] ボタン
ビデオCDの再生時に、ウィンドウのサイズを起動時のサイズに戻します。
- ・ [カラオケ一覧表示] ボタン
カラオケCDの曲目が一覧表示されます。再生した曲目をクリックし、さらに [演奏] ボタンをクリックすると、すぐに再生が始まります。
- ・ [状態設定] ボタン
[自動再生] チェックボックスを選択すると、98プレーヤーの起動時に自動的に再生が始まります。
[画像再生時にスクリーンセーバを起動しない] チェックボックスを選択すると、ビデオCDの再生時にスクリーンセーバを起動させないようにします。












- ・ [演奏時間表示切り替え] ボタンは、利用できません。
- ・ プレイバックコントロール機能を用いて独自のメニュー表示を行っているカラオケCDでは、[カラオケ一覧表示] ボタン、[リピート] ボタン、および [Program] ボタンは利用できません。

プレイバックコントロールの使い方

プレイバックコントロール機能付きのビデオCDの再生時には、98プレーヤーとともにプレイバックコントロールウィンドウが表示されます。



- ・  ボタン
画面を表示します。
- ・  ボタン
前画面に戻ります。
- ・  ボタン
次画面に進みます。
- ・  ボタン
メニュー画面に戻ります。
- ・  ボタン
数値を選択するときに使います。
 の数字ボタンで番号を決定して  ボタンをクリックすると、画面を表示します。
- ・  ボタン
プレイバックコントロールウィンドウをアイコン化します。
- ・ 
番号表示部分をクリックすると、数字ボタンで選択された番号をキャンセルします。



各ボタンの機能は、CD-ROMにより多少異なっていますので、CD-ROM添付の説明書を参照してください。

オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する.....

- 1 98プレーヤーの[Option]ボタンをクリックします。
98プレーヤーの下に拡張ボタンが表示されます。
- 2 [Program]ボタンをクリックします。
[プログラム予約]ダイアログボックスが表示されます。



- ・ プログラムの再生中と一時停止中は、[Program]ボタンは使用できません。
- ・ プレイバックコントロール機能に対応したビデオCDでは利用できません。

- 3 [トラック]の一覧に表示されているプログラムのどれかをクリックし、[追加]ボタンをクリックします。
[予約された曲]へ、選択したプログラムが登録されます。



予約済みのプログラムを解除するときは、[予約された曲]の一覧から解除したい曲を選択し、[削除]ボタンをクリックします。また、すべての予約を解除するときは、[全削除]ボタンをクリックします。

- 4 [OK]ボタンをクリックします。
予約内容を設定しない場合は[Cancel]ボタンをクリックします。
- 5 98プレーヤーの▶ボタンをクリックします。
登録した順序で再生を始めます。

フォトCDを見る.....

フォトCD再生時のボタン操作について説明します。
[Option] をクリックすると、98プレーヤーの下に拡張ボタンが表示されます。



基本的な使い方

- ・ 自動表示 / 停止
[▶] ボタン クリックすると、自動表示を行います。
[■] ボタン クリックすると、自動表示を停止します。
- ・ 表示
[◀◀] ボタン クリックすると、巻き戻します(ポートフォリオの再生時のみ)。
[▶▶] ボタン クリックすると、早送りします(ポートフォリオの再生時のみ)。
[◀] ボタン クリックすると、1つ前の写真に戻ります。
[▶] ボタン クリックすると、次の写真を表示します。
- ・ CD-ROMトレイのイジェクト
[▲] ボタン 停止中にクリックすると、トレイがイジェクトされます。



別売のCD-ROMドライブを使用する場合、イジェクト機能はご利用できない場合があります。

- ・ 98プレーヤーの終了
[X] をクリックすると、98プレーヤーを終了します。

[Option] ボタンの使い方

- ・ [Open] ボタン
フォトCDに記録されている写真のファイル名一覧を表示します。表示したいフォトCDのファイル名を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- ・ [List] ボタン
フォトCDに記録されている写真を縮小一覧表示します。写真をクリックすると、拡大表示します。



- ・ [Size] ボタン
クリックすると [PhotoCD画面サイズの設定] ダイアログボックスが表示されます。画面サイズを指定できます。
- ・ [Color] ボタン
クリックすると [表示色数の設定] ダイアログボックスが表示されます。表示色数を指定できます。
- ・ [Copy] ボタン
クリックすると、表示されている写真をクリップボードビューアへコピーします。



[Copy] ボタンをクリックするたびに、新しい写真データがクリップボードに上書きされ、前にコピーしたデータは消えてしまいます。コピーしたデータは次のコピーを行う前に必ず保存してください。

- ・ [Save] ボタン
クリックすると [ファイル名を指定する] ダイアログボックスが表示されます。ファイル名を指定して、写真をビットマップ形式のファイル (.BMP) として保存できます。
- ・ [Extension] ボタン
JPEGに関する各種設定を行います。詳しくは [Help] ボタンをクリックして、オンラインヘルプをご覧ください。



フォトCDポートフォリオを再生している場合、[Open] ボタン、[List] ボタンの機能は利用できません。

フォトCDポートフォリオのCDで、[Open] ボタン、[List] ボタンの機能を利用するときは [Extension] ボタンを選び、ダイアログボックス中の [PhotoCDポートフォリオのときはポートフォリオモードで再生] チェックボックスをOFFにして、通常の98プレーヤーとして利用してください。

MPEG動画を再生する

MPEG動画を再生するには、以下の方法があります。

- ・ エクスプローラを利用する
- ・ メディアプレーヤを利用する

それぞれの手順について説明します。



MPEGでも形式によっては再生できないものもあります。

エクスプローラを利用する

- 1** [スタート]メニューの[プログラム]から[エクスプローラ]をクリックして、起動します。
- 2** 拡張子が ".mpg" のファイルをダブルクリックします。
PC-9821 Ra266/W30Rの場合はNEC Soft MPEG 1.0、PC-9821 Xa20/W30R、PC-9821 Xa200/W30Rの場合はSoft PEGの機能により、MPEG動画が再生されます。

メディアプレーヤを利用する

- 1** [スタート]メニューの[プログラム]-[アクセサリ]-[マルチメディア]から[メディアプレーヤ]をクリックして起動します。
- 2** [デバイス]メニューからPC-9821 Ra266/W30Rの場合は「NEC Soft MPEG 1.0」を、PC-9821 Xa20/W30R、PC-9821 Xa200/W30Rの場合は「CompCore Soft PEG」を選択します。
- 3** [ファイルを開く]ダイアログボックスで、再生したいMPEGファイルを選択して[開く]ボタンをクリックします。
- 4** 再生ボタンをクリックすると再生が始まります。



MPEGファイルとしては拡張子が ".mpg" のもののほかにビデオCD内の拡張子が ".dat" のものを再生することができます。

NEC Soft MPEG 1.0に関する注意事項....

PC-9821 Ra266/W30Rに関する内容です

- ・ビデオのみのデータあるいはビデオCDの静止画を含むデータは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は必ずしも一致しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみ、こま送りとなります(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは戻る場合と戻らない場合があります。
- ・画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- ・メディアプレーヤー、98プレーヤーでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードからGRPHキーを押したときも同様に停止します。

マルチメディア機能を使う場合の 注意

メディアプレーヤーを利用する場合のご注意.....

メディアプレーヤーを利用すると、音声データ、MIDIによる音楽データ、CDオーディオ、AVI 動画データ、MPEG動画データなどを再生できます。メディアプレーヤーを利用するには、再生機器に対応したデバイス ドライバの組み込みが必要な場合があります。詳しくは、再生機器に添付されているマニュアルをご覧ください

ビデオCD(カラオケCD)を再生する場合のご注意.....

本機には、ビデオCDなどの動画データを再生するためのソフトウェアが標準添付されていますが、98プレーヤーやメディアプレーヤーなどで動画データを再生中に、他のソフトウェアを実行させることなどにより、音飛びや画面の乱れが発生する場合があります。



Part 3

こんな機能もあります

本機を使いこなすのに便利なツールについて説明します。

DMIT00Lを利用する

98Timerを使う

他のパソコンからのリモートコントロールを受ける

コンピュータウイルスに備える

かな漢字変換(NECAIME95)を利用する

DMIT00Lを利用する

DMIT00Lは、パーソナルコンピュータや接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するものです。管理方法として、標準化団体DMTF(Desktop Management Task Force)が規定したDMI(Desktop Management Interface)を採用しております。

DMIT00Lは、以下の4つの機能により構成されます。

- ・ システムビューア
- ・ 状態監視
- ・ MIFブラウザ
- ・ WWW Extension

操作方法・表示画面の詳細については添付のオンラインヘルプをご覧ください。

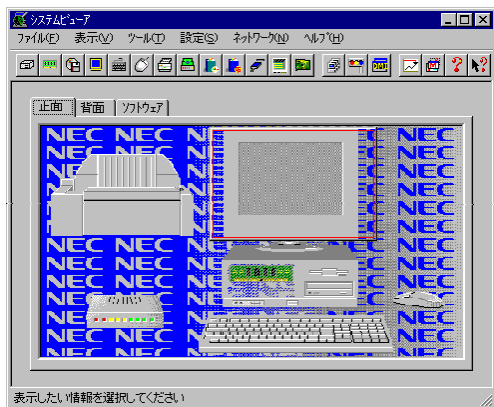
システムビューア

システムビューアは、パーソナルコンピュータや周辺機器についての情報を提供します。

システムビューアの起動

[スタート]メニューの[プログラム] - [Dmitool]から[システムビューア]をクリックして起動します。

システムビューア画面が表示されます。



DMIT00Lのアプリケーションは、98Timerから起動することはできません。

基本的な使い方

- ・ パーソナルコンピュータや周辺機器の情報が知りたい

画面上の[正面]タブまたは[背面]タブをクリックしてください。画面の中で示される領域をクリックすることで各部の情報や現在の状態を表示します。

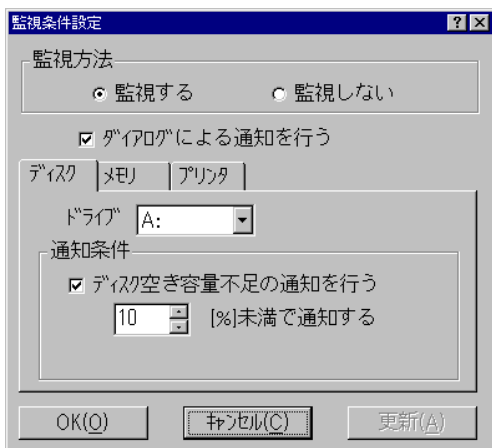
- ・ インストールされているソフトウェアの情報が知りたい

画面上の[ソフトウェア]タブをクリックしてください。画面の中で示される領域をクリックすることでインストールされているソフトウェアの情報を表示します。

- ・ HDDの空き容量を監視したい

[設定]メニューの[監視条件設定]コマンドを選択します。

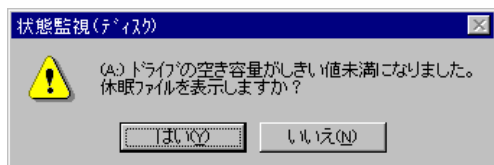
[監視条件設定]画面が表示されます。



[監視条件設定]画面で「監視する」を選択した場合、以下の点に注意してください。

- ・ ディスクの監視やプリンタの監視において、ネットワークドライブやネットワークプリンタの監視を行っている場合、ネットワークドライブやネットワークプリンタの情報を取得するために定期的(約5秒間隔)にパケットが送信されます。
パケットの送信を行いたくない場合はネットワークドライブの「ディスク空き容量不足の通知を行う」およびプリンタのすべての監視項目のチェックをはずしてください。
- ・ ディスクドライブが省電力モードに切り替わらない場合があります。

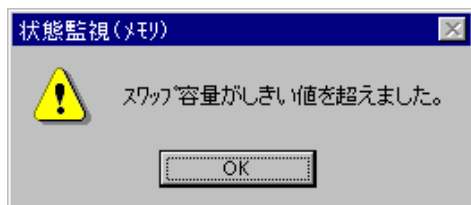
[監視方法]の[監視する]をチェックします。
[監視条件設定]画面上の[ディスク]タブをクリックして、監視するドライブと通知条件を設定してください。
[ダイアログによる通知を行う]チェックボックスをチェックしておけば、空き容量が不足した場合、次のようなダイアログボックスにより利用者に通知します。



ここで、[はい] ボタンをクリックすれば[休眠ファイル]画面を表示し、長期間使用していないファイルを削除することができます。[休眠ファイル]は[情報表示 - メディア]画面からでも表示できます。

・メモリのスワップ状態を監視したい

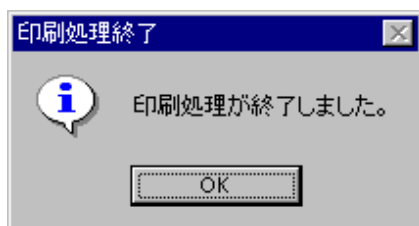
前述の[監視条件設定]画面を表示します。
画面上の[メモリ]タブをクリックして、通知条件を設定してください。
[ダイアログによる通知を行う]チェックボックスをチェックしておけば、スワップ容量がオーバーした場合、次のようなダイアログボックスにより利用者に通知します。



大容量のスワップはパフォーマンスの低下を招きます。パーソナルコンピュータの利用者にとって、通常の使用環境で容量の大きなスワップの発生頻度が高い場合はメモリの絶対量が不足していると思われれます。

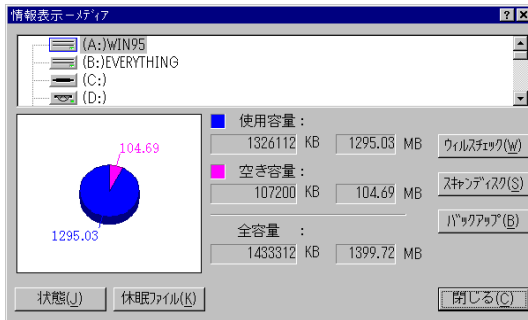
・プリンタの状態を監視したい

前述の[監視条件設定]画面を表示します。
画面上の[プリンタ]タブをクリックして、通知条件を設定してください。
[ダイアログによる通知を行う]チェックボックスをチェックしておけば、通知条件にしたがって[印刷処理終了]、[プリンタ異常]などのダイアログボックスにより利用者に通知します。

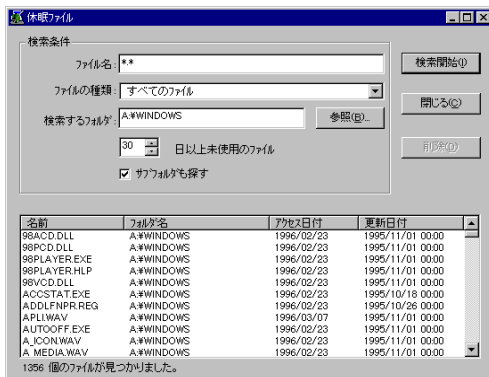


- ・HDDの空き容量が少なくなってきた.....長期間使っていないファイルを検索し削除したい

[表示]メニューの[正面]-[メディア情報]をクリックし、[情報表示 - メディア]画面を表示します。



[休眠ファイル]ボタンをクリックすると[休眠ファイル]画面が表示されます。



ここで、検索条件を入力して[検索開始]ボタンをクリックすれば指定した日数以上利用されていないファイルの一覧を表示します。

一覧の中から不要なファイルを選択すれば削除することができます。



ファイルを削除する場合は十分注意しておこなってください。特にシステムファイル等、システムにとって重要なファイルを削除した場合はシステムが起動できなくなる場合があります。

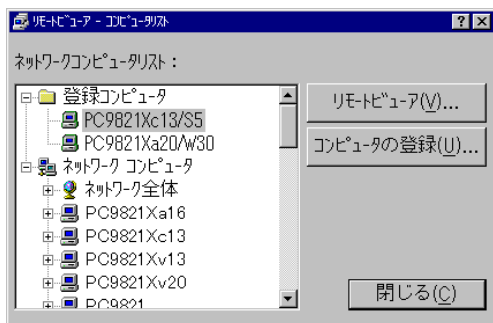
ネットワークコンピュータの情報を参照する

ネットワークに接続されているコンピュータのハードウェアやソフトウェアの情報を表示することができます。

・コンピュータの選択

[ネットワーク] メニューの [コンピュータリスト] コマンドを選択します。

[ネットワークコンピュータリスト] 画面が表示されます。



[ネットワークコンピュータリスト] から情報を参照したいコンピュータを選択し、[リモートビュー] ボタンをクリックします。

[リモートビュー] 画面が表示されます。



・リモートビューアの使い方

画面上の参照したい情報のタブをクリックすることで、表示内容が切り換わります。

リモートビューアは、タブ選択時に一度だけ情報の収集を行います。

最新の情報を収集するには [最新情報更新] ボタンをクリックしてください。



- ・ 情報を参照できるコンピュータは「DMIT00L Ver3.0」または「DMIT00L Ver2.0」がインストールされている機種に限ります。
- ・ 使用可能な通信プロトコルは「TCP/IP」「NetBEUI」「IPX/SPX互換プロトコル」のいずれかです。
- ・ DMIT00Lでは「TCP/IP」を標準のプロトコルとしています。その他のプロトコルを使用する場合は、添付のオンラインヘルプの「リモートビューア」の章を参照してください。

なお、必ず以下のネットワークの設定を行ってから使用してください。

TCP/IPを使用する場合

自コンピュータおよび接続先コンピュータにTCP/IPプロトコルをインストールしてから使用してください。

NetBEUIを使用する場合

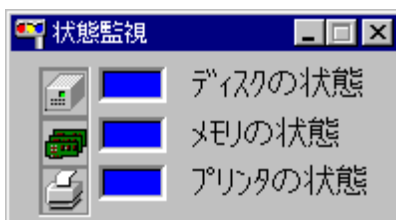
NetBEUIプロトコルを使用する場合には、自コンピュータのダイヤルアップネットワークプロトコルを削除してから使用してください。ダイヤルアップネットワークがインストールされていると正常に接続されない場合があります。

状態監視

状態監視は、システムビューアの監視条件設定で設定された条件にしたがって、HDDの空き容量やメモリのスワップ状態および通常使うプリンタに設定されているプリンタの状態を監視し、リアルタイムに利用者に通知します。

状態監視の起動

[スタート]メニューの[プログラム] - [Dmi tool] から[状態監視]をクリックして起動します。
[状態監視]画面が表示されます。



基本的な使い方

- ・HDDの空き容量の状態やメモリのスワップ状態およびプリンタの状態を常に表示しておきたい

システムビューアの監視条件設定で、しきい値および通知条件を設定しておけば、状態がリアルタイム表示されます。青色が正常な状態で、赤色が何らかの異常が発生している状態です。

監視条件にしたがって何らかの異常を検出すれば、状態監視画面の表示を赤色にし、異常のあることを利用者に知らせます。

復旧すれば表示を青色に戻します。

監視条件が設定されていない場合は、表示を灰色にします。

MIFブラウザ

MIFブラウザとは、コンポーネント(DMIによる管理対象となっているコンピュータ本体やソフトウェアなど)がどのような管理情報を持っているかを表示したり、それらを管理したりするものです。

MIFブラウザの起動

[スタート]メニューの[プログラム] - [Dmi tool]から[MIFブラウザ]をクリックして起動します。

[MIFブラウザ]画面が表示されます。

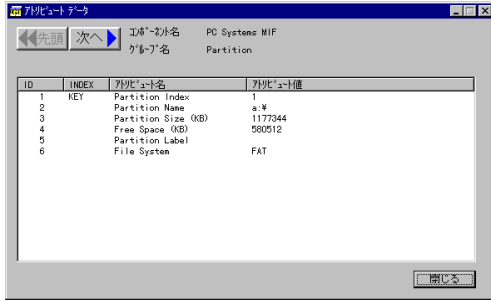


基本的な使い方

- ・コンポーネントの管理情報を表示する

[MIFブラウザ]画面で表示したいコンポーネントとグループをクリックし、[詳細]ボタンをクリックしてください。

コンポーネントの持っている管理情報が[アトリビュートデータ]画面に[アトリビュート名]、[アトリビュート値]として表示されます。



・管理情報の内容を変更する

[アトリビュート データ]画面で変更したいアトリビュート(管理情報)の[ID]をダブルクリックし、アトリビュートデータ入力画面で値を入力してください。



購入時に既にインストールされているコンポーネントには変更できるアトリビュートはありません。

・コンポーネントをインストールする

[MIFブラウザ]画面で[機能]メニューの[MIFインストール]コマンドを選択してインストールするコンポーネントのMIFファイルを指定してください。

・コンポーネントをアンインストールする

[MIFブラウザ]画面でアンインストールしたいコンポーネントを選択して[機能]メニューの[MIFアンインストール]コマンドを選択してください。



購入時に既にインストールされている以下のコンポーネントはDMIT00Lが動作するために必要なものです。決してアンインストールしないでください。

- ・ DMI Service Layer
- ・ DMI Service Provider MIF
- ・ Watcher MIF
- ・ DMIT00L MIF
- ・ PC System MIF

WWW Extension

WWW Extensionは、パーソナルコンピュータや周辺機器の情報をWWWブラウザで表示できるようにします。

WWW Extensionの起動

[スタート]メニューの[プログラム] - [Dmitool] から[WWW Extensionセットアップ]をクリックしてセットアップを行ってください。

セットアップが完了しましたら、システムを再起動してください。WWW Extensionを組み込みます。

WWW ブラウザを起動し、以下のページを表示してください。

`http://IPアドレス/dmiweb/default.htm`

IPアドレス:WWW ExtensionがセットアップされているマシンのIPアドレスを入力してください。

DMIT00L WWW Extensionのページが表示されます。





- ・ WWW Extensionをセットアップする前に、PWSをインストールしてください。
- ・ PWSとは“ パーソナル Web サーバー ”または“ Microsoft Peer Web Service ”のことで、以下の手順により、インストールできます
 - 1 [スタート]メニューから[設定] - [コントロールパネル]をクリックします。
 - 2 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[ネットワークの設定]タブをクリックします。
 - 3 [追加]ボタンをクリックし、[インストールするネットワーク構成ファイル]リストから[サービス]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。
 - 4 [製造元]リストから「Microsoft」、[ネットワークサービス]リストから「パーソナル Web サーバー」を選択します。

以降は画面の指示にしたがってインストールを行ってください。

基本的な使い方

- ・ 自分の席から離れた所の身近なマシンからDMIT00Lの情報を見たい
身近なマシンにインストールされているWWWブラウザを起動します。WWWブラウザで見たいマシンのページ(<http://IPアドレス/dmiweb/default.htm>)を指定し、実行します。DMIT00L WWW Extensionのページが表示されます。



98Timerを使う

98Timerを使うと、指定した時間、および電話/FAX受信時に本機の電源をON/OFFしたり、アプリケーションを起動したりできます。

98Timerの使い方

[スタート]メニューの[プログラム]から98Timerをクリックします。

[98Timer]画面が表示されます。



- ・ 98Timerを使用するときは、表示される日付と時刻が正しいことを確認してください。日付と時刻が正しくないときは[コントロールパネル]の[日付と時刻]を起動して日付と時刻を設定し直してください。
- ・ 指定した実行ファイルが、実行ファイルのあるフォルダ以外の他のフォルダにあるファイルを利用する場合は、正しく起動できない場合があります。

自動電源ONタイマーの設定を行う

自動電源ONタイマーでは、本機の自動電源ON時刻の設定/解除と、そのときに起動するアプリケーションや終了時間を指定できます。

- 1 [スタート]メニューの[プログラム]から98Timerをクリックします。
- 2 [98Timer]画面で、自動的に電源をONにしたい曜日をクリックします。
- 3 自動的に電源をONにしたい時刻を設定します。[98Timer]画面に表示されている数字の上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間モードです。
- 4 電源ON時に起動したいアプリケーションを指定します。[実行ファイル]ボタンをクリックするとファイルを指定する画面が表示されますので、起動したいファイルを指定してください。

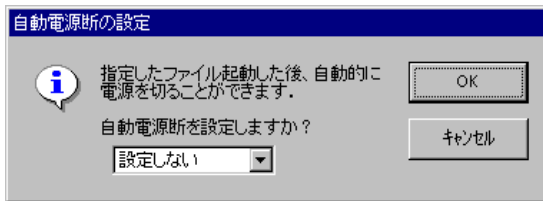


[任意指定]でプログラムファイル以外のマルチメディアファイルなどを選択することもできます。その場合は、関連付けるプログラムの設定を行ってください。関連付けるプログラムが設定されていないと、電源ON時に、エラーが発生します。関連付けるプログラムの設定については、Windowsのヘルプをご覧ください。

- 5** 曜日、時刻などを設定したら、タイマーセットボタンをクリックします。ボタン上のアイコンが黄色く表示され、タイマーが設定されます。もう一度ボタンをクリックするとボタンの色がもとに戻りタイマーが解除されます。

一度タイマーを設定すると、もう一度タイマーを解除しない限り、毎回設定された曜日の同じ時刻に電源がONになります。

- 6** 自動的に電源をONにした後、自動的に電源をOFFにしたい場合は、終了時間設定ボタンをマウスでクリックしてください。次の画面が表示されます。

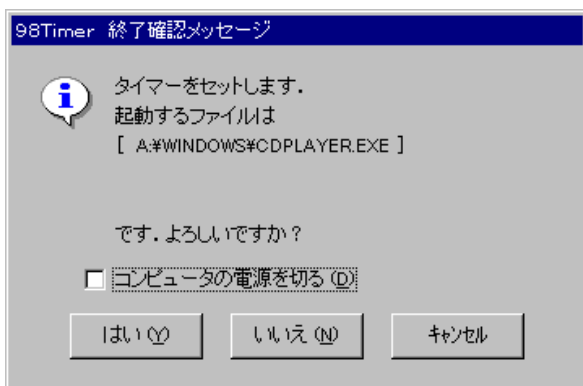


10分間隔で終了時間を設定します。自動的に電源をONにした後、設定した時間が経過すると電源をOFFにします。



通信が終了しても通信ポートを使用し続けるアプリケーション(例えば、着信指定されたFAXソフト等)を使用する場合、[通信ポートを監視する]を設定すると、いつまでも電源がOFFされません。そのようなアプリケーションを使用する場合には、[通信ポートを監視する]を設定しないようにしてください。

- 7** 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
[終了確認メッセージ] 画面が表示されます。



- 8**
- ・ 98Timerを終了した後もコンピュータを使う場合は、[コンピュータの電源を切る] のチェックをしていない状態で、[はい] ボタンをクリックします。タイマーがセットされ、98Timerが終了します。
 - ・ 98Timerを終了した後すぐに電源をOFFにする場合は、[コンピュータの電源を切る] をチェックして [はい] ボタンをクリックします。
 - ・ [いいえ] ボタンをクリックすると、タイマーをセットせずに98Timerを終了します。
 - ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、タイマー設定の画面に戻ります。



- ・ [コンピュータの電源を切る] を設定している場合、電源がOFFにならず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windowsを終了させてください。

自動電源ONリングの設定を行う

自動電源ONリングでは、電話/FAX受信時の自動電源ONの設定/解除と、そのときに起動するアプリケーションや終了時間を指定できます。



- ・ 98Timerでは、モデム着信時に電源ONした後、一定時間で自動で電源をOFFにする設定を行うことができますが、通信中に電源をOFFにしないように電源をOFFにするまでの時間は十分に長く設定してください。
- ・ この機能を利用するには別売りのボード(PC-9801-123、PC-9801-125、PC-9801-127又はその他リングに対応したボード)が必要です。

・ リングの設定

98Timerを起動して、リングセットボタンをクリックするとボタンが黄色く表示され、リングが設定されます。

もう一度ボタンをクリックするとボタンの色がもとに戻りリングが解除されます。

起動アプリケーションの指定、98Timerの終了、終了時間の設定は自動電源ONタイマーと同じように行います。「自動電源ONタイマーの設定を行う」の手順4および手順6以降の手順で設定してください。

・ FAXの自動受信を行う

- 1** ハードディスクを複数のドライブに区切って使用している場合には、電源ON直後の固定ディスク起動メニュープログラムで、Windowsディレクトリのあるドライブを選択して、**[F1]**キーを押し、自動起動を設定します。
- 2** モデムの着信応答の設定を、次の手順で変更します。
 デスクトップの**[受信トレイ]**アイコンをダブルクリックしてMicrosoft Exchangeを起動します。
 Microsoft Exchangeで、**[ツール]**メニューの**[サービス]**をクリックします。サービスの一覧から**[Microsoft Fax]**を選択し、**[プロパティ]**ボタンをクリックします。
[モデム]タブをクリックします。
 お使いのFAXモデムをクリックし、**[プロパティ]**をクリックします。
[応答までのコール数]をクリックし、呼び出し音の回数を指定します。
- 3** リングの**[実行ファイル]**ボタンをクリックして起動アプリケーションに¥Program Files¥Microsoft ExchangeディレクトリのExchang32.exeを指定してください。
- 4** リングセットボタンをクリックしてリングを設定します。

自動電源ON タイマーを設定するときの注意

- ・ タイマー設定を行っても、以下の場合はタイマーによる自動電源ONは起こりません。再度、98Timerを使用してタイマー設定を行ってください。ただし、もう一度電源をONにすれば、タイマーは再設定されます。
- ・ タイマー設定をした後も継続して本機を使用し、設定した時刻より先で電源をOFFにした場合
- ・ タイマー設定を行い電源をOFFにしても、タイマー設定をした時刻より先に電源スイッチで電源をONにし、そのままタイマー設定をした時刻を過ぎてしまった場合
- ・ 本体の電源ケーブルがACコンセントに接続されていないときや停電時はタイマーによる自動電源ONは起こりません。
- ・ ハードディスクを複数のドライブに区切って使用し、自動起動に設定していない場合は、自動電源ONは起こりません。
自動起動に設定するには、
[TAB]キーを押しながら、本機の電源スイッチを押します。
固定ディスク起動メニュープログラムで、Windowsディレクトリのあるドライブを選択して[F1]キーを押し、自動起動に設定します。
- ・ パワーオンパスワードを設定している場合は、自動電源ONは起こりません。

自動電源OFF タイマーの設定を行う

自動電源OFFタイマーを使うと、指定した時間に本機の電源をOFFにすることができます。

自動電源OFFタイマーの使い方

- 1** [スタート]メニューの[プログラム]から[98Timer]をクリックし、[オフタイマー]ボタンをクリックすると、OffTimer画面が表示されます。
- 2** 画面の数字上をマウスでクリックして、時刻設定を行います。
数字上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間モードです。
- 3** [OK]/[キャンセル]の各ボタンを左クリックして、98Timerの設定/解除を行います。
[OK] : タイマーの設定を行います。
このボタンを選択した時点で電源OFFのタイマーがセットされます。
[キャンセル] : タイマーの解除を行います。



- ・ 自動電源OFFが行われた場合、電源がOFFにならず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って操作し、Windowsを終了させてください。
-

自動電源OFFタイマーを設定するときの注意

- ・ タイマー設定を行っても、以下の場合は、タイマーによる自動電源OFFは起こりません。
 - ・ 無条件に終了できないアプリケーションが起動されていた場合
 - ・ OffTimerを終了させてしまったり、Windowsを終了させてしまった場合

他のパソコンからのリモートコントロールを受ける

～ pcANYWHERE プラス(ホスト専用版)

本機の画面を、離れた場所にある他のパソコンに表示して、他のパソコンから本機を自由に操作することができます。遠隔地からのソフトウェア保守や、使用法の説明などにご利用になれます。



- ・ 本機にインストールされているpcANYWHERE プラスを使って、本機から他のパソコンを操作することはできません。
- ・ 他のパソコンから本機をリモートコントロール(遠隔操作)するためには、相手側のパソコンに、別売の「pcANYWHERE プラス」または「pcANYWHERE (Symantec社製)」がインストールされている必要があります。詳細な使用方法については、別売の「pcANYWHERE プラス」または「pcANYWHERE (Symantec社製)」に添付のマニュアルをご覧ください。

pcANYWHERE プラスの起動

pcANYWHERE を起動するには、[スタート]メニューの[プログラム]-[pcANYWHERE プラス]にある[pcANYWHERE プラス]をクリックします。

pcANYWHERE プラスを使用すると、接続している他のパソコンから、本機のハードディスク、CD-ROM、フロッピーディスクの内容をすべて参照することができます。また、必要に応じてファイルの内容を参照したり、修正することもできます。

ホスト接続項目の作成

pcANYWHERE プラスを使用して 他のパソコンから本機をリモートコントロールするためには、まずホスト接続項目を作成する必要があります。ホスト接続項目を作成するには、次の手順で行います。

1 [ホストPC] ボタンをクリックします。



2 次のいずれかの手順を実行します。

- ・ [ホストPC項目の追加] アイコンをダブルクリックし、ウィザードを使って新しい接続項目を作成します。
- ・ ファイルメニューで [新規作成] を選択します。

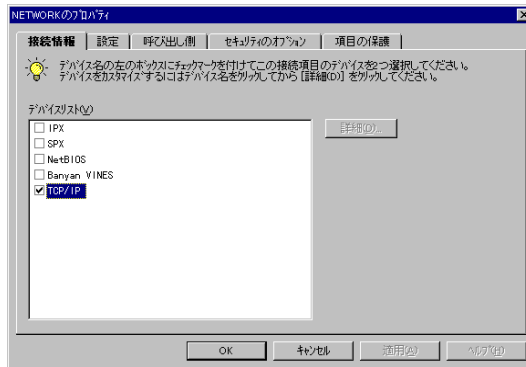
ネットワークプロトコルの設定

pcANYWHERE プラスは、次の5種類の通信プロトコルを選択することができます。

- ・ IPX
- ・ SPX
- ・ NetBIOS
- ・ Banyan VINES
- ・ TCP/IP

これらのプロトコルから1つを選択して設定してください。
設定は次の手順で行います。

- 1 [接続項目] をクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。または [接続項目] を右クリックし、コンテキストメニューで [プロパティ] をクリックします。ホスト接続項目のプロパティシートが表示されます。



- 2 [デバイスリスト] のリストから使用するプロトコルを選択し、[OK] ボタンをクリックします。これで、設定は完了です。



ダイアルアップネットワークをインストールしている場合で、通信プロトコルに NetBIOS を選択する際は、以下の手順で Windows95 のネットワーク設定を行ってください。

1. NetBEUI を一旦削除して再起動した後、あらためて追加する。その際、標準のプロトコルに [設定] をチェックする。
2. 本機を起動する。

コンピュータ名の割り当てと、パスワードの設定

コンピュータ名を割り当てて、ご利用になっているパソコンと、pcANYWHEREプラスが実行されている他のパソコンとを区別することができます。また、パスワードを設定して、他の人からpcANYWHEREプラスの実行や各種設定の変更ができないように保護することができます。



一度、マスタパスワードを設定すると、解除することができません。パスワードを忘れないように注意してください。パスワードを書き留め、安全な場所に保管することをお勧めします。

また、セキュリティ効果を発揮させるために、自分の名前など、他の人から推測できるような安易な単語をパスワードに設定しないでください。

コンピュータ名の割り当ては次の手順で行います。

1 [ファイル]メニューの[アプリケーションオプション]をクリックします。

2 [システムの設定]タブをクリックします。



3 [ユーザ定義名]をクリックし、コンピュータ名を入力します。

4 設定が終了したら[OK]ボタンをクリックします。

パスワードの設定は、次の手順で行います。

1 [接続項目]をクリックし、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。または、接続項目を右クリックし、コンテキストメニューで[プロパティ]をクリックします。

2 [項目の保護] タブをクリックします。



3 [パスワード] にパスワードを入力します。

4 保護レベル/ 実行時、または設定変更の保護 を選択します。次のオプションを選択してください。

- ・ プロパティ表示時に入力要求
pcANYWHERE プラスを使用してプロパティの設定を表示する際にパスワードの入力が必要となります。
- ・ 実行時に入力要求
pcANYWHERE プラスを実行する際にパスワード入力が必要となります。
- ・ プロパティ変更時に入力要求
pcANYWHERE プラスを使用してプロパティの設定を変更する際にパスワードの入力が必要となります。

5 設定が終了したら [OK] ボタンをクリックします。

オンラインメニューの使用

オンラインメニューを使うと、通信の切断、文字による会話(チャット)などを行うことができます。各機能の実際の使用方法については、別売のpcANYWHEREプラスなどのマニュアルをご覧ください。

オンラインメニューの表示方法は次の通りです。

pcANYWHERE のセッションアイコン  をダブルクリックします。
[ホストオンラインメニュー] が表示されます。





本機にプリインストールされているpcANYWHEREでは、各ウィンドウのメニュー上で「ヘルプ」を選択することはできません。機能説明や使用方法については、別売のpcANYWHERE プラスなどのマニュアルをご覧ください。また、リリースノートに記載されている注意事項の内、本機にプリインストールされているpcANYWHEREでは使用できない機能についての項目は、別売のpcANYWHERE プラスなどをインストールした場合に必要となります。

機能の紹介

pcANYWHERE プラスには、次のような機能があります。

- ・ キー入力を使用した、文字を使った対話(チャット)ができます。このとき、通知機能として、注意をうながすBeep音を鳴らすこともできます。



- ・ 画面に数字付きの矢印をつけることができます。これにより、電話やチャットで説明をする際に、画面上の位置を説明しやすくなります。



利用する際の注意

次のような場合は、pcANYWHERE プラスを利用して、遠隔操作でトラブルを解決することができません。

- ・ Windows95が起動できない場合
- ・ 本体内蔵LANインターフェイスを使用していない場合、または、使用していても通信ができない場合
- ・ “ホストPC”のプロパティで[フロッピードライブへのアクセス不可]を設定している場合、他のパソコンから本機のフロッピードライブにアクセスした際に「フォーマットしますか?」というメッセージが表示されることがあります。この場合は、[いいえ]を選択してフォーマットをキャンセルしてください。

コンピュータウイルスに備える ～ウイルススキャン

コンピュータを使用した日常業務で、フロッピーディスクや光ディスクを使用したデータの受け渡しや、ネットワークを通じてデータのやりとりを繰り返していると、コンピュータウイルスに感染したデータを受け取る危険性があります。コンピュータウイルスの感染に備えて、ウイルススキャンを使ってウイルスの検査が行えます。

スキャンワクチンを使って ウイルスを検査する.....

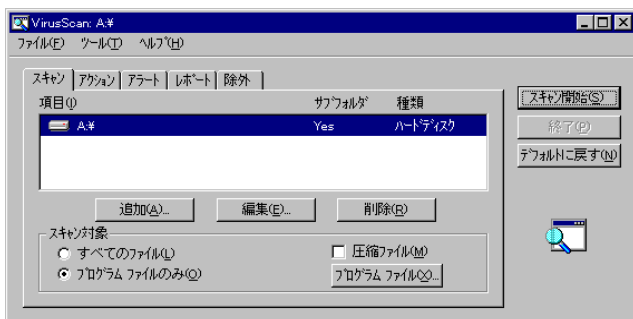
本機にはクラシックモードのみインストールされています。
ネットワークにて検出結果の集中管理を行う場合は、以下の手順に従ってアドバンスドモードも利用できるウイルススキャンをインストールしてください（マニュアルの画面はアドバンスドモードです）

- 1 Part6「アプリケーションの削除と追加」の「VirusScanの削除」に従ってウイルススキャンを削除します。
- 2 「VirusScanの追加」の手順に従って、アプリケーションの追加を行います。

ウイルスの検査

ウイルススキャンを起動して、本機に接続されているディスク内のウイルスを検査します。


- 1 「ウイルススキャン」を起動します。
[スタート]メニューの[プログラム]-[McAfee VirusScan]から[VirusScan]をクリックします。
次の画面が表示されます。





- 2** 検査の対象となる範囲を [編集] ボタンをクリックして設定し、[OK] ボタンをクリックします。
 [アクション] タブをクリックすると [アクション] タブのウィンドウが表示されます。



- 3**  をクリックすると「ウイルス検出時」の一覧が表示されますので、一覧から、アクションを選択します。

- 4** [ブート修復の設定] ボタンをクリックして、修復方法を選択します。
 ブート修復の設定ダイアログでは、あらかじめブートを修復するOSの種別を指定します。選択項目は次の4項目です。

- ・「ウイルス発見時に指定する」
 ブートウイルスを検出したときに、「修復するディスクの選択」ウィンドウを表示して、ブートの修復を行います。
- ・「MS-DOS」
 MS-DOSのディスクとしてブートを修復します。
- ・「IBM-DOS」
 IBM PC-DOSのディスクとしてブートを修復します。
- ・「NECPC-98」
 NECPC-98のディスクとしてブートを修復します。

選択項目を指定したら、[OK] ボタンをクリックします。

- 5** [レポート] タブをクリックすると、[レポート] タブのウィンドウが表示されます。



ここでは次の設定を行います。

- ・「ファイルのログ」
用意されたテキストボックス内にログファイル名を入力するか、[参照] ボタンをクリックして任意のファイルを指定します。
入力できない場合は、チェックボタンをクリックして にしてください。
- ・[ログファイルのサイズを制限]
用意されたフィールド内に、10Kから999Kまでの数値を入力します。
- ・[ログ項目]
ファイルのログの詳細設定です。指定したい項目のチェックボタンをクリックして にしてください。

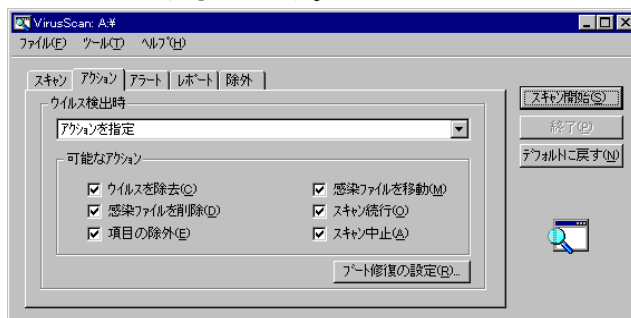
6 [スキャン開始] をクリックすると、スキャンが始まります。

ウイルスを除去する

検出されたウイルスを除去するには、自動的に行う方法と、手動で行う方法があります。

自動的にウイルスを除去する

1 「VirusScan」の初期画面で、[アクション] タブをクリックすると、[アクション] タブのウィンドウが表示されます。



2 「ウイルス検出時」の一覧から「感染しているファイルからウイルスを除去」を選択します。

感染ファイルを削除するには、「感染しているファイルの削除」を選択します。

3 [スキャン開始] をクリックします。
ウイルスが検出されると、自動的に除去されます。



手動でウイルスを除去する

- 1 「VirusScan」の初期画面で、「アクション」タブをクリックすると、「アクション」タブのウィンドウが表示されます。



- 2 「ウイルス検出時」の一覧から「アクションの指定」を選択します。
- 3 「スキャン開始」をクリックします。
ウイルスが検出されると、「ウイルスが見つかりました」ウィンドウが表示されます。
- 4 「ウイルスを除去する」を選択します。
以上でウイルスの除去は終了です。



ウイルスの検査には、この他に「常にファイルのアクセスを監視」したり、「あらかじめ設定した時間にウイルスが感染していないか検査」することができます。

詳しくは、「スタート」メニューの「プログラム」-「McAfee VirusScan」-「Virus Scan コンソール オンライン ヘルプ」をご覧ください。

かな漢字変換 (NECA I IME95) を利用 する

本機では、日本語を入力するための機能として、NECA I IME95を利用できます。ここでは、NECA I IME95を利用するための設定方法と、NECA I IME95の機能について説明します。日本語入力システムの切り替え方法は『Microsoft® Windows® 95 ファーストステップガイド』を参照してください。



購入時の状態では、MS - IME97が標準のかな漢字変換として設定されています。

NECA I IME95を利用するための設定方法

次の手順で「標準の言語」を変更してください。

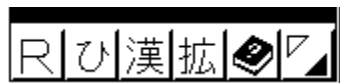
- 1 [スタート]メニューの「設定」から「コントロールパネル」をクリックし、「キーボード」をダブルクリックします。
- 2 「言語」タブをクリックして、表示されている言語のリストから「NECA I IME」を選択します。
- 3 「標準に設定」ボタンをクリックして、「標準の言語」が「NECA I IME」に変更されたことを確認してください。確認後、「OK」ボタンをクリックします。
- 4 「スタート」メニューから「Windowsの終了」を選択し、「コンピュータを再起動する」を選択して「はい」ボタンをクリックします。
再起動後、NECA I IME95を利用して日本語入力ができるようになります。

NECA I IME95ツールバーについて

NECA I IME95には、入力や変換などの日本語モードの状態を示したり、環境を設定したりするのに便利なNECA I IME95ツールバーがあります。

ツールバーに表示されるボタンの種類は、環境設定で変更することができます。また、ツールバーはドラッグして自由に画面上を移動することもできます。

デフォルトで表示されるツールバーと各ボタンの機能は次のとおりです。



ローマ字入力、かな入力の状態を示します。ボタンをクリックして一覧から選択してください。



- ひ
現在の入力モードを表示します。入力モードには、全角ひらがな、全角カタカナ、全角英数、半角カタカナ、半角英数があります。
- 漢
現在の入力方式を表示します。入力方式には、漢字に変換する、半角確定入力、固定入力があります。
- 拡
環境設定のダイアログボックスを表示します。
- NECA IIME95に関するオンラインヘルプを表示します。このオンラインヘルプには、日本語入力の基礎や関連知識などについて情報がありますので、ぜひ参照してください。
- ツールバーの表示を切り替えます。ボタンをクリックすることにより、初期状態のツールバーと全ボタン表示のツールバーが切り替わります。

全ボタン表示にすると、次のようなボタンがツールバーに追加されます。



- FNC
ファンクションキーの機能ガイドの表示/非表示を切り替えます。
- 文字の変換や修正など、日本語入力の基本的な機能を一覧から選択することができます。選択できる機能は、変換、各種変換、1文字確定、取り消し、削除、カーソル移動、文節移動、文節区切り、確定です。
- 単漢
単漢字入力の機能を一覧から選択することができます。選択できる機能は、部首変換、音読み変換、画数変換、コード入力、記号入力です。
- 辞書切り替えのダイアログボックスを表示します。
- 単語登録および削除を行うダイアログボックスを表示します。また、変換候補の削除を行うこともできます。
- 辞書保守ユーティリティを起動します。
- 優
優先変換モードを表示します。優先変換モードには、優先変換なし、口語優先、複合語優先があります。

環境設定について

環境設定ダイアログボックスはNECAIIME95ツールバーの[拡] ボタンをクリックするか、キーボードの[F10]キーを押すと表示できます。



入力モード、入力方式など、日本語入力の基本的な設定を行う場合は[操作] タブを、ツールバーの表示を変更する場合は[表示] タブを、使用する辞書の設定を行う場合は[辞書] タブを、それぞれクリックし、自分の使いやすい環境に整えてください。

Part 4

その他の機能を使う

このPartでは、以前からPC-9800シリーズのコンピュータを使用している方にとって、便利な機能について説明します。

なお、これらの機能は、購入時には、本機にはセットアップされていません。

インストールされていない機能を追加する

LANシリーズのデータを見る

英語モードフォントを使用する

DOS APインストーラ

インストールされていない機能を追加する

本機には、購入時から、すぐに使えるアプリケーションがセットアップされていますが、他にも、以前からPC-9800シリーズのコンピュータを使用している方にとって便利な機能を、後から追加することができます。

ここでは、これらの機能のセットアップ方法を説明します。

セットアップする前に

セットアップする機能の概要、およびセットアップに必要なハードディスク容量について説明します。

セットアップの前に、使ってみたい機能があるかどうかを確認してください。

機能の概要

LANシリーズのクイック表示

LANWORD、LANFILE、LANPLAN/GなどのLANシリーズで作成したファイルの内容を、クイックビューアで表示できます。LANシリーズのアプリケーションを使っている場合や、LANシリーズのアプリケーションで作成したデータを持っている場合に便利な機能です。使い方については、このPartの「LANシリーズのデータを見る」をご覧ください。

・98環境設定ユーティリティ

本機の状態を設定するメモリスイッチを変更することができます。

使い方については「ステップアップガイド」をご覧ください。

・英語モードフォント

日本語モードフォントのまま、海外製Windows95アプリケーションをWindows95で利用する場合、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えることにより、正しく表示します。使い方については、このPartの「英語モードフォントを使用する」をご覧ください。

DOS APインストーラ

MS-DOSアプリケーションのインストールをサポートするユーティリティです。Windows95でも、MS-DOSのアプリケーションを使いたい場合に便利な機能です。使い方については、このPartの「DOS APインストーラ」をご覧ください。

DOS コマンド

Windows95のMS-DOSモードで使用できるコマンドです。グラフィックドライバやサウンドドライバなどがあります。

MS-DOSモードで動作するアプリケーションを、使用する場合などに便利です。使い方については「ステップアップガイド」をご覧ください。

**DOS環境設定ユーティリティ**

MS-DOSモード時に使用するCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATの編集ができます。従来からのMS-DOSの環境やMS-DOSアプリケーションを引き続き、本機でも使用したい場合に、便利な機能です。詳しくは『ステップアップガイド』をご覧ください。

NECAI FEP

MS-DOSプロンプト用NECAI FEPを追加します。

セットアップに必要なハードディスク容量

DOSコマンド	約0.5Mバイト*
MS-DOSモード用グラフィックドライバ	約0.1Mバイト
MS-DOSモード用サウンドドライバ	約0.1Mバイト
MS-DOSモード用基本グラフィックドライバ	約0.3Mバイト
NECAI FEP	約0.2Mバイト
USK CGMコマンド	約0.1Mバイト
ユースフルパックユーティリティ	約0.7Mバイト*
98環境設定ユーティリティ	約0.2Mバイト
DOS APインストーラ	約0.3Mバイト
DOS環境設定ユーティリティ	約0.2Mバイト
LANシリーズのクイック表示	約0.3Mバイト
英語モードフォント	約17.2Kバイト

*各合計値

上記の機能をセットアップするには、以降の「セットアップする」を参照してください。ただし「英語モードフォント」をご利用になる場合は、このPartの「英語モードフォントを使用する」をご覧ください。

:

Part

4

その他の機能を使う

セットアップする

セットアップは次の手順で行います。

- 1** 本機添付の「バックアップCD-ROM」を用意します。
- 2** [スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]を起動して、[アプリケーションの追加と削除]を起動します。
- 3** [セットアップ]ボタンをクリックしてから、「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットして、[フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ]画面で[次へ]ボタンをクリックします。
- 4** [セットアッププログラムの実行]画面の[セットアッププログラムのコマンドライン]が<CD-ドライブ名>: ¥NSETUP.EXEになっているかを確認して、[完了]ボタンをクリックします。
- 5** [プロダクトの選択]画面で[ユースフルバックセットアップ]をクリック(反転表示)して、[OK]ボタンをクリックします。
- 6** 表示された画面で[次へ]ボタンをクリックします。
- 7** [セットアップ方法]の選択画面が表示されます。[標準]または[カスタム]を選択します。

- ・ [標準]を選択した場合

以下のプログラム一覧の()がついたプログラムだけが追加されます。

- ・ [カスタム]を選択した場合

セットアップしたいプログラムを、1つずつ選択できます。

DOSコマンド	MS-DOSモード用グラフィックドライバ
	MS-DOSモード用サウンドドライバ
	Mate-X/CanBeシリーズ用サウンドドライバ
	MS-DOSモード用基本グラフィックドライバ
	NECAI FEP
	USKCGMコマンド
ユースフルバックユーティリティ	98環境設定ユーティリティ()
	DOS APインストーラ()
	DOS環境設定ユーティリティ()
	LANシリーズのクイック表示()



8 [標準] または [カスタム] を選択したら、[次へ] ボタンをクリックします。

- ・ [標準] を選択した場合
表示された画面で、そのまま [次へ] ボタンをクリックします。
アプリケーションの追加がはじまります。
- ・ [カスタム] を選択した場合
表示された画面で、追加したいアプリケーションのチェックボックスをクリック (チェックボックスにチェックマークをつける) して、[次へ] ボタンをクリックします。
選択したアプリケーションの追加がはじまります。



[詳細] ボタンが表示されている場合は、それぞれのアプリケーションに含まれる機能を個別に追加できますが、お使いの環境によっては、[DOSコマンド] 中に、選択できない機能があります。



- ・ 途中で「コピー先に新しい日付のファイルが存在します。上書きしてよろしいですか」のメッセージが表示された場合、[はい] を選択してください。
- ・ 「このファイルはWindowsが使用中または書き込み禁止であるため上書きできません」のメッセージが表示されても、問題はありませんので、[OK] ボタンをクリックし、そのまま作業を継続してください。

9 「セットアップが完了しました」と表示されたら、[完了] ボタンをクリックしてください。システム設定が変更された場合、再起動を促すメッセージが表示されます。[はい] を選択して、システムを再起動してください。

削除する

不要になった機能は、次の手順で削除できます。

- 1** [スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]を起動して、[アプリケーションの追加と削除]を起動します。
- 2** [セットアップと削除]画面の一覧から[ユースフルパックセットアップ]をクリック(反転表示)して、[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3** [ユースフルパックセットアップ]画面が表示されます。[次へ]をクリックしてください。
- 4** [セットアップ方法の選択]画面で、[カスタム]を選択して、[次へ]をクリックします。
- 5** 表示された画面で、削除したアプリケーションのチェックボックスをクリックして、チェックを外します。
次のアプリケーションが削除できます。



- ・ [詳細]ボタンが表示されている場合は、それぞれのアプリケーションに含まれる機能を個別に追加できますが、お使いの環境によっては、[DOSコマンド]中に、選択できない機能があります。
- ・ コントロールパネルを含めて、実行中のアプリケーションはすべて終了してから削除を行ってください

DOSコマンド	MS-DOSモード用グラフィックドライバ MS-DOSモード用サウンドドライバ Mate-X/CanBeシリーズ用サウンドドライバ MS-DOSモード用基本グラフィックドライバ NECAI FEP USKCGMコマンド
ユースフルパックユーティリティ	98環境設定ユーティリティ DOS APインストーラ DOS環境設定ユーティリティ LANシリーズのクイック表示

- 6** チェックボックスのチェックを外したら、[次へ]ボタンをクリックします。アプリケーションの削除がはじまります。
- 7** [セットアップが完了しました]と表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。システム設定が変更された場合、再起動を促すメッセージが表示されます。
[はい]を選択して、システムを再起動してください。

LANシリーズのデータを見る ~ LANWORD、LANPLAN/G、LANFILE ファイルのクイック表示

Windows 95では、Windowsベースのアプリケーションで作成されたファイルは、アプリケーションを起動しなくても、クイックビューアでその内容を簡単に表示することができます。本機では、LANシリーズで作成したファイルもクイックビューアで表示することができます。クイックビューアで表示できるLANシリーズのファイル形式については、各項をご覧ください。

ファイルをクイック表示する

ファイルの内容をクイックビューアで表示します。

- 1** [スタート]メニューの[プログラム]から[エクスプローラ]を起動するか、またはデスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックします。
- 2** 表示したいファイルを選択した状態で、マウスの右ボタンをクリックしポップアップメニューから[クイックビューア]を選択するか、同じ状態で、[ファイル]メニューから[クイックビューア]を選択してください。
[クイックビューア]が起動し、選択されたファイルの内容が[クイックビューア]ウィンドウに表示されます。

クイック表示するときの注意

LANWORD文書ファイルのクイック表示の注意事項

クイック表示の対象となるファイルは、LANWORD(Windows[®]版、Windows[®]95版、Windows NT[®]版)文書ファイル(*.DWD)または文豪DP-WORDの文書ファイル(*.DWD)のみです。PTOS版LANシリーズのファイルをクイック表示することはできません。

LANPLAN/Gワークシートファイルのクイック表示の注意事項

- クイック表示の対象となるファイルは、LANPLAN/α Windows®版、Windows®95版、Windows NT®版)ワークシートファイル(*.DST)または文豪DP-PLANのワークシートファイル(*.DST)のみです。マクロシートファイル(*.DMT)やPTOS版LANシリーズ、文豪PLANのファイルをクイック表示することはできません。
- クイック表示機能はファイル内容の簡易表示を目的としています。したがって、ワークシートに設定された書式情報(罫線/パターン/文字色等)の一部は省略して表示されます。
- 最大表示範囲は、20列×50行です。

LANFILEデータベースファイルのクイック表示の注意事項

- クイック表示の対象となるファイルは、LANFILE(Windows®版、Windows®95版)および文豪DP-CARD+のディレクトリファイル(*.DDR)に関連付いているデータベースファイルと送信形式ファイル(*.DDS)のみです。マクロシートファイル(*.DDM)や帳票ファイル(*.DDT)、PTOS版LANFILE、LANFOLDER、文豪CARD、文豪DP-CARDのファイルはクイック表示できません。
- クイック表示機能はファイル内容の簡易表示を目的としています。したがって、ディレクトリファイルに設定された書式情報(文字色、文字フォント、文字サイズ等)の一部を省略して表示します。
- 最大表示桁数は100件です。
- ディレクトリファイルに関連付いているデータファイルが存在しない場合、表定義情報のみ表示します。
- 表定義のみで作成したディレクトリファイルをクイック表示した場合、表定義情報のみクイック表示します。
- 1レコードの最大表示幅は、340バイトです。
- ディレクトリファイルに関連付いているデータファイルを読み込んでいるときにエラーが発生した場合、ディレクトリファイルのエラーとしてメッセージを表示します。

英語モードフォントを使用する

日本語モードフォントのまま、海外製Windows 95アプリケーションをWindows 95で利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードのまま、日本語版Windows 95アプリケーションをWindows 95で利用する場合も、正しく表示されない文字があります。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

	海外製Windows 95 アプリケーションを使用	日本語版Windows 95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」 「ウ」 「®」 「ヨ」 「\」 「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ウ」 「©」 「ヨ」 「®」 「¥」 「\」

英語モードフォントへの切り替え

使用するフォントを日本語モードから英語モードに切り替えます。

- 1 [スタート]メニューの[設定]-[コントロールパネル]から[フォント]を起動します。
[Fonts]フォルダが開きます。
- 2 [ファイル]メニューの[新しいフォントのインストール]コマンドを選択します。[フォントの追加]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットします。
- 4 [ドライブ]にCD-ROMドライブ(通常は「Q:」)を指定し、[フォルダ]に「¥usefulpk
¥usfont」ディレクトリを指定します。
- 5 [フォントの一覧]のリストボックスに、「EnglishModeFixedSys (Set #6)」
「EnglishModeSystem (Set #6)」 「EnglishModeTerminal (Set #6)」
が表示されることを確認してから、[すべて選択]ボタンをクリックした後、[OK]ボタ
ンをクリックします。[Fonts]フォルダ内に英語モードフォントが追加され、英語モー
ドフォントに切り替わります。



使用しているフォントが英語モードのまま、日本語版Windows 95アプリケーションをWindows 95で利用すると、「ウ」「ヨ」「¥」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードを日本語モードに切り替えてください。

日本語モードフォントへの切り替え

使用するフォントを英語モードから日本語モードに切り替えます。

- 1** [スタート]メニューの[設定]-[コントロールパネル]から[フォント]を起動します。
[Fonts]フォルダが開きます。
- 2** [Fonts]フォルダ内の「EnglishModeFixedSys (Set #6)」、「EnglishMode System (Set #6)」、「EnglishModeTerminal (Set #6)」(実際には名前が短く表示される場合もあります)を選択し、[ファイル]メニューの[削除]を選択します。「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」というメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると英語モードフォントが削除され、日本語モードフォントに切り替わります。



使用しているフォントが日本語モードのまま、海外版Windows 95アプリケーションをWindows 95で利用すると、著作権(©)や登録商標(®)が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードを英語モードに切り替えてください。

DOS AP インストーラ

Windows 95の動作環境を変更せず、MS-DOSアプリケーションのインストールを行うことができます。また、既にインストールされているMS-DOSアプリケーションのショートカットを作成したり、使用しているデバイスドライバの内容を確認/修正することもできます。



ここで「ショートカットを作成する」とは、「[スタート]メニューにアプリケーションを登録する」という意味です。

DOS AP インストーラをお使いになる前に

次のようなMS-DOSアプリケーションは、Windows上では実行できません。

- ・ フロッピーディスクからの起動が必要なアプリケーション
このようなアプリケーションは、Windowsを終了してMS-DOSモードで再起動してから実行してください。起動方法の詳細については、アプリケーションに添付しているマニュアルをご覧ください。
- ・ ADDDRVコマンドに対応していないかな漢字変換機能を利用するアプリケーションや、終了後MS-DOSに戻らないアプリケーション
このようなアプリケーションは、後述の「アプリケーションを利用する際の注意」をご覧ください。

また、次のようなアプリケーションはDOS AP インストーラではインストールできません。

- ・ インストール中またはインストール後にコンピュータを自動的に再起動するアプリケーション
このようなアプリケーションは、MS-DOSモードでコンピュータを再起動して、手作業でインストールしてください。
手作業によるアプリケーションのインストールについては後述の「手作業によるアプリケーションの登録」をご覧ください。
インストール中またはインストール後にコンピュータを自動的に再起動するかどうかは、アプリケーション添付のマニュアルをご覧ください。

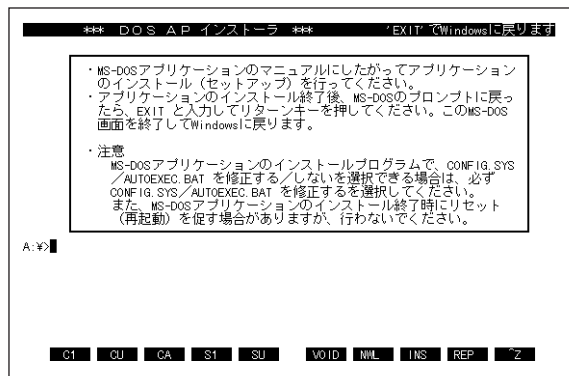
MS-DOSアプリケーションをインストールして ショートカットを作成する.....

DOS AP インストーラを使用して、新しくMS-DOSアプリケーションをインストールした後、ショートカットを作成するには、次の手順で行ってください。

DOS AP インストーラでのインストール

MS-DOSアプリケーションをDOS AP インストーラを使用してインストールします。


- 1** [スタート]メニューの[プログラム]-[DOSアプリケーション]からDOS APの登録を起動します。
[DOSアプリケーションの登録]ダイアログボックスが表示されて、インストールに必要な手順や注意事項が説明されますので、確認しながら[次へ]ボタンをクリックして進めてください。
- 2** MS-DOSプロンプトが起動して、MS-DOSプロンプトのDOS AP インストーラの画面が表示されます。インストールするMS-DOSアプリケーションのインストール手順にしたがって、インストールを行ってください。




- MS-DOSアプリケーションのインストール中にCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの変更を選択する場面がある場合は、必ず「変更する」を選択してください。
- インストールに際して必要なファイルがハードディスクに存在しない場合、以降の操作が正しく実行できない場合があります。



MS-DOSアプリケーションのインストール方法については、MS-DOSアプリケーションに添付されているインストールまたはセットアップ関連のマニュアルをご覧ください。

- 3** MS-DOSアプリケーションのインストール終了後、「EXIT」と入力するとWindows 95の画面に戻ります。



MS-DOSアプリケーションのインストール後、リセット(再起動)の指示がある場合がありますが、絶対に行わないでください。必ずインストール終了後は、「EXIT」と入力して、Windows 95の画面に戻ってください

DOS APインストーラでインストールできなかった場合は、後述の手作業によるアプリケーションの登録を参照してインストールしてください。

- 4** 引き続き、「DOSアプリケーションの登録」ダイアログボックスが表示されて、インストールしたMS-DOSアプリケーションを「スタート」メニューの「プログラム」-「DOSアプリケーション」フォルダに登録する作業が行われますので、「次へ」ボタンをクリックして、これ以降の「インストールしたMS-DOSアプリケーションのショートカットの作成」の手順に進んでください。また、登録しない場合は、「終了」ボタンをクリックして「DOS APインストーラ」を終了してください。

インストールしたMS-DOSアプリケーションのショートカットの作成

インストールしたMS-DOSアプリケーションのショートカットを作成します。

- 1** MS-DOSアプリケーションの起動方法を選択する画面で、「コマンドで起動」または「自動的に起動」のどちらかを選択した後、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 2** MS-DOSアプリケーションを起動するコマンド名を入力する画面で、コマンド名にはMS-DOSアプリケーションの起動コマンドを入力するか、「参照」ボタンをクリックして起動用に作成、インストールした実行ファイル(*.EXE)、バッチファイル(*.BAT)またはコマンドファイル(*.COM)を選択した後、「OK」ボタンをクリックしてください。選択したコマンドを表示しますので、確認した後、「次へ」ボタンをクリックしてください。



MS-DOSアプリケーションの起動コマンドについては、MS-DOSアプリケーションに添付されているインストールまたはセットアップ関連のマニュアルをご覧ください。

- 3** 起動するMS-DOSアプリケーションの登録名を指定する画面が表示されますので、アプリケーション名を入力した後、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 4** MS-DOSアプリケーションの起動に必要なデバイスドライバや環境変数を設定する作業が行われますので、これ以降の「MS-DOSアプリケーションのデバイスドライバ定義ファイルの編集」の処理を進めてください。ショートカットの作成が必要ない場合は、「終了」ボタンをクリックして「DOS APインストーラ」を終了してください。



MS-DOSアプリケーションの起動に必要なデバイスドライバや環境変数については、MS-DOSアプリケーションに添付されているインストールまたはセットアップ関連のマニュアルをご覧ください。

MS-DOSアプリケーションのデバイスドライバ定義ファイルの編集

インストールしたMS-DOSアプリケーション起動用デバイスドライバ、環境変数を設定します。ただし、MS-DOSアプリケーションのインストール時にCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATが変更された場合は、この処理は行えません。

- 1 [オプション] ボタンをクリックします。[DOSアプリケーションの登録]の[デバイスドライバ定義ファイルの編集]タブの画面が表示されます。



- 2 デバイスドライバを新規に追加する場合は、[追加] ボタンをクリックすると、デバイスドライバを選択する画面が表示されます。[ファイルの場所] [ファイル名] [デバイスドライバ名:*.DRV] を選択した後、[開く] ボタンをクリックすると [有効な内容] に新規に追加したデバイスドライバが表示されます。



[追加] は、Windowsの[マイ コンピュータ]または[エクスプローラ]の[表示] - [オプション] を実行して、[すべてのファイルを表示] をチェックしてから行ってください。

- 3 すでに設定されているデバイスドライバを削除する場合は、[有効な内容] に表示されているデバイスドライバを選択した後、[無効] ボタンをクリックします。デバイスドライバが [無効な内容] に移動します。

一度、削除したデバイスドライバを設定する場合は、[無効な内容] に表示されているデバイスドライバを選択した後、[有効] ボタンをクリックします。

- 4 デバイスドライバの設定内容が変更できたら、[更新] ボタンをクリックしてください。デバイスドライバの設定内容が更新されます。引き続き、環境変数の設定内容の変更を行いたい場合は、[DOS AP起動用ファイルの編集] タブをクリックしてください。[DOS AP起動用ファイルの編集] タブの画面が表示されますので、これ以降の「MS-DOSアプリケーションの起動用ファイルの編集」の処理を進めてください。必要ない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして「MS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズの設定」の処理に進んでください。



- ・すでに設定されているデバイスドライバを編集したり、パラメータを変更する場合は[有効な内容]に表示されているデバイスドライバを選択した後、[編集]ボタンをクリックします。[指定行の修正]ダイアログボックスが表示されます。行の修正をした後、[更新]ボタンをクリックすると、デバイスドライバのパラメータが更新されます。
- ・他のアプリケーションで使っているデバイスドライバ定義ファイルを共有する場合は[ファイル変更]ボタンをクリックして共有するファイルを選択してください。

MS-DOSアプリケーションの起動用ファイルの編集

インストールしたMS-DOSアプリケーション起動用環境変数を設定します。

- 1 [DOS AP起動用ファイルの編集]タブの画面で環境変数を新規に追加する場合は[追加]ボタンをクリックすると、環境変数を入力するための画面が表示されます。環境変数を入力した後、[更新]ボタンをクリックすると[有効な内容]に表示されます。
- 2 すでに設定されている環境変数を削除する場合は[有効な内容]に表示されている環境変数を選択した後、[無効]ボタンをクリックします。環境変数が[無効な内容]に移動します。
削除した環境変数を設定する場合は[無効な内容]に表示されているデバイスドライバを選択した後、[有効]ボタンをクリックします。
- 3 環境変数の設定内容が変更できたら、[更新]ボタンをクリックして、[OK]ボタンをクリックしてください。環境変数の設定内容が更新されて、メモリサイズを設定する画面に進みます。メモリサイズの設定が必要な場合は、「MS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズの設定」の処理を進めてください。

MS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズの設定

インストールしたMS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズを設定します。

- 1 [オプション]ボタンをクリックすると、MS-DOSアプリケーションを実行するディレクトリを設定する画面が表示されます。



- 2** 実行するディレクトリ名を入力した後、[次へ] ボタンをクリックします。設定内容が有効になり、メモリサイズを設定する画面に進みます。



- 3** [コンベンショナルメモリ][EMSメモリ][XMSメモリ][環境変数の初期サイズ]を設定した後、[次へ] ボタンをクリックします。コマンド、実行ディレクトリ、メモリサイズの設定を確認する画面が表示されます。
- 4** 設定を確認した後、[次へ] ボタンをクリックします。MS-DOSアプリケーションが、[スタート]メニューからアイコンを選択することで起動できるようになります。

MS-DOSアプリケーションのショートカットの起動

MS-DOSアプリケーションのショートカットを起動するには、次の2つの方法があります。

- [スタート]メニューの[プログラム]-[DOSアプリケーション] からMS-DOSアプリケーションのショートカットをクリックする
- [マイ コンピュータ]や[エクスプローラ] から¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある[DOSアプリケーション]フォルダを開いて、MS-DOSアプリケーションのショートカットをダブルクリックする

MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成する.....

DOS APインストーラを使用して、新しくMS-DOSアプリケーションのショートカットを作成するには、次の手順で行ってください。

MS-DOSアプリケーションのショートカットの作成

MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成します。

- 1** [DOS APショートカットの作成] を起動すると、[DOSアプリケーションの登録] ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 画面に表示される指示にしたがって、[次へ] ボタンをクリックして処理を進めてください。ハードディスクにインストールされているMS-DOSアプリケーションを起動するコマンドを入力する画面が表示されます。起動コマンドを入力するか、[参照] ボタンをクリックして起動用に作成、またはインストールされている実行ファイル(*.EXE)、バッチファイル(*.BAT)またはコマンドファイル(*.COM)を選択した後、[OK] ボタンをクリックしてください。
- 3** アプリケーション名を設定する画面が表示されますので、アプリケーション名を入力した後、[次へ] ボタンをクリックしてください。以降のデバイスドライバ、環境変数、メモリサイズの設定は、前述の「MS-DOSアプリケーションをインストールしてショートカットを作成する」で行ったのと同じ手順で設定してください。MS-DOSアプリケーションのショートカットが、[スタート]メニューの[プログラム]から[DOSアプリケーション]に登録されます。

MS-DOSアプリケーションのショートカットの起動

MS-DOSアプリケーションのショートカットを起動するには、次の2つの方法があります。

- [スタート]メニューの[プログラム]-[DOSアプリケーション]からMS-DOSアプリケーションのショートカットをクリックする
- [マイ コンピュータ]や[エクスプローラ]から¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある[DOSアプリケーション]フォルダを開いて、MS-DOSアプリケーションのショートカットをダブルクリックする

MS-DOSアプリケーションのショートカットのデバイスドライバ、環境変数を変更する

ショートカットのデバイスドライバの内容を変更します。

- 1** デバイスドライバの内容を確認するショートカットアイコンを選択します。ショートカットアイコンにマウスカーソルを近づけたまま右クリックするか、または、[エクスプローラ]の[ファイル]メニューを選択し、[デバイスドライバの変更]を選択してください。使用しているデバイスドライバの一覧が表示されます。

- 2** 以降のデバイスドライバと環境変数の設定については、「MS-DOSアプリケーションのデバイスドライバ定義ファイルの編集」と「MS-DOSアプリケーションの起動用ファイルの編集」の手順を繰り返します。

DOS AP インストーラの注意事項.....

- かな漢字変換ドライバのみの登録はできません。
- MS-DOSアプリケーションのインストール終了後、自動的にリセットを行う(電源スイッチを押す以外の操作を受け付けない場合も含みます)MS-DOSアプリケーションは登録できません。
- MS-DOSアプリケーションのインストール途中でエラーが発生した場合は、環境設定ファイル(CONFIG.SYS、AUTOEXEC.BAT)は変更されたままの状態になります。
- ブロックデバイスを使用するMS-DOSアプリケーションは、正常に動作しないことがあります。
- 起動コマンドにバッチファイル(*.BAT)を指定しているアイコンを起動した場合、アプリケーションを終了してもMS-DOSプロンプトが終了しないことがあります。EXIT(Ⓜ)と入力してMS-DOSプロンプトを終了させてください。
- MS-DOSアプリケーション固有のかな漢字変換ドライバを使用するMS-DOSアプリケーションは、MS-DOSプロンプトが起動した後でかな漢字変換ドライバを使用する環境を作成(CONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATを変更)、MS-DOSアプリケーションのインストールを行ってください。
- MS-DOSアプリケーションの動作時に必要な設定を手作業で行う場合は、MS-DOSプロンプト終了前に行ってください。
- Windows 95で使用できないドライバをCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATに追加するMS-DOSアプリケーションを登録しようとする時、「MS-DOSアプリケーションのインストール時に変更したCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATファイルの内容を元に戻しますか」という確認ダイアログが表示されます。この場合、通常は「はい」を選択してください。「いいえ」を選択すると、Windowsが起動しなくなることがあります。
- MS-DOSアプリケーションのインストールを行ったことによりWindowsが起動しなくなった場合は、次の手順で環境を元に戻してください。

キーボードの[F8]キーを押した状態で本機を再起動し、WindowsをSafeモードで起動します。

[スタート]メニューの[プログラム]から[エクスプローラ]を起動し、[表示]メニューの[オプション]を選択します。

[表示]タブを選択し、[すべてのファイルを表示]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

[エクスプローラ]から¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥DOSアプリケーションにある[DATA]フォルダを開きます。

次のファイルがあることを確認してください。

確認するファイルは、手順 5 の操作を行ったときの状況によって異なります。

- MS-DOSアプリケーションのインストール中に再起動した場合
x_CONF.SYS
x_AUTO.BAT
(xはドライブ名)
- MS-DOSアプリケーションのインストール後に環境を元に戻さなかった場合
x_CONF.yyy
x_AUTO.yyy
(xはドライブ名、yyyはファイル番号を示します。同じファイル名でファイル番号が異なるファイルが複数ある場合はファイル番号の大きいファイルを選択してください)

手順 5 で選択した2つのファイルを、ドラッグアンドドロップでドライブのルートディレクトリにコピーします(元のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは削除しておきます)。

コピーしたファイルを選択し、[ファイル]メニューの[名前の変更]を選択してファイル名を次のように変更します。

x_CONF.SYS / x_CONF.yyy	CONFIG.SYS
x_AUTO.BAT / x_AUTO.yyy	AUTOEXEC.BAT

手作業によるアプリケーションの登録.....

DOS APインストーラでインストールできないアプリケーションは、本項の説明を参考にし登録してください。以下に具体的な操作手順を説明します。あらかじめ、フォーマット済みのフロッピーディスクを1枚用意してください。なお、説明は以下の前提で行います。お使用のシステム構成と異なる場合は、読み替えてください。

- Windowsがインストールされている内蔵ハードディスク :Aドライブ
- フロッピーディスクドライブ :Bドライブ

DOS APインストーラでインストールしようとして成功しなかった場合は、手順1から順に、そうでない場合は手順7からお読みください。

- 1** [スタート]メニューの[プログラム]-[エクスプローラ]をクリックします。[エクスプローラ]ウィンドウが表示されます。
- 2** [表示]メニューの[オプション]をクリックすると[オプション]ウィンドウが表示されます。[表示]タブを選択し、[すべてのファイルを表示]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。
- 3** エクスプローラから¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥DOSアプリケーションにある[DATA]フォルダを開きます。
- 4** [X_AUTO.BAT] [X_CONF.SYS] (Xはドライブ名)の2つのファイルをドラッグアンドドロップでドライブのルートディレクトリにコピーします(元のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは削除しておきます)。
- 5** コピーしたファイルを選択し、[ファイル]メニューから[名前の変更]を選択して、X_AUTO.BATはAUTOEXEC.BATに、X_CONF.SYSはCONFIG.SYSに名前を変更します。
- 6** コピーしたファイルを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択して、[属性]の[隠しファイル]のチェックマークを消します。
- 7** フォーマット済みのフロッピーディスクをBドライブに挿入し、Windowsの[エクスプローラ]を利用して、AドライブのルートディレクトリにあるCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの2つのファイルをBドライブにコピーします。
- 8** Bドライブにコピーしたファイルの名前を、それぞれCONFIG.NEC、AUTOEXEC.NECに変更します。
- 9** フロッピーディスクを取り出します。
- 10** 起動中のアプリケーションをすべて終了し、[スタート]メニューの[Windowsの終了]を選択し、[MS-DOSモードでコンピュータを再起動する]を選択します。
- 11** MS-DOSモードで再起動したらアプリケーションをインストールします。



インストール中にCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATを書き替えてもよいかどうか確認されたら、「書き替えない」を選択してください。確認メッセージが表示されなかった場合は、アプリケーションのインストール終了後、手順7で用意したフロッピーディスクをドライブに挿入して、コマンドプロンプトから次のように入力します。

```
COPY B: ¥CONFIG.NEC A: ¥CONFIG.SYS 
```

```
COPY B: ¥AUTOEXEC.NEC A: ¥AUTOEXEC.BAT 
```

また、アプリケーションのインストール先や起動ドライブとしてAドライブ以外のドライブを指定した場合、そこにCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATが存在するとそれらのファイルが書き替えられる可能性があります。その場合は、上記手順を参考にして、該当ドライブのCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATを復元してください。

- 12** 「EXIT[Ⓜ]」と入力してコンピュータを再起動します。これ以降は前述の「MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成する」を参照してください。

アプリケーションを利用する際の注意.....



市販のMS-DOSアプリケーションには、使用するMS-DOSのバージョンを指定しているものがあります。ご使用の際には、アプリケーションが動作するMS-DOSのバージョンを確認してください。

- ADDDRVコマンドでかな漢字変換用デバイスドライバが組み込まないアプリケーション、または終了してもMS-DOSに戻らないアプリケーションの実行方法

- 1** [エクスプローラ]で目的のプログラムのアイコンを選択します。
- 2** [ファイル]メニューの[プロパティ]を選択します。
- 3** [プロパティ]ウィンドウで[プログラム]を選択し、[詳細設定]ボタンをクリックします。
- 4** [MS-DOSモード]にチェックマークをつけ、[新しいMS-DOS設定を指定する]を選択します。
- 5** [MS-DOSモード用CONFIG.SYSファイル]と[MS-DOSモード用AUTOEXEC.BATファイル]を記述します。

- 6** [OK] ボタンをクリックして[プロパティ]のウィンドウに戻ります。
- 7** [OK] ボタンをクリックして[プロパティ]のウィンドウを閉じます。
- 8** [スタート]メニューの[Windowsの終了]を選択し、[MS-DOSモードでコンピュータを再起動する]を選択し、[はい] ボタンをクリックします。
- 9** コンピュータが再起動したらアプリケーションを実行します。

- 登録したアプリケーションの実行環境を詳細に設定するには
各プログラムの[プロパティ]で設定を行います。詳細はヘルプの[キーワード]画面で[MS-DOSプログラム]の項目を検索し参照してください。

- 登録したアプリケーションにオリジナルのアイコンを割り当てるには
各プログラムの[プロパティ]で設定を行います。次の手順でアイコンを割り当ててください。

- 1** [エクスプローラ]で目的のプログラムを選択します。
- 2** [ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。
- 3** [プロパティ]ダイアログボックスで[プログラム]を選択し、[アイコンの変更] ボタンをクリックします。
- 4** [アイコンの変更]ダイアログボックスでアイコンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- 5** [OK] ボタンをクリックして[プロパティ]のウィンドウを閉じます。



Part 5

インターネットを利用する

インターネットを利用する方法や注意事項について説明します。

インターネットに接続する

インターネットエクスプローラを使う

インターネットメールを使う

インターネット上で会議する

インターネットに接続する

ここではインターネットエクスプローラ4.0を使った設定の説明をします。
デスクトップにある「インターネットエクスプローラ4.0のセットアップ」アイコンをダブルクリックしてインターネットエクスプローラ4.0を追加してください。詳しくはPart6「アプリケーションの削除と追加」での「インターネットエクスプローラの追加」を参照してください。

LANによる接続.....

はじめる前に

接続するための準備

本体内蔵LANでインターネット接続するには、次の準備が必要です。

- ・ LANの準備

本機は、標準装備のLANインターフェイスを使用して、インターネットを利用することができます。そのためには、Windows 95でLANインターフェイスが使用できるように設定する必要があります。LANの設定方法については「LANを設定する」で説明します。

LANを設定する

(1) LANを接続する

本機とマルチポートリピータ、マルチポートリピータと他のパーソナルコンピュータを接続します。接続方法については『かんたんスタートガイド』をご覧ください。

(2) LANを設定する

LANでインターネットに接続できるように設定します。

準備するもの

LANの「TCP/IP(ネットワークプロトコル)の設定」では次の情報が必要になります。これらの情報についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ・ IPアドレス
- ・ DNSサーバアドレス
- ・ ゲートウェイアドレス

- 1 本機の電源をONにして、Windows 95を起動します。
- 2 [スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]を起動します。
- 3 [コントロールパネル]から[ネットワーク]を起動します。
- 4 [追加]ボタンをクリックし、[ネットワーク構成ファイルの追加]から[プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。
- 5 [ネットワークプロトコルの選択]から下記の通り選択し、[OK]ボタンをクリックします。
製造元:Microsoft
ネットワークプロトコル:TCP/IP
- 6 [ネットワーク]画面から[TCP/IP]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックし、TCP/IPの設定を行います。
TCP/IPの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 7 設定終了後、[ネットワーク]画面で[OK]ボタンをクリックすると、「再起動しますか」と聞いてきますので再起動します。

以上で、LANの設定は終了です。

インターネットに接続するための設定を行う ～接続ウィザード

LANの設定が終了した後は、インターネットに接続するための設定を行います。設定は[接続ウィザード]で行います。

準備するもの

[接続ウィザード]では次の情報が必要になります。
これらの情報についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ・プロキシサーバを使用する場合
プロキシサーバアドレス
- ・インターネットメールを利用する場合
電子メールアドレスおよびメールサーバアドレス
- ・インターネットニュースを利用する場合
ニュースサーバアドレス
インターネットニュースアカウント名
- ・インターネットディレクトリサービスを利用する場合
インターネットディレクトリ
サーバアドレスサービス名

[接続ウィザード]の起動

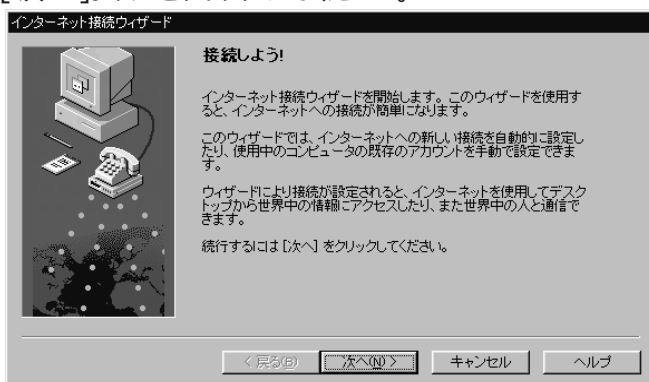
1 [接続ウィザード]は、次の方法で起動します。

- ・ [スタート]メニューの [プログラム]-[Internet Explorer]-[接続ウィザード]の順にクリック



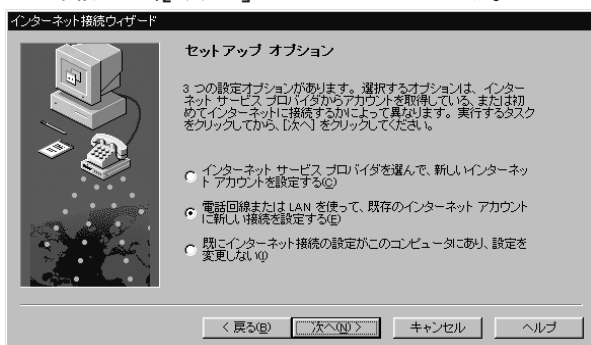
IE4.0をインストールしなかった場合は、[スタート]メニューの [プログラム]-[アクセサリ]-[インターネットツール]-[インターネット接続]の順にクリックしてください。

2 [次へ]ボタンをクリックしてください。

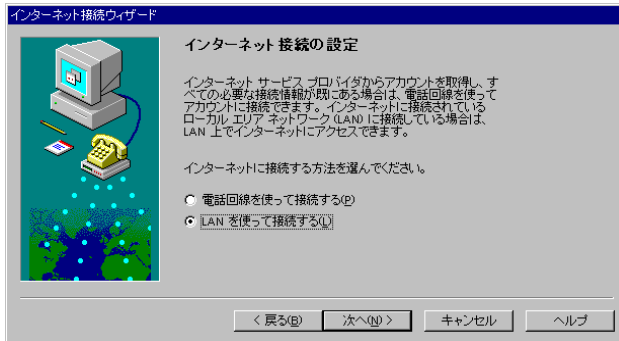


[次へ]ボタンをクリックしたときに、[インターネット接続ウィザード]画面がかくれてしまうことがあります。その場合には画面下のタスクバーにある [インターネット接続ウィザード] をクリックしてください。[インターネット接続ウィザード]が表示されるようになります。

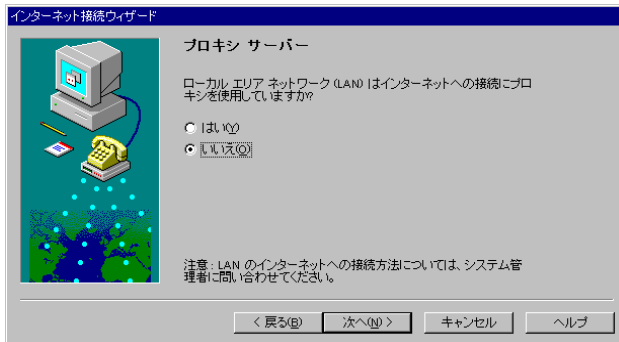
3 [セットアップオプション]画面が表示されます。ここで [電話回線またはLANを使って、既存のインターネットアカウントに新しい接続を設定する]が選択されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



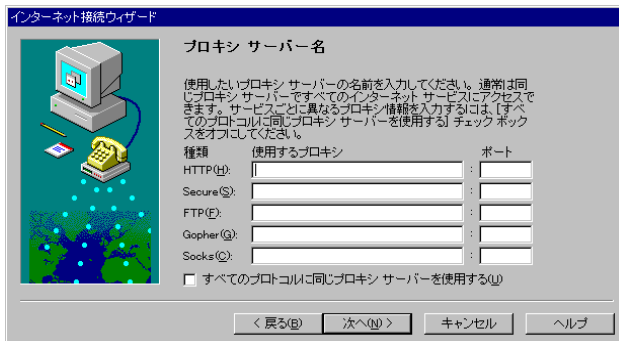
- 4** [インターネット接続の設定]画面が表示されます。ここで[LANを使って接続する]が選択されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。
 [LANを使って接続する]の左が になっていないときは、カーソルを にあわせてクリックし、 にします。
 [ファイルのインストール]画面が表示された場合は、[OK]ボタンをクリックします。



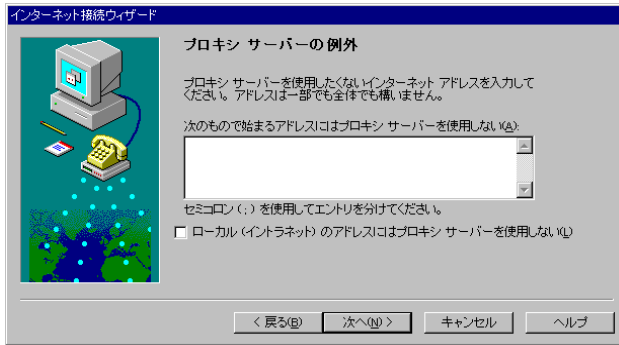
- 5** [プロキシ サーバー]画面で「はい」を選択して[次へ]ボタンをクリックします。



- 6** [プロキシ サーバー名]画面でそれぞれの「プロキシ」および「ポート」を設定して[次へ]ボタンをクリックします。
 それぞれの設定内容についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

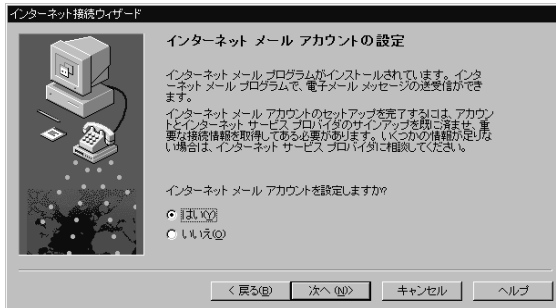


- 7** [プロキシ サーバーの例外] を設定して [次へ] ボタンをクリックします。設定内容についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

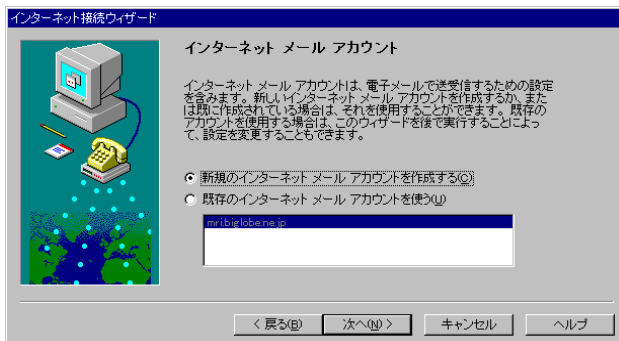


電子メールの設定をする

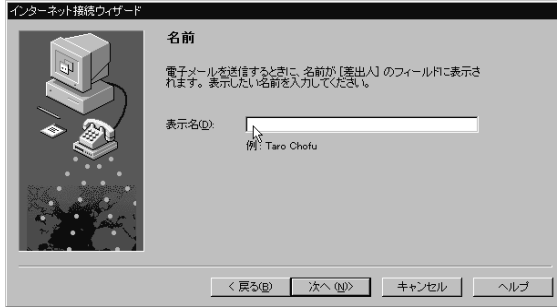
- 1** 「はい」にチェックをつけ、[次へ] ボタンをクリックします。



- 2** [新規のインターネットメールアカウントを作成する] にチェックをつけ、[次へ] ボタンをクリックします。



3 「表示名」の入力欄に矢印を合わせ、クリックします。



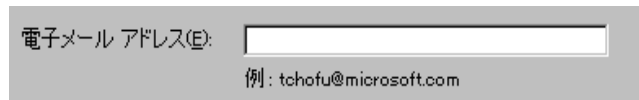
4 「表示名」を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



5 「電子メールアドレス」の入力欄に矢印を合わせ、クリックします。




6 「電子メールアドレス」を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

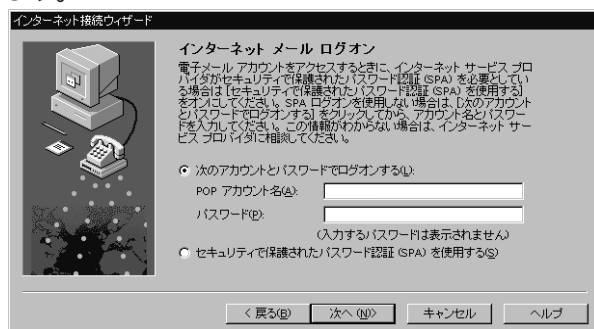


メールサーバーの登録をする

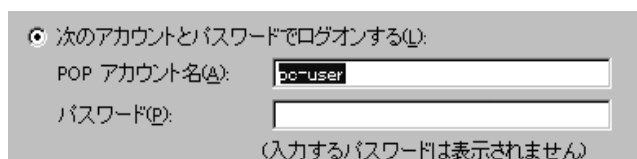
- 1 画面の指示に従ってメールサーバを設定します。
設定内容については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



- 2 「次のアカウントとパスワードでログオンする」の左が になっていることを確認します。



- 3 「POPアカウント名」を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。



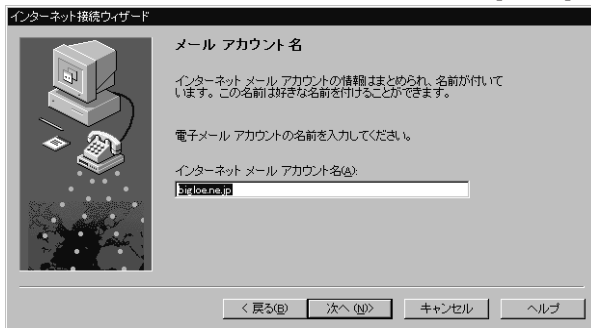
この画面が出たときに「POPアカウント名」は、自動的に入力されています。もし、プロバイダから割り当てられたPOPアカウント名(メールアカウント)と違う場合には、入力してください。

設定内容については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

パスワードは、必要などときにその都度入力するのでここでは登録しません。パスワードはここで入力しておく、次回から入力の必要はありませんが、安全のため接続のたびに入力することをお勧めします。

Outlook Expressのアカウント名を登録する

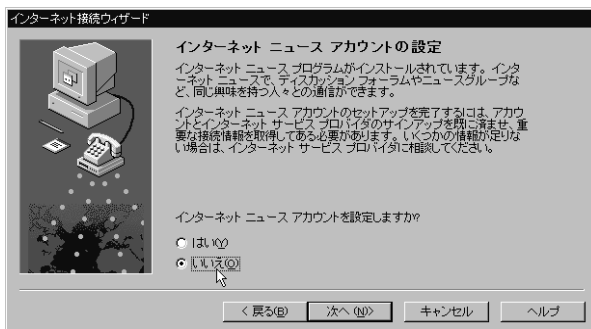
- 1 「インターネットメールアカウント名」を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



Outlook Expressのアカウント名を登録します。「インターネットメールアカウント名」を確認します。先程入力したメールサーバーが自動的に表示されます。「インターネットメールアカウント名」はOutlook Expressで複数の電子メールアドレスを管理するための名前です。わかりやすい名前に変更したい場合には、入力してください。

ニュースの設定

- 1 「いいえ」の左のに矢印を合わせ、をクリックしてにします。

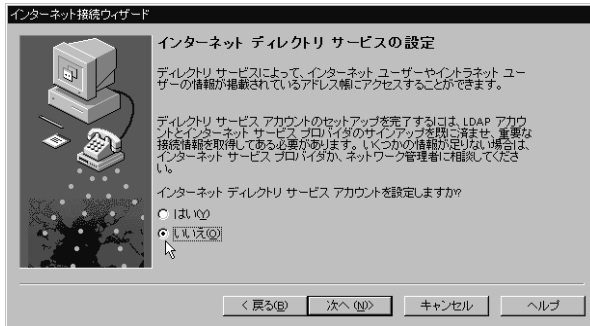


「インターネットニュース」の設定は、ここでは行いません。必要があるときには、「はい」をにして設定をしてください。

- 2 [次へ]ボタンをクリックしてください。

ディレクトリサービスの設定

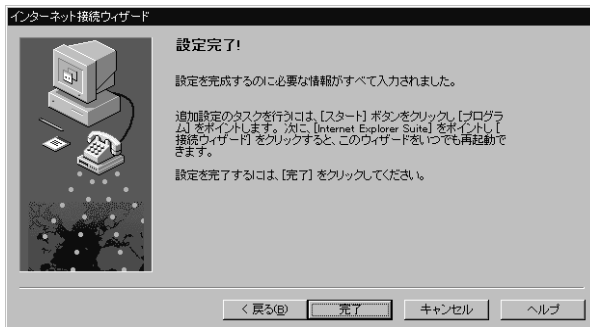
- 1 「いいえ」の左の に矢印を合わせ、 をクリックして にします。



- 2 [次へ] ボタンをクリックしてください。

設定の完了

- 1 これで、インターネット接続のための設定は終わりです。[完了] ボタンをクリックすると「インターネット接続ウィザード」は終了します。



これで、インターネットに接続するための設定が完了しました。次にインターネットに実際に接続します。「インターネットに接続する～インターネットエクスプローラ」に進んでください。

モデムによる接続

はじめる前に

ここでは、初めてインターネットに接続するために必要なプロバイダとの契約および設定について、本機に搭載されたオンラインサインアップソフト「BIGLOBE Walker」のBIGLOBEの「入会申込」を用いて説明します。



- ・ BIGLOBEの「BIGLOBE入会申込」とは、NECのプロバイダであるBIGLOBEと簡単に契約するためのソフトです。
- ・ すでにBIGLOBEに入会している場合や、他のプロバイダと契約する場合は、次の「BIGLOBEと契約する」の手順を行う必要はありません。プロバイダと契約し、各種の情報を入手後、「インターネットに接続するための設定を行う」に進んでください。

インターネットを始めるには、まず、ネットワークと本機をつなぎます。
それには、次の準備が必要です。

モデムの準備

別売のモデム、モデムカード、またはモデムボード(以降モデム)が必要です。また、Windows 95でモデムやカードが使えるように設定する必要があります。本機をモデムに接続、設定する方法については、『ステップアップガイド』またはモデムに添付のマニュアルをご覧ください。

プロバイダとの契約～オンラインサインアップと契約の申込み

プロバイダとは、インターネットにあなたのコンピュータをつなげてくれる会社です。あなたのコンピュータは、回線(INSネット64や通常の電話回線)を経由し、プロバイダを通じてインターネットと接続されます。

プロバイダのインターネット接続サービスを利用するために、プロバイダと契約します。契約する方法は、それぞれの会社によって異なりますが、大きく分けて二つの方法があります。パソコンを使って入会する方法と、申込書を郵送する方法です。

プロバイダと契約すると、プロバイダは、回線で接続したコンピュータにIPアドレスや電子メールアドレスを割り当てます。

プロバイダは、それぞれ独自にサービス内容や料金体系をもっています。

BIGLOBEと契約する ～BIGLOBEに入会する.....

それでは、実際にインターネットに接続してみましょ。初めてインターネットに接続するためには、次の手順を行います。

- ・BIGLOBEと契約する
- ・インターネットに接続する

ここではBIGLOBEの「入会申込」でのオンラインサインアップの方法について説明します。

(1) 入会の準備

オンラインサインアップとは

あなたのコンピュータから、回線を使って、インターネットのプロバイダ(この場合はBIGLOBE)などと契約する方法をオンラインサインアップといいます。

オンラインサインアップの条件

オンラインサインアップは、次の条件をすべて満たしている方に限らせていただきます。

- ・18歳以上の方
- ・本人名義のクレジットカードでBIGLOBE利用料金が決済できる方
使用できるカード...VISA JCB DC UC 日本信販 MC(ミリオンカード)
AMEX ダイナース オリエント
地方銀行発行のクレジットカード
- ・BIGLOBE会員規約に同意される方



次の場合には、本機添付の『BIGLOBEおいでまシート』の契約申込書に必要事項に記入の上、郵送でお申し込みください。

- ・18歳未満の方
- ・本人名義のクレジットカードをお持ちでない方
- ・オンラインサインアップがうまくいかなかった方

準備すること

- 電話回線の接続を確認する
本機に接続したモデム、モデムカード、またはモデムボードとモジュラープレートの接続部分(電話回線)とが正しくつながれているか確認してください。
- お使いの電話回線のダイヤル方法を確認する(重要)
電話のダイヤル方式には、「トーンダイヤル」と「パルスダイヤル」があります。お使いの電話回線のダイヤル方式を、あらかじめ確認してください。わからない場合には、NTT「166」番にお問い合わせください。

ご請求額の内訳		料 名	単 位	金額	単位
次回口座振替額の内訳は、右のとおりです。		回線使用料<基本料>(住宅用)		1,600	円
		屋内配線使用料		60	円
		プッシュ回線使用料		390	円
		ダイヤル通話料		***	円
		消費税相当額		***	円
		(内訳)消費税相当額(合算分)		(***)	円
		(合計)		***	円

NTTの領収書ダイヤル種別記載部分(例)

「プッシュ回線使用料」の記載があれば「トーンダイヤル」、なければ「パルスダイヤル」です。

- かな漢字変換を練習する
入会手続きには、キーボードから氏名と住所を入力する必要があります。かな漢字変換が入力できるように、練習しておきましょう。

準備するもの

- クレジットカード(本人名義のもの)
入会手続きには、クレジットカード番号を入力する欄があります。クレジットカードを、キーボードの近くに置いておきましょう。
なお、BIGLOBEへの入会手続きは、無料です。クレジットカードは、サービス利用料金の決済に使われます。
- 本機添付の「BIGLOBE おいでまシート」
「BIGLOBE 料金体系」「お申し込みの注意」について説明しています。あらかじめ入会するコースを決めてください。
パソコンを電話回線を使ってBIGLOBEに入会する場合、「BIGLOBE 契約申込書」への記入と郵送は不要です。
- 筆記用具
入会手続きの途中で、パソコンの画面に出てくる情報を、メモするところがあります。

準備するもの

[インターネット接続]では、次の情報が必要になります。

- ・ ユーザID、仮パスワード、電子メールアドレス
- ・ インターネットメールサーバ
- ・ プライマリDNS
- ・ セカンダリDNS

設定を始める前に、「接続名」「表示名」「インターネットメールアカウント名」を考えておきます。

- ・ 接続名 :接続先とプロバイダーがわかるように名前を付けます。
- ・ 表示名 :あなたの電子メールが宛先に届いたときに差出人として表示されます。
- ・ インターネットメールアカウント名
:メールソフト「Outlook Express」で複数の電子メールアドレスを管理ためのものです。わかりやすい名前をつけます。



BIGLOBEカスタマーサポートより郵送されてくる会員証を見ながら設定する場合は、次のように読み替えて設定してください。

BIGLOBE	このマニュアル
ユーザID	ユーザー名
(本)パスワード	パスワード
インターネットメールサーバ	受信メールサーバー
(同じ)	送信メールサーバー
メールアカウント	POPアカウント
メールパスワード	(メール)パスワード
電子メールアドレス	電子メールアドレス
プライマリDNS	DNSサーバー
セカンダリDNS	別のDNSサーバー

[接続ウィザード]の起動

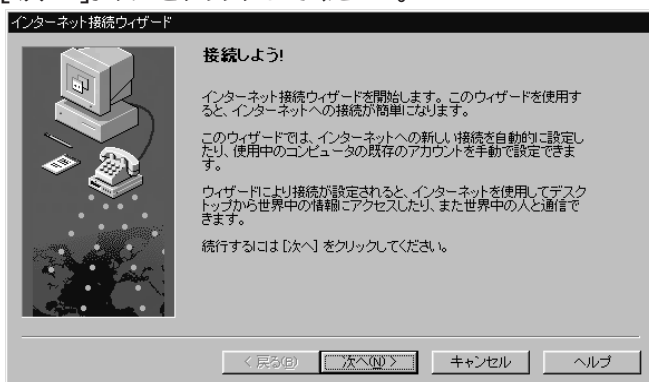
1 [BIGLOBE]を終了している場合、[接続ウィザード]は、次の方法で起動します。

- ・ [スタート]メニュー - [プログラム] - [Internet Explorer] - [接続ウィザード]の順にクリック



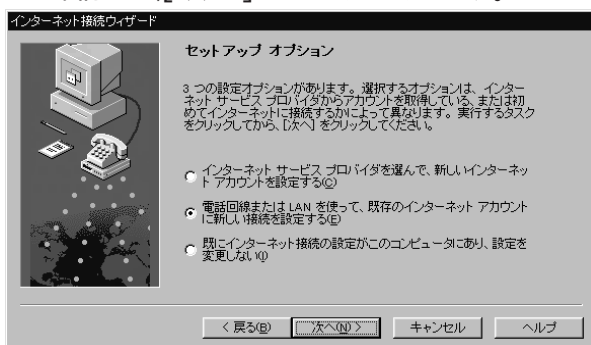
IE4.0をインストールしなかった場合は、[スタート]メニューの[プログラム] - [アクセサリ] - [インターネットツール] - [インターネット接続]の順にクリックしてください。

2 [次へ]ボタンをクリックしてください。






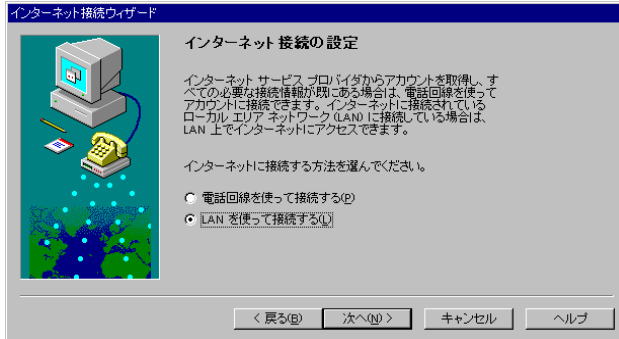
[次へ]ボタンをクリックしたときに、[インターネット接続ウィザード]画面がかくれてしまうことがあります。その場合には画面下のタスクバーにある [インターネット接続ウィザード] をクリックしてください。[インターネット接続ウィザード]が表示されるようになります。

3 [セットアップオプション]画面が表示されます。ここで [電話回線またはLANを使って、既存のインターネットアカウントに新しい接続を設定する]が選択されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



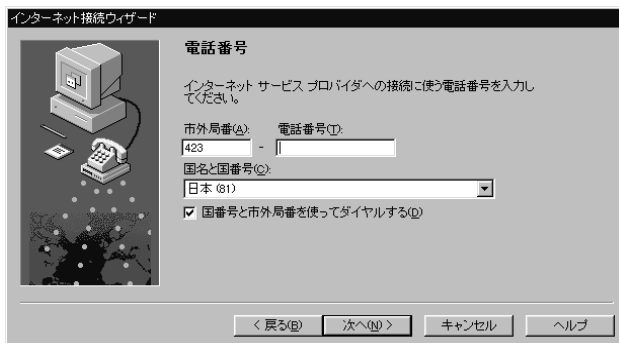
いまままでにインターネット接続の設定を行ったことがある場合

- 4** [インターネット接続の設定]画面が表示されます。ここで[電話回線を使って接続する]が選択されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。
[電話回線を使って接続する]の左がになっていないときは、カーソルをにあわせてクリックし、にします。
[ファイルのインストール]画面が表示された場合は、[OK]ボタンをクリックします。



接続先の電話番号を入力する

- 1** [電話番号]の画面が表示されます。接続先の電話番号を登録します。「市外局番」の入力欄に矢印を合わせ、クリックします。



- 2** 先頭の0を除いた接続先の市外局番を入力します。

市外局番(A): 電話番号(D):
 -

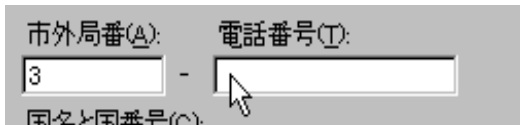


接続先の電話番号を入力します。

「市外局番」の欄には、実際の市外局番から先頭の0を除いて入力します。

例： 東京23区... 03は3
 横浜... 045は45
 長野諏訪... 0266は266

- 3** 市外局番を除いた接続先の電話番号を入力します。



- 接続先の電話番号を入力します。
「電話番号」の欄には、市外局番を除いて入力します。
例： 03-1234-5678は1234-5678

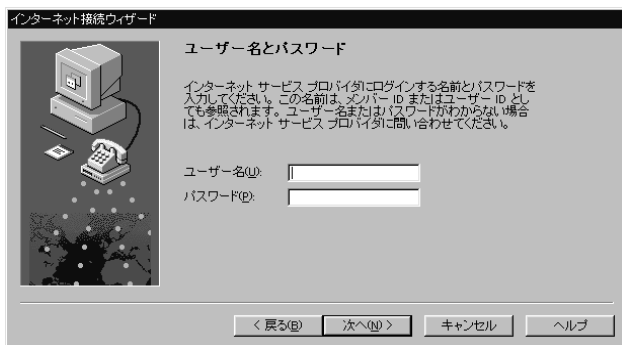
- 4** 「国番号」が「日本(81)」になっていることを確認します。
「国番号」が「日本(81)」になっていないときには、右になる▼をクリックして、メニューから選択してください。



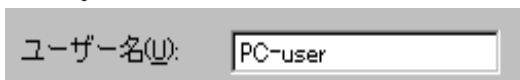
- 5** [次へ] ボタンをクリックします。

ユーザ名を入力する

- 1** 「ユーザー名」の入力欄に矢印を合わせ、クリックします。



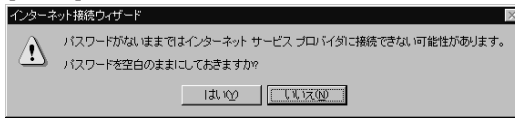
- 2** ユーザー名を入力します。パスワードはその都度入力するために、ここでは登録しません。



- ユーザー名を入力します。プロバイダから指定された通りに、半角で大文字と小文字を区別して正確に入力してください。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

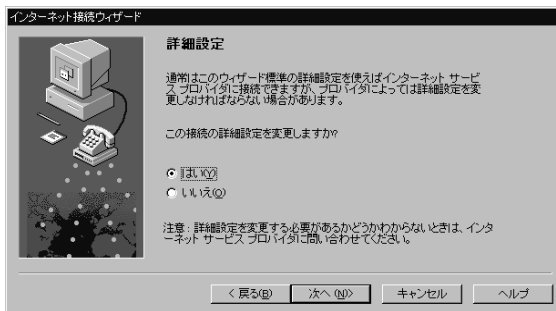
4 [[はい] ボタンをクリックします。



パスワードが入力されていないことを警告する画面が表示されます。パスワードはここで入力すれば保存しておくことができ、次から入力せずに済みますが、安全のため、接続のたびに入力することをお勧めします。

接続に関する設定をする

1 [詳細設定] 画面が表示されます。「はい」の左の に矢印を合わせ、 をクリックして にします。

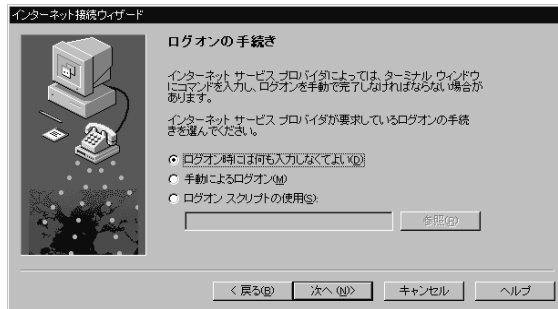


2 [次へ] ボタンをクリックします。

3 「PPP」の左が になっていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

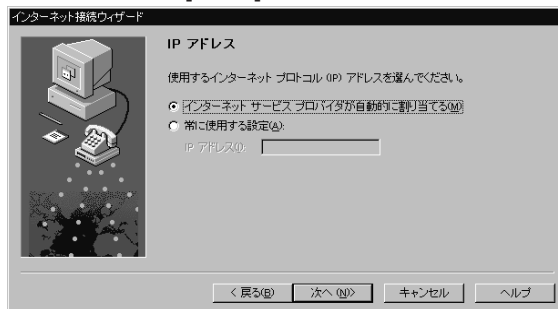


- 4 「ログオン時にはなにもしない」の左が になっていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。



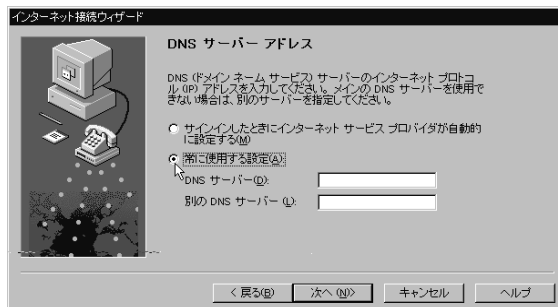
BIGLOBEやほとんどのプロバイダは「ログオン時に何もしない」に設定します。もし、インターネットに接続できない場合には、プロバイダに確認してください。

- 5 「インターネットサービスプロバイダーが自動的に割り当てる」の左が になっていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。



DNSサーバーのアドレスを入力する

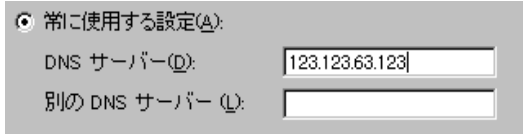
- 1 「常に使用する設定」の左の に矢印を合わせ、 をクリックして にします。DNSサーバー欄が入力できるようになります。



2 「DNSサーバー」の入力欄に矢印を合わせ、クリックします。

DNSサーバー(D):

別のDNSサーバー(L):

3 「DNSサーバー」を入力します。

常に使用する設定(A):

DNSサーバー(D):

別のDNSサーバー(L):



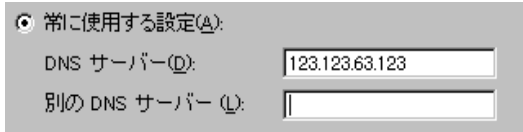
プロバイダから指定されたDNSアドレスサーバー(プライマリDNSサーバー)のアドレスを入力します。

アドレスは、0.0.0.0から255.255.255.255までの数で、各ブロックの間には、(ピリオド)が入ります。(すべて半角)

例:133.205.63.129

4 「別のDNSサーバー」の欄に矢印を合わせクリックします。
プロバイダによっては、二つ目のDNSサーバーが指定されない場合もあります。この場合には何も入力しません。

別のDNSサーバー(L):

5 「別のDNSサーバー」を入力します。

常に使用する設定(A):

DNSサーバー(D):

別のDNSサーバー(L):



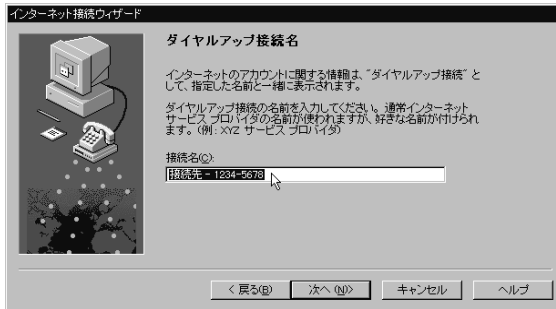
プロバイダから指定されたDNSアドレスサーバー(プライマリDNSサーバー)のアドレスを入力します。

入力されたアドレスが、0.0.0.0から255.255.255.255までの数で、各ブロックの間には、(ピリオド)が入っていない(すべて半角)場合には、[次へ]ボタンをクリックしたあと警告が表示されます。入力をやりなおしてください。

6 [次へ]ボタンをクリックします。

接続先に名前をつける

- 1 「接続名」の入力欄のうしろのほうに矢印を合わせ、クリックします。



- 2 [BS] キーを何回か押して、プロバイダ名を消します。



- 3 接続先を入力します。

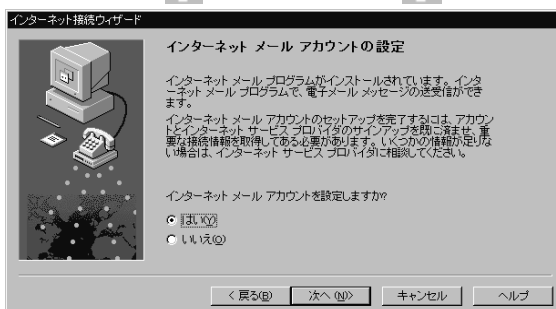


現在設定しているプロバイダ名(接続先)に名前を付けます。わかりやすい名前にする
と便利です。自動入力された「接続先:#####-#####」(#####-#####は電話番号)のままでも
かまいません。

- 4 [次へ] ボタンをクリックします。

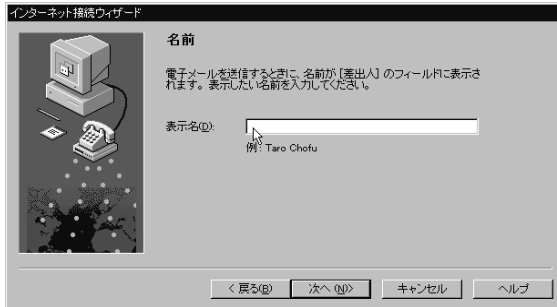
電子メールの設定をする

- 1 「はい」の左の に矢印を合わせ、 をクリックして にします。



- 2 [次へ] ボタンをクリックします。

- 3** 「表示名」の入力欄に矢印を合わせ、クリックします。



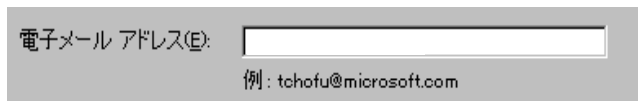
- 4** 「表示名」を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



- 5** 「電子メールアドレス」の入力欄に矢印を合わせ、クリックします。

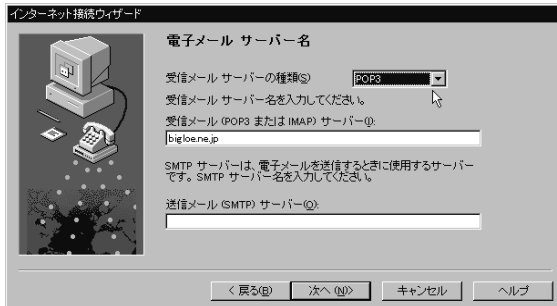



- 6** 「電子メールアドレス」を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

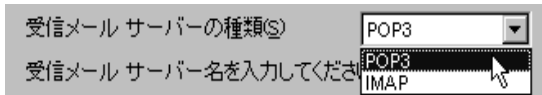



メールサーバーの登録をする

- 1** 「受信メールサーバー」が「POP3」であることを確認します。




- 2** 「受信メールサーバー」が「POP3」になっているか確認します。違う場合には、 をクリックして、メニューから「POP3」を選びます。

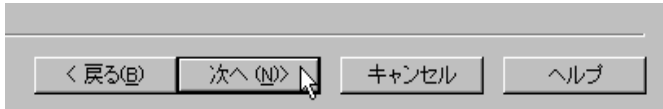



-  この画面が出たときに、「受信メールサーバー」は自動的に入力されています。もし、プロバイダから割り当てられた受信メールサーバーと違う場合には、入力してください。

- 3** 「送信メールサーバー」の入力欄に矢印を合わせ、クリックします。

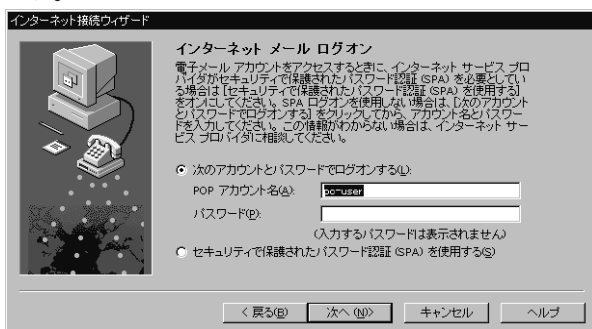


- 4** 「送信メールサーバー」を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

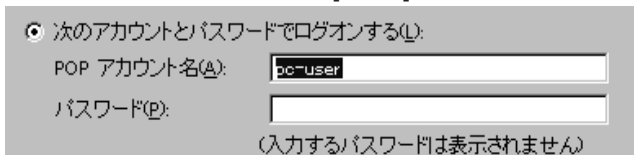


-  「受信メールサーバー」と「送信メールサーバー」はほとんどの場合共通です。プロバイダによっては、メールサーバーとしてひとつだけ指定されていますので、「受信メールサーバー」と「送信メールサーバー」両方に同じように入力してください。

- 5** 「次のアカウントとパスワードでログオンする」の左が になっていることを確認します。



- 6** 「POPアカウント名」を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。



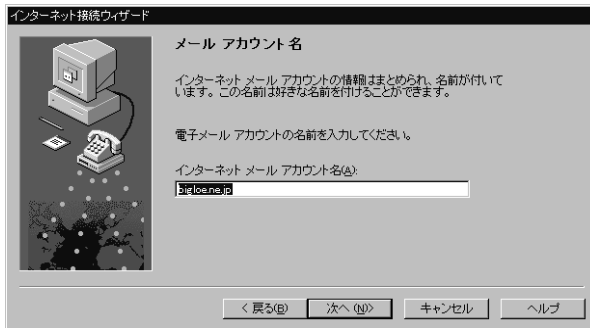


この画面が出たときに「POPアカウント名」は、自動的に入力されています。もし、プロバイダから割り当てられたPOPアカウント名(メールアカウント)と違う場合には、入力してください。

パスワードは、必要ときにその都度入力するのでここでは登録しません。パスワードはここで入力しておく、次回から入力の必要はありませんが、安全のため接続のたびに入力することをお勧めします。

Outlook Expressのアカウント名を登録する

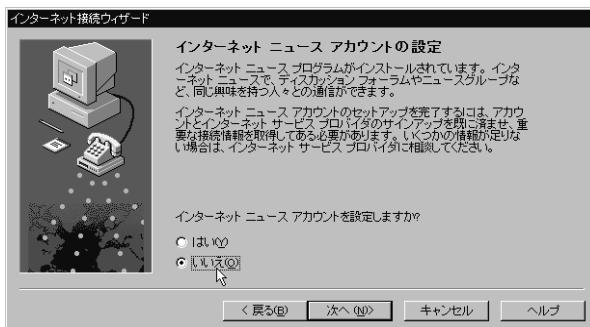
- 1 「インターネットメールアカウント名」を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



Outlook Expressのアカウント名を登録します。「インターネットメールアカウント名」を確認します。先程入力したメールサーバーが自動的に表示されます。「インターネットメールアカウント名」はOutlook Expressで複数の電子メールアドレスを管理するための名前です。わかりやすい名前に変更したい場合には、入力してください。

ニュースの設定

- 1 「いいえ」の左のに矢印を合わせ、をクリックしてにします。

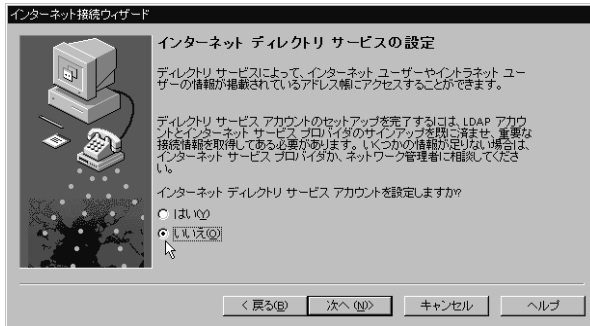


「インターネットニュース」の設定は、ここでは行いません。必要があるときには、「はい」をにして設定をしてください。

- 2 [次へ]ボタンをクリックしてください。

ディレクトリサービスの設定

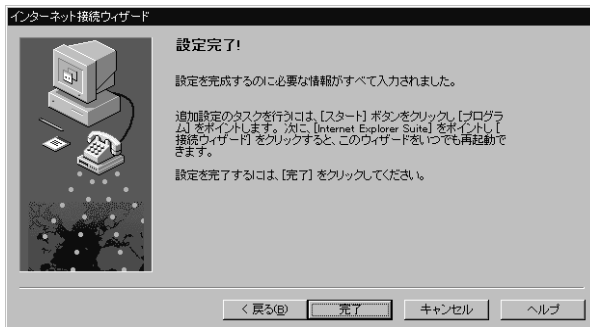
- 1 「いいえ」の左の に矢印を合わせ、 をクリックして にします。



- 2 [次へ] ボタンをクリックしてください。

設定の完了

- 1 これで、インターネット接続のための設定は終わりです。[完了] ボタンをクリックすると「インターネット接続ウィザード」は終了します。



これで、インターネットに接続するための設定が完了しました。次にインターネットに実際に接続します。「インターネットに接続する～インターネットエクスプローラ」に進んでください。

インターネットに接続する ～インターネットエクスプローラ.....

インターネットに接続するための設定が完了したら、実際に接続してみましょう。
ここではインターネットに接続して、NECのホームページを見ます。

(1) インターネットエクスプローラの起動

1 [インターネットエクスプローラ]を以下の方法で起動します。

- ・ [スタート]メニューの[プログラム] - [Internet Explorer] から [Internet Explorer] をクリック
- ・ [スタート]メニューの[プログラム] - [アクセサリ] - [インターネットツール] から [インターネットエクスプローラ] をクリック

[インターネットエクスプローラ]が起動し、[ダイヤルアップ接続]画面が表示されます。

2 [ダイヤルアップ接続]画面で、あなたのパスワードを入力してください。入力したら、[接続]ボタンをクリックします。



パスワードを入力



Windows95の起動時に[Windows95パスワード]の画面が表示されない場合、および表示されてもユーザー名とパスワードを設定していない場合は、インターネットに接続する際の[接続]画面の[パスワードの保存]チェックボックスは選択できません。

本機では、ご購入時には[Windows95パスワード]の画面は表示されないようになっていますので、インターネットに接続する際の[接続]画面の[パスワードの保存]チェックボックスは選択できません。

[Windowsパスワードの入力]画面の設定についてはこの後の「[パスワードの保存]チェックボックスを有効にする」を参照してください。




接続に失敗した場合は、回線が混んでいることが考えられますので、しばらく時間を置いてから、もう一度「接続」ボタンを押してみてください。

しばらくすると、マイクロソフトのホームページが表示されます。

後は、マウスポインタが手の形になるところをクリックすれば、いろいろなページが表示されます。インターネットをお楽しみください。

(2) インターネットエクスプローラの終了(接続の終了)

ここでは、インターネットエクスプローラの終了方法と、接続の終了について説明します。

1 [インターネットエクスプローラ]の右上のボタンをクリックします。



このボタンをクリックする

[インターネットエクスプローラ]が終了します。

接続が終了(切断)しました。



接続を終了しないと、回線の使用料等の料金がかかり続けますので、ご注意ください。

[パスワードの保存]チェックボックスを有効にする

Windows 95の起動時に[Windows 95パスワード]の画面が表示されない場合、および表示されてもユーザー名とパスワードを設定していない場合は、インターネットに接続する際の[接続]画面の[パスワードの保存]チェックボックスは選択できません。また、はじめてインターネットに接続したときに、Windowsのパスワードの入力を設定しなかった場合も選択できません。

本機では、ご購入時には[Windows 95パスワード]の画面は表示されないようになっていますので、インターネットに接続する際の[接続]画面の[パスワードの保存]チェックボックスは選択できません。

[パスワードの保存]チェックボックスを有効にするには、次の手順で行ってください。



システムの再起動を行いますので、アプリケーションなどをすべて終了してから行ってください。

- 1 [スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]をクリックします。
 - 2 [コントロールパネル]画面の[ネットワーク]アイコンをダブルクリックすると[ネットワーク]画面が表示されますので、[ネットワークの設定]タブの[追加]ボタンをクリックします。
 - 3 [ネットワーク構成ファイルの追加]画面が表示されましたら、[クライアント]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。
 - 4 [ネットワーククライアントの選択]画面が表示されましたら、製造元に[Microsoft]ネットワーククライアント[Microsoftネットワーククライアント]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
 - 5 [ネットワーク]画面が表示されますので、[現在のネットワーク構成]の中に[Microsoftネットワーククライアント]が追加されていることを確認します。
 - 6 [ユーザ情報]タブをクリックして、[OK]ボタンをクリックします。
- コンピュータ名、ワークグループ名は特に変更する必要がありません。
- 7 [システム設定の変更]画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックして、システムを再起動します。
 - 8 [Windowsパスワードの入力]画面が表示されましたら、[ユーザ名]に名前を入力します。また、[パスワード]を指定する場合は、パスワードを入力します。



パスワードは特に指定する必要はありません。また、ここで入力するパスワードはプロバイダから入手したパスワードとは関係ありません。
パスワードを指定した場合は、Windows 95を起動するたびに、パスワードの入力画面が表示されますので、パスワードを忘れないようにしてください。

9 [Windowsパスワードの入力]画面で[OK]ボタンをクリックします。

10 「パスワードをもう一度入力してください」のメッセージが表示されます。

手順8でパスワードを指定した場合は、もう一度入力して[OK]ボタンをクリックします。

手順8でパスワードを指定しなかった場合は、そのまま[OK]ボタンをクリックします。

これで[接続]画面で[パスワードの保存]チェックボックスが選択できるようになります。

また、表示されてもユーザー名とパスワードを設定していない場合は、次の手順で、[Windows 95パスワード]の設定をしてください。

1 電源をONにしてWindows 95を起動させます。

2 [Windowsパスワードの入力]画面が表示されたら、[ユーザー名]に名前を入力します。
また、[パスワード]を指定する場合は、パスワードを入力します。



パスワードは特に指定する必要はありません。また、ここで入力するパスワードはプロバイダから入手したパスワードとは関係ありません。
パスワードを指定した場合は、Windows 95を起動するたびに、パスワードの入力画面が表示されますので、パスワードを忘れないようにしてください。

3 [Windowsパスワードの入力]画面で[OK]ボタンをクリックします。

4 「パスワードをもう一度入力してください」のメッセージが表示されます。

手順2でパスワードを指定した場合は、もう一度入力して[OK]ボタンをクリックします。

手順2でパスワードを指定しなかった場合は、そのまま[OK]ボタンをクリックします。

これで[接続]画面で[パスワードの保存]チェックボックスが選択できるようになります。

インターネットエクスプローラを使う ~ Microsoft Internet Explorer

ここでは、インターネットエクスプローラの基本的な使い方について説明します。



インターネットエクスプローラのさらに詳しい使用方法については、インターネットエクスプローラのヘルプをご覧ください。

ページを表示する.....

インターネットエクスプローラに表示されたページの上にマウスポインタを移動すると、マウスポインタが手の形に変わる部分があります。このとき、マウスをクリックすると、他のページに移動できます。

ほとんどの場合、境界線に色のついたグラフィックや下線のついた色付きの文字の場所にマウスポインタを移動すると、マウスポインタが手の形に変わります。そのままクリックするとそのページに移動します。

また、URL (アドレス) を直接入力して特定のページに移動することもできます。

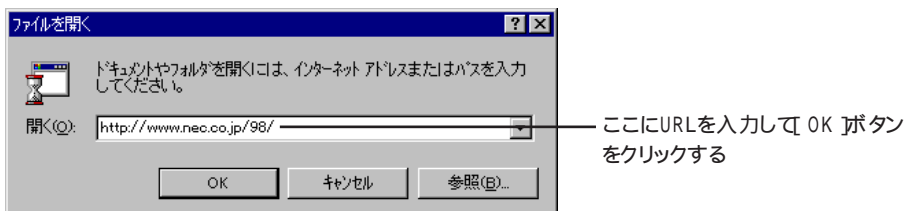
URL (アドレス) を入力してページを表示する

次の2つの方法があります。

- ・ ツールバーの下の [アドレス] に URL を入力し、 キーを押す。



- ・ [ファイル] メニューの [開く] をクリックして、URL を入力し、 キーを押す。



- ・ 以前にインターネットに接続している場合は、[開く] の ボタンをクリックすると、以前に移動したページのリストが表示されます。
- ・ 大文字と小文字の区別があります。入力時アルファベットの大文字と小文字を間違えないように注意してください。

インターネットに接続する

- 1 パスワードを入力し、[接続] ボタンをクリックします。



- 2 接続が終わるまでそのまま待ちます。



- 3 インターネットに接続すると、表示が消えます。

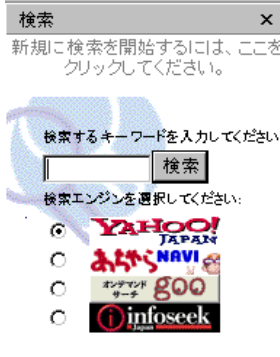
興味のあるホームページを探す

キーワードを指定して関連ページを検索するためのページをサーチエンジンといいます。ここでは「Yahoo! JAPAN」というサーチエンジンを使っていますが、他のサーチエンジンも使ってみましょう。英語でも日本語でもかまいません。いろいろ試してみてください。

- 1 「検索」をクリックします。

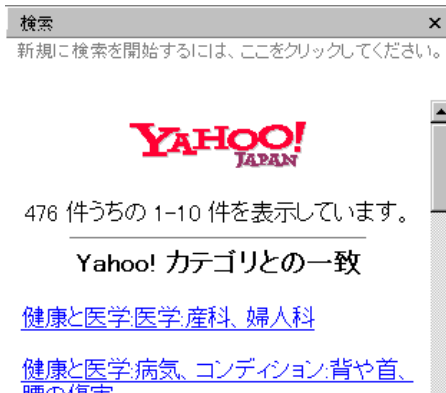


2 キーワードを入力し、「検索」をクリックします。



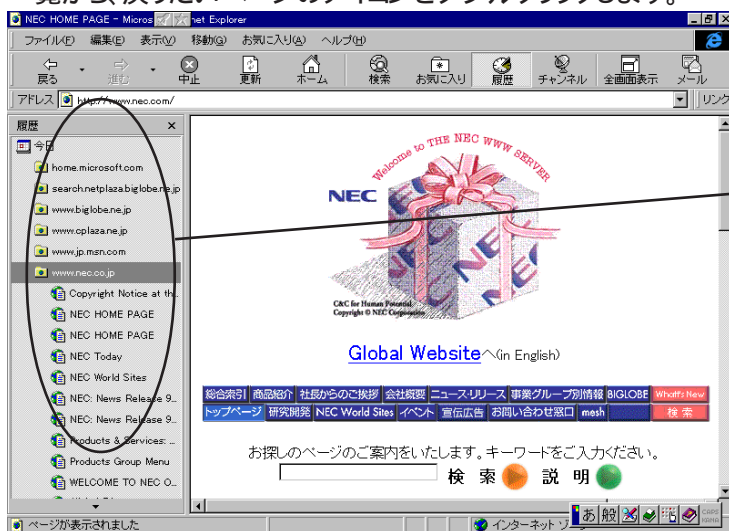
キーワードを入力するとき、最初は英数字のみが入力できるようになっています。日本語で入力したい場合は、[Alt]キーを押しながら[全角/半角]キーを押してください。

3 キーワードから検索された結果が返ってきます。興味のある項目をクリックして、白いホームページを見つけましょう。



以前に表示したページに戻る

- 1 ツールバーの履歴 をクリックします。
- 2 一覧から、戻りたいページのアイコンをダブルクリックします。



この中から戻りたいページを選択する



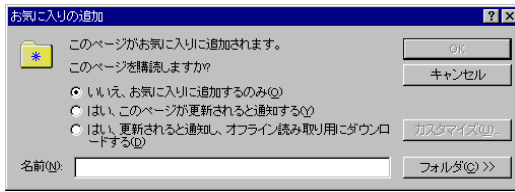
- ・ 履歴のフォルダの中のすべてのアイコンを削除する方法は、次のとおりです。
 - 1 [表示]メニューのインターネットオプション をクリックします。
 - 2 [インターネットオプション]画面で[全般]タブをクリックします。
 - 3 [履歴のクリア]ボタンをクリックします。

好きなページを登録する

インターネットを探索していると、気に入ったホームページを発見したり、自分の興味のある事柄に関するホームページを発見することがあります。このようなときには、好きなホームページのURL (アドレス) を登録しておけば、いつでも見ることができます。登録の方法は次の通りです。

- 1 目的のページを表示します。
- 2 [お気に入り]メニューの お気に入りに追加 をクリックします。

- 3** [お気に入りの追加]画面で「名前」の入力欄に、そのページのタイトルが表示されます。そのままよい場合は、次の手順4に進んでください。名前がわかりにくい場合は、わかりやすい名前を入力してください。



- 4** 次に購読のオプションを選択します。ここでは、「お気に入りに追加するのみ」を選択した場合について説明します。より便利なその他の購読のオプションについては、画面の指示通りに設定してください。
- 5** お気に入りのページを入れるフォルダを指定します。フォルダの指定は次の方法から選択してください。

Favoritesフォルダに入れる場合

[OK] ボタンをクリックします。

Favoritesフォルダ下のその他のフォルダに入れる場合

[フォルダ] ボタンをクリックし、ページを入れたいフォルダを表示されたフォルダ一覧から選んでクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

Favoritesフォルダ下に新規のフォルダを作成して入れる場合

[フォルダ] ボタンをクリックし、[新規フォルダ] をクリックします。[新規フォルダの作成] 画面で「フォルダ」入力欄にフォルダ名を入力し [OK] ボタンをクリックします。さらに [OK] ボタンをクリックします。


- 6** これで[お気に入り]のページを[お気に入り]メニューおよびツールバーの[お気に入り] ボタンから簡単に選択して表示できます。

[お気に入り]メニューに追加されますので、これをクリックすればいつでもこのページを表示できます。

スタートページを表示する

本機では[インターネットエクスプローラ]を起動するとマイクロソフトのホームページが表示されます。このように、[インターネットエクスプローラ]を起動したときに最初に表示されるページをスタートページといいます。

スタートページに戻る

[ツールバー]の  ボタンをクリックします。または、[移動]メニューの[ホームページ] をクリックします。

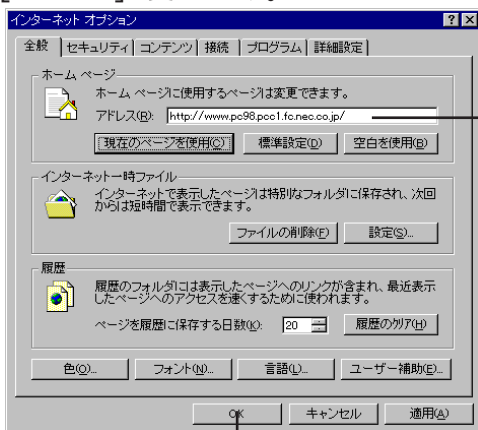
スタートページを変更する

スタートページをマイクロソフトのホームページから、別のページに変更したい場合は、次の手順で行います。

- 1 スタートページに設定したいページを表示します。
- 2 [表示]メニューの[インターネットオプション]をクリックします。
- 3 [インターネットオプション]画面で[全般]タブをクリックします。



- 4 [現在のページを使用]ボタンをクリックします。
[アドレス]が変わります。





- 5 [OK] ボタンをクリックします。
これで、次に [インターネットエクスプローラ] を起動すると、設定したページがスタートページになります。

スタートページを元に戻す

スタートページをマイクロソフトのホームページに戻す場合は、次の手順でスタートページを元に戻してください。

- 1 [表示] メニューの [インターネットオプション] をクリックします。
- 2 [インターネットオプション] 画面で [全般] タブをクリックします。
- 3 [標準設定] ボタンをクリックします。「アドレス」が次のように変わったことを確認して、[OK] ボタンをクリックします。

http://www.jp.msn.com

情報を入手する.....

インターネットを探索していて、入手したい情報(画像やサウンドファイル、プログラムなど)があれば、それを自分のコンピュータに保存することができます。

情報を保存する

- 1 保存したい情報があるページを表示します。
- 2 保存する情報をクリックします。
- 3 インターネット上のファイルを開く際に、次のメッセージが表示されます。「このプログラムをディスクに保存する」を選択して [OK] ボタンをクリックします。





ほとんど、そのまま開いたり、保存しても問題ありませんが、ネットワーク上のファイルを手入手する場合は、コンピュータウイルスに感染する可能性がありますので、十分注意してください。定期的にウイルスチェックをすることをおすすめします。

- 4 [ファイル名を付けて保存]の画面でファイル名や保存する場所を入力して、[保存]ボタンをクリックします。

見ているページを保存する

ホームページの情報を、自分のコンピュータに保存することができます。そうすることで、電話料金を気にせず、じっくり内容を確認できます。

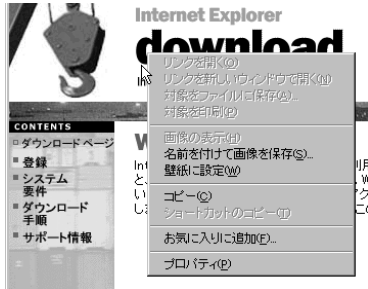
- 1 [ファイル]メニューの[名前を付けて保存]をクリックします。



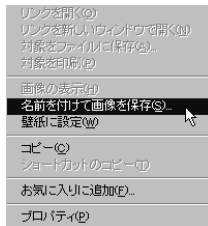
- 2 ファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

画像を保存する

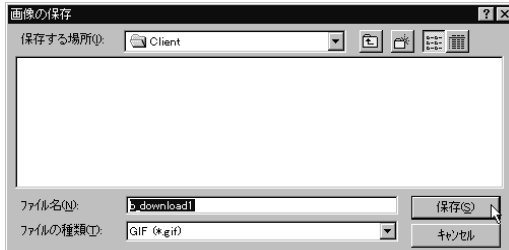
- 1 保存したい画像まで矢印を移動し、右クリックします。
ショートカットメニューが表示されます。



- 2 [名前を付けて画像を保存] をクリックします。



- 3 ファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



インターネットメールを使う ～ Outlook Express

ここでは、インターネットに電子メールを送るための準備をします。「Outlook Express」という電子メールを扱うソフトの初期設定です。この設定は、Outlook Expressを使い始める前に、一度だけしてください。

これからの説明は、インターネットへの接続が行えることを前提としています。BIGLOBEへの入会がすすんでいるか、別のインターネット接続サービス会社(プロバイダ)と契約しインターネットへの接続ができていなくてはなりません。[インターネット接続]での設定については「初めてインターネットに接続する」の「インターネットに接続するための詳細な設定を行う～インターネット接続」をご覧ください。



Outlook Expressにはニュースグループに投稿されているメッセージを読んだり、ニュースグループにメッセージを投稿したりする機能も備わっています。

ニュースに関する使用方法、および電子メールについてのさらに詳しい使用方法については、Outlook Expressのオンラインヘルプをご覧ください。

インターネットメール.....

Outlook Expressとは

Outlook Expressを使って電子メールの送信メッセージ、ファイルの整理ができます。

Outlook Expressを起動する

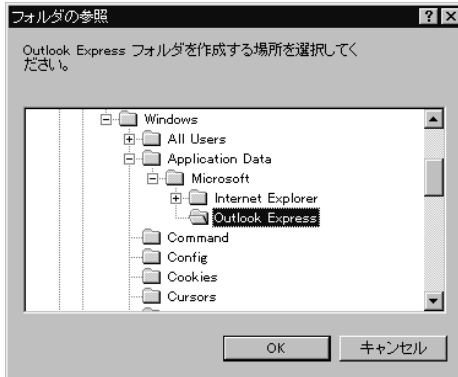
- 1 [スタート]メニューの[プログラム]-[Internet Explorer]から[Outlook Express]をクリックします。
次の画面が表示されます。



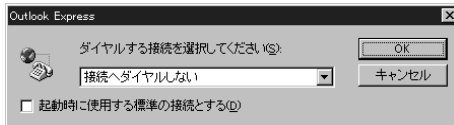
Outlook Expressをクリックは起動時に別の画面が出る場合があります。



下の画面が出た場合には、[OK]ボタンをクリックしてください。
Outlook Expressのデータを保存する場所の確認です。

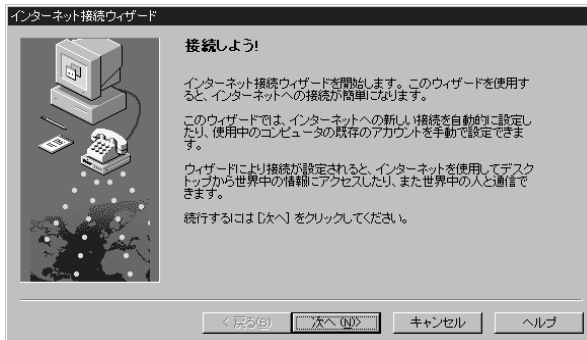


下の画面が出た場合には、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
インターネットへの接続を行うかどうかの確認です。



下の画面が出た場合には、[キャンセル]ボタンをクリックし、次に[はい]をクリックしてください。

まだ、インターネット接続の設定がすんでいません。

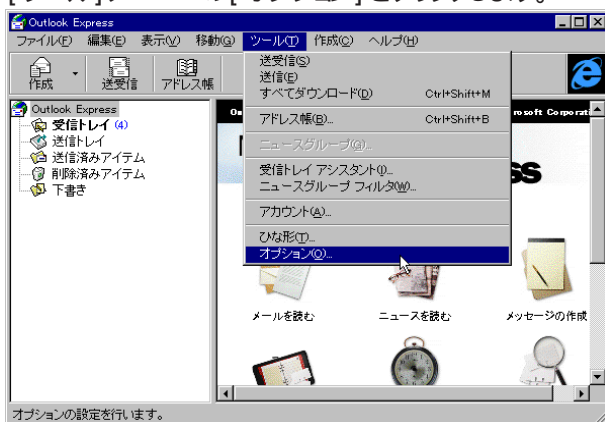


この設定は、初めに一度だけ設定すれば、Outlook Expressを起動する度に行う必要はありません。

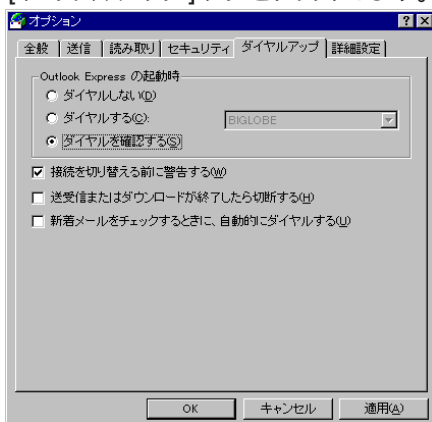
はじめに、インターネットへの接続について設定し、次に送信するメールの形式について設定します。

メールの送受信が終わったら自動的に電話を切る設定

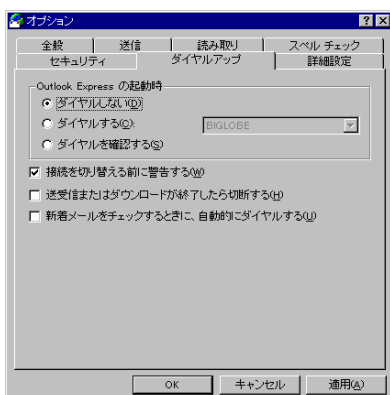
1 [ツール]メニューの[オプション]をクリックします。



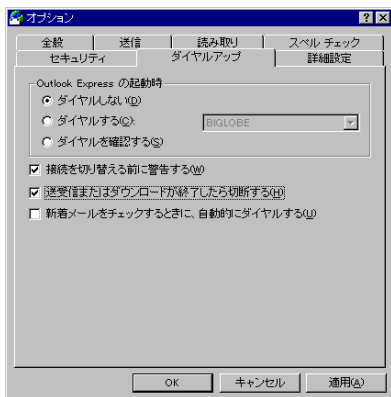
2 [ダイヤルアップ]タブをクリックします。



3 「ダイヤルしない」の左の に矢印を合わせ、 をクリックして にします。



- 4 「送受信またはダウンロードが終了したら切断する」の左の に矢印を合わせ、 をクリックして にします。

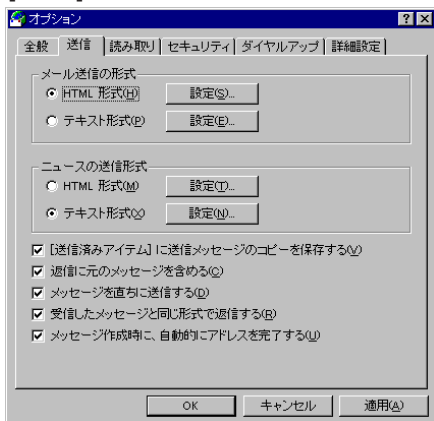


この設定をしない場合には、Outlook Expressを終了するまで電話がつながったままになります。

電話回線を使ってインターネットに接続すると、接続サービス会社に支払う接続料と、NTTに支払う電話料金が必要になります。この設定は、電子メールの送受信を行うときだけインターネットに接続するための設定です。この設定を行うことによって電話代を節約し、経済的に電子メールのやりとりを行うことができます。必ずはじめに設定してください。

送信するメールをテキスト形式に設定する

- 1 [送信]タブをクリックします。



- 2 「テキスト形式」の左の に矢印を合わせ、 をクリックして にします。



- 3 [OK] ボタンをクリックします。



Outlook Expressは、HTML形式の電子メールとテキスト形式の電子メールを扱うことができます。HTML形式の電子メールだとホームページのように文字の大きさを変えたりしてメリハリのある電子メールを書くことができます。しかし、電子メールは受け取る側のメールソフトもHTML形式に対応していなければ正確に表示することができません。

誰にでも読める電子メールを送ることができるように、必ず、はじめにテキスト形式に設定してください。

Outlook Expressを終了する

設定が完了したら、いったんOutlook Expressを終了します。

- 1  (閉じる) に矢印を合わせてクリックします。



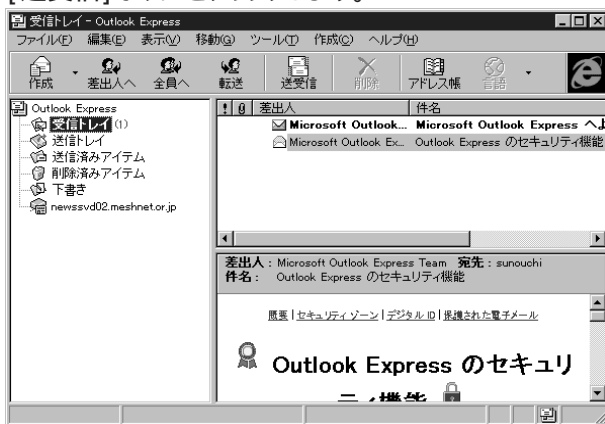
電子メールの送信と受信

この操作をすることで、電子メールをインターネットに送り、同時に自分宛の電子メールが届いていると受け取ります。電話回線を使ってインターネットに接続して電子メールの送信と受信を同時に行います。



電子メールは、自動的に届きません。送信する電子メールがなくても、時々この操作を行って、自分宛での電子メールが届いているか確認しなくてはなりません。これは、玄関先の郵便受けを毎日チェックするのと似ています。電子メールも忘れずにチェックしましょう。

1 [送受信] ボタンをクリックします。



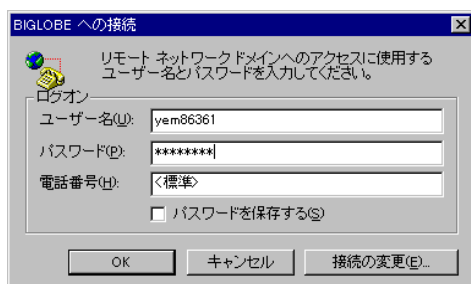
「送受信」を行うと、インターネットへ接続がはじまります。

インターネットへの接続

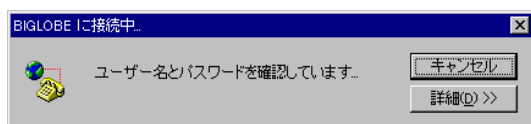
まずはじめに、パスワードを入力して、インターネットに接続します。パスワードは全角・半角・大文字・小文字の区別がありますので、正確に入力してください。

ここで入力するパスワードはメールパスワードではありません。インターネット接続のためのパスワードです。

- 1 「パスワード」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



- 2 [BIGLOBEに接続中...]画面が表示され、インターネットへの接続が始まります。この状態で30秒程度接続のために時間がかかります。



入力したパスワードが間違いがあったときには、もう一度入力を求められます。入力した文字はすべて「*」で表示されていますので、間違いのないように入力しましょう。

メールサーバーとの接続

次に、パスワードを入力してメールサーバーと接続します。パスワードは全角・半角・大文字・小文字の区別がありますので、正確に入力してください。入力したパスワードは盗み見されないように、すべて「*」で表示されます。

何回も「電子メールの送信と受信」を行った場合は、パスワードは一度正しく入力すれば Outlook Expressを終了するまで再度入力を求めることはありません。

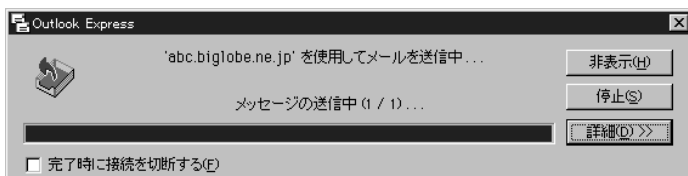
ここで入力するパスワードはメールパスワードです。インターネット接続のためのパスワードではありません。

1 「パスワード」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

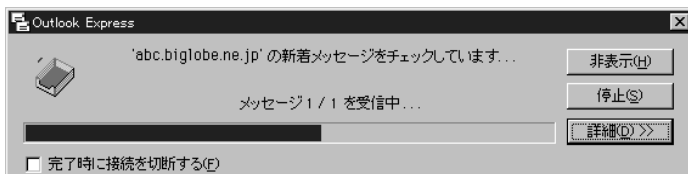


入力したパスワードが間違いがあったときには、もう一度入力を求められます。入力した文字はすべて「*」で表示されていますので、間違いのないように入力しましょう。

2 メールを送受信します。この間、多少時間がかかります。(送信する電子メールの量によって異なります。)



3 次に[送受信] ウィンドウに新着メッセージ(電子メール)のチェックや取り込みの様子などが表示されます。



受け取った電子メールを読む

Outlook Expressにはトレイと呼ばれる電子メールを保存しておく場所があります。

「受信トレイ」にはインターネットから電子メールが届きます。

「送信トレイ」にはこれから送られる電子メールが一時的に保存されます。

「送信済みアイテム」には送られた電子メール保存されます。

[受信トレイ]を選ぶ

新しい電子メールは[受信トレイ]に届きます。届いた電子メールを読むために[受信トレイ]を選びます。

1 [受信トレイ]をクリックします。

[受信トレイ]にある電子メール一覧が表示されます。




読むメールを選ぶ

届いた電子メールを読むには、表示されている[件名]をクリックします。画面の下の部分に本文が表示されます。

- 届いた電子メールの件名のところに矢印を合わせ、クリックします。選択した件名に色が付き、その電子メールの内容がウィンドウの下半分に表示されます。



- ▲と▼を使って電子メールの内容を読みます。

 新しい電子メールが届くと、画面右下の部分に新着メッセージを知らせる表示が出ます。この表示は新しく届いたすべての電子メールを読むと消えます。

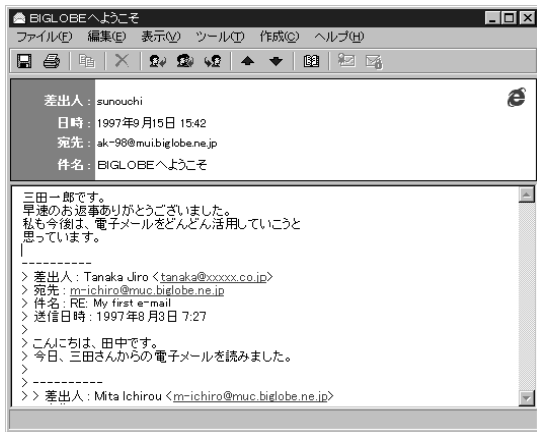
読みにくいときは

[件名]をダブルクリックすると新しいウィンドウが開き内容が表示されます。この方法を使えば、何通もの電子メールを同時に表示することができます。

- 届いた電子メールの件名のところに矢印を合わせ、ダブルクリックします。



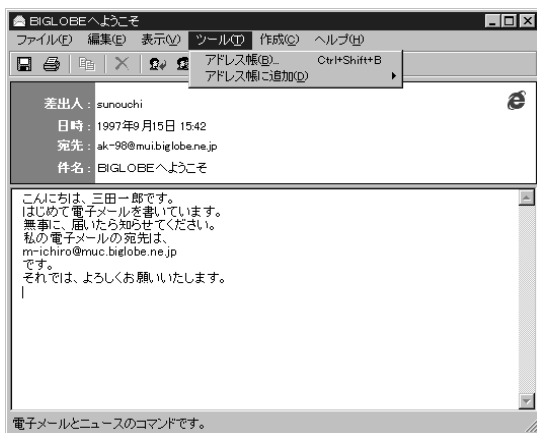
2 ▲と▼を使って電子メールの内容を読みます。



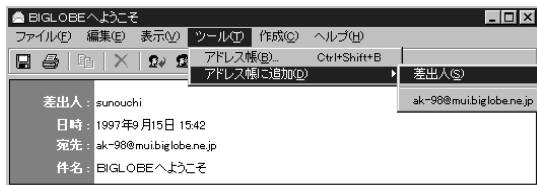
アドレス帳へ登録する

電子メールをもらったら、「アドレス帳」に電子メールアドレスを登録しておきましょう。

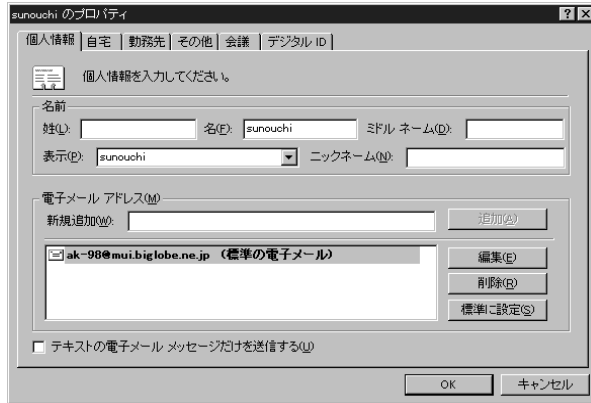
1 [ツール]メニューを、クリックします。



2 [アドレス帳に追加]に合わせ、[差出人]をクリックします。

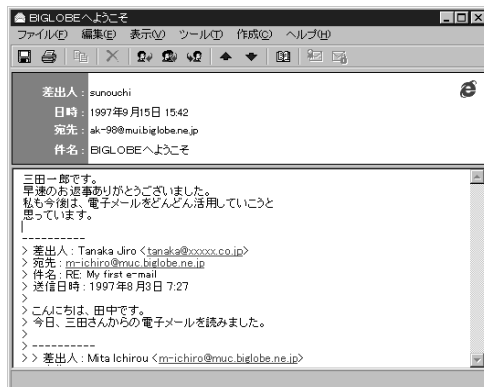


- 3** 必要事項があれば入力し、[OK] ボタンをクリックします。
名前と電子メールアドレスはこの操作で自動的に登録されますので、何も入力しなくても利用できます。



読み終えたら

- 1** 読み終えたら、**X**(閉じる) ボタンをクリックします。新しく開いたウィンドウが閉じます。



Outlook Expressを終了する

- 1** **X**(閉じる) ボタンに矢印を合わせてクリックします。



メールを送ろう


電子メールを書いて、送信します。すでに電子メールをもっている友人などに、はじめての電子メールを送ってみましょう。

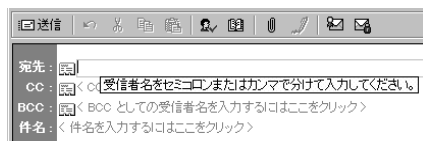
- 1 [作成] ボタンをクリックします。
[メッセージの作成] ウィンドウが表示されます。





電子メールの宛先を書く

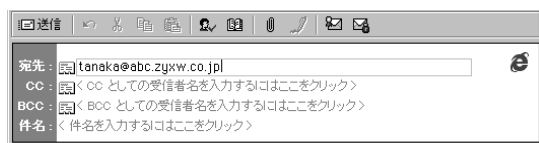
実際に送る相手の電子メールアドレスは、正確に入力してください。インターネットの電子メールアドレスは、半角の英数字または記号で表され、必ず途中に「@」が入ります。

- 1 宛先の電子メールアドレスをよく確認します。
- 2 [宛先: ] の右に矢印を合わせ、クリックします。



- 3   を押してしまうと、[受信者の選択] ウィンドウが表示されますので、[キャンセル] ボタンをクリックして消します。

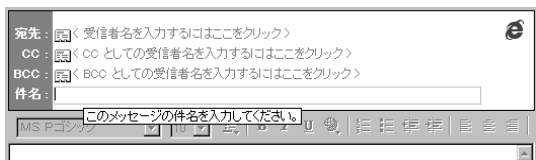
- 3 宛先の電子メールアドレスを入力します。



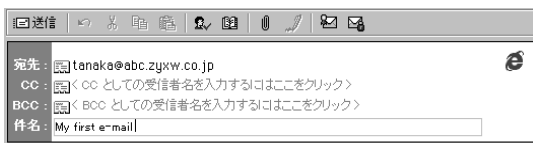
電子メールの「件名」を書く

電子メールの件名は、簡潔に内容がよくわかるように書きます。長くても、20文字程度にしましょう。

- 1 [件名:] の右に矢印を合わせ、クリックします。



- 2 件名を入力します。



件名は日本語表記することができますが、半角カタカナと全角の特殊文字は使用しないでください。できれば半角のアルファベットで書きましょう。

使ってはならない文字

半角カタカナ: アイエウエオ など

全角特殊文字: など

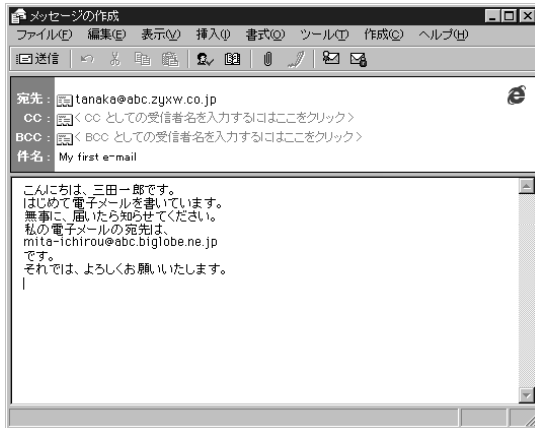
電子メールの本文を書く

電子メールの本文を書きます。簡潔にわかりやすく書きましょう。また、誰からの電子メールだとわかるように、本文中にはあなたの名前や連絡先を書いておきます。

- 1 [件名:] の下の本文を書くところに矢印を合わせ、クリックします。



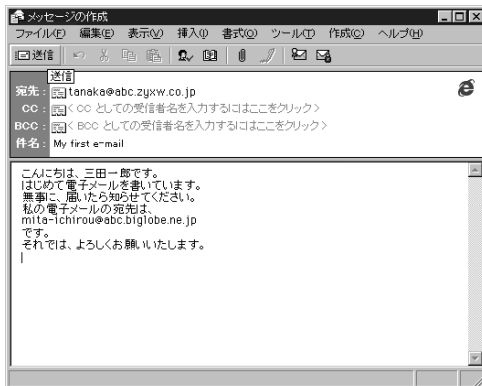
- 2** 本文を書いていきます。本文中には、半角カタカナと全角の特殊文字は使用しないでください。





本文を書き終わったら

本文を書き終えたら、電子メールをインターネットに送ります。

- 1**  送信ボタンをクリックします。



-  ボタンをクリックすると、[メッセージ作成]ウィンドウが閉じて、送信が始まります。
-  インターネットに接続します。インターネットへ接続するためのパスワード入力を求める画面が表示されます。なお、パスワードが保存されている場合は、この画面は表示されません。

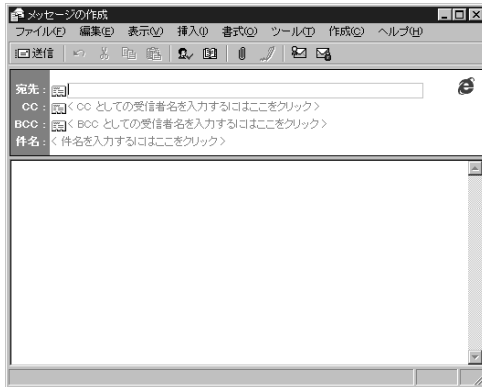
書き終えた電子メールを送らずに破棄する場合は、右上にある **X** ボタン (閉じる) をクリックします。「このメッセージへの変更を保存しますか?」と聞いてきますので、保存しない場合は、「いいえ」をクリックします。この場合は、書いた電子メールは保存されません。

アドレス帳を使って宛先を書く

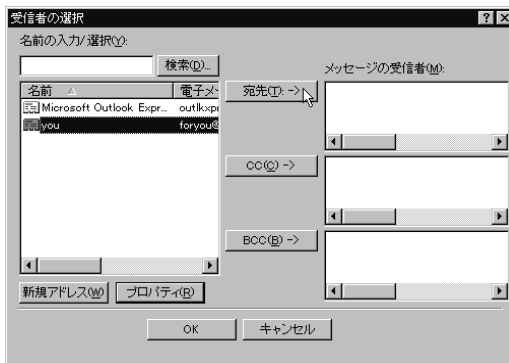
「アドレス帳」を使って宛先を設定してみましょう

1 「宛先: 

宛先にする人を「アドレス帳」から選びます。



2 宛先にする人を選び、[宛先] ボタンをクリックします。



[OK] ボタンをクリックします。

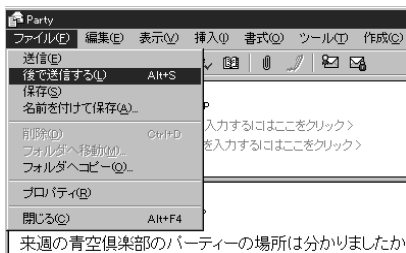


宛先には、電子メールアドレスではなく名前が表示されますが、Outlook Expressは、「アドレス帳」を参照して正しく宛先に送ります。

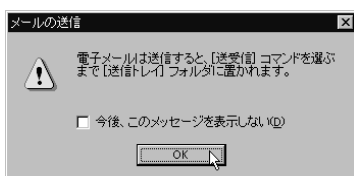
電子メールをまとめて送るには

書き終えた電子メールをまとめてインターネットに送る方法です。まとめて送信すれば、電話代を節約することができます。

1 [ファイル]メニューの[後で送信する]をクリックします。



2 [受信トレイ]におかれることを警告する画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。



パソコン通信の会員に電子メールを送るには

NIFTY-Serveなどのパソコン通信の会員にインターネットから電子メールを送るには、ユーザーIDの後に、下のようなドメイン名を付けた電子メールアドレスに送ります。

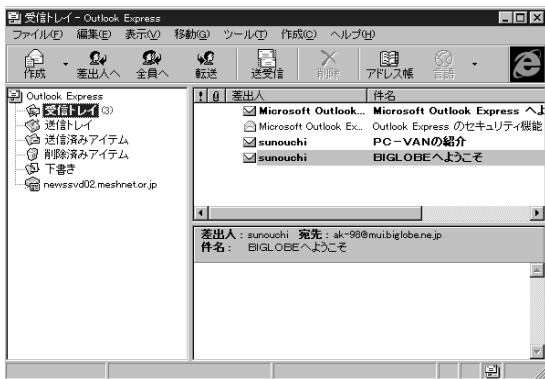
ユーザーIDに追加するドメイン名

NIFTY-Serve	:ユーザーID@niftyserve.or.jp
PC-VAN	:ユーザーID@biglobe.ne.jp
ASAHI ネット	:ユーザーID@asahi-net.or.jp
People	:ユーザーID@people.or.jp

返信の電子メールを選ぶ

まず、返信を出すメールを選びます。

- 届いた電子メールの件名をクリックします。
選択した件名に色が付き、その電子メールの内容がウィンドウの下半分に表示されます。



- [差出人へ] ボタンをクリックします。
[メッセージの作成] ウィンドウが表示されます。



返事を書く

返信を出すために選んだ電子メールの差出人が自動的に宛先に設定されます。件名は「RE: 届いた電子メールの件名」となり、どの電子メールに対する返信なのかわかりやすくする工夫がされています。

- [件名:] の下の本文を書くところをクリックします。



2 本文を書いていきます。



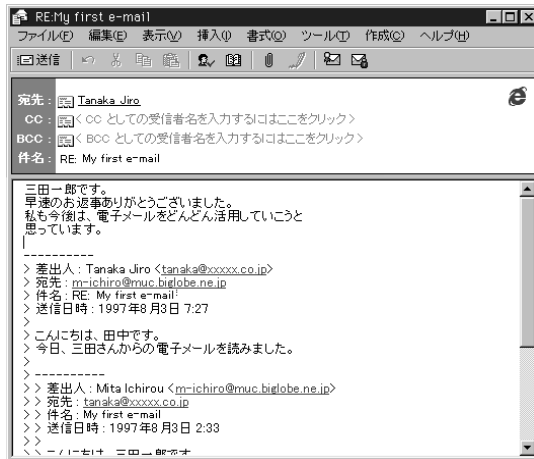
本文には、返信を出すために選んだ電子メールの本文が自動的に「>」のあとにコピーされて表示されます。


Outlook Expressで「差出人へ」を使うと、元の電子メールのコピーを編集しながら返事を書くことができます。電子メールはほとんどの場合に画面上で読み書きしますので、コミュニケーションの行き違いにならないように工夫が必要です。


本文を書き終わったら

本文を書き終わったら、電子メールをインターネットに送ります。

1 送信ボタンをクリックします。



- ・  ボタンをクリックすると、[メッセージ作成]ウィンドウが閉じて、送信が始まります。
- ・ インターネットに接続します。インターネットへ接続するためのパスワード入力を求める画面が表示されます。なお、パスワードが保存されている場合は、この画面は表示されません。

書き終えた電子メールを送らずに破棄する場合は、右上にある  ボタン(閉じる)をクリックします。「このメッセージへの変更を保存しますか?」と聞いてきますので、保存しない場合は、「いいえ」をクリックします。この場合は、書いた電子メールは保存されません。

インターネット上で会議する ~ Microsoft NetMeeting

ここでは Microsoft NetMeeting(以降ネットミーティング)の基本的な使い方について説明します。



ネットミーティングのさらに詳しい使用方法については、ネットミーティングのヘルプをご覧ください。

ネットミーティングは、インターネット上、ローカルエリアネットワーク(LAN)上、またはモデムを経由して、主催者と複数の参加者によるネットワーク会議を行うことができます。ネットミーティングでは主催者と複数の参加者との間で開く会議上で、次のようなやり取りができます。

- ・相手に電話をかけて話すことができる。
- ・会議の参加者全員で同じアプリケーションやドキュメントを共有することができる。
- ・共有アプリケーションで共同作業することができる。
- ・会議の参加者全員にメッセージを送ることができる。
- ・会議の参加者全員で同時に会議内容に変更を加えることができる。
- ・共有ホワイトボードが利用できる。
- ・チャットに参加できる。



- ・インターネットで利用する場合は、事前にプロバイダとの接続を済ませて自分や会議に参加する人の電子メールやIPアドレスが利用できるようにしておいてください。また、会話する場合はTCP/IPプロトコルが利用できる状態にしておいてください。
- ・ローカルエリアネットワーク(LAN)で利用する場合は、事前に他のコンピュータとのネットワーク上の接続を完了して、自分や会議に参加する人のコンピュータ名を確認しておいてください。
- ・モデム経由で利用する場合は、事前に他のコンピュータとの回線の接続を完了して、自分や会議に参加する人の電話番号を確認しておいてください。
- ・ネットミーティングで会話する場合は、マイクが必要になりますので事前に別売のマイクを購入後、本機に接続してお使いください。
- ・ビデオ機能を使用する場合は、ネットミーティングの[ヘルプ]メニューのトピックの検索、「説明ファイル」、「オンラインサポート」などを参考にしてください。

アプリケーションの削除と追加

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除方法と削除したアプリケーションの再追加方法について説明します。

ここではWindows 95およびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。よくご理解のうえ、ご利用ください。

アプリケーションを削除する

削除したアプリケーションを再追加する

アプリケーションを削除する

本機に標準で添付されているアプリケーションの削除の方法について説明します。

削除の方法は、アプリケーションによって異なります。

なお、購入後にインストールされたアプリケーションの削除方法については、アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。



アプリケーションによっては、削除したときに、一部のディレクトリおよびデスクトップやスタートメニューのショートカットが残ることがあります。この状態でも本機を操作する上では支障はありませんが、アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法にしたがって操作してください。

アプリケーションを削除する時、「共有ファイルを削除するかどうか」のメッセージが表示される場合がありますが、共有ファイルは削除しないでください。削除すると、他のアプリケーションに影響を及ぼす場合があります。

コントロールパネルを使って削除するアプリケーション

次のアプリケーションが削除できます。手順については「コントロールパネルを使って削除する」を参照してください。

- ・ ユースフルパックセットアップ
 - DOS コマンド
 - ユースフルパックユーティリティ
- ・ 添付アプリケーションセットアップ
 - 98プレーヤー
 - CompCore softPEG(TM)
(PC-9821 Xa20/W30R、PC-9821 Xa200/W30Rをお使いの場合のみ)
 - Hover
 - PCIセットアップ ユーティリティ
 - 補足説明
- ・ BIGLOBE
- ・ NIFTY MANAGER
- ・ 98Timer
- ・ DMITOOL
- ・ インターネットエクスプローラ
- ・ Microsoft Chat 2.0*
- ・ Microsoft NetShowプレーヤー*
- ・ MicrosoftWallet*

- ・ Real Player 4.0*
- ・ AOLへのご招待



- ・ ユースフルパックセットアップのアプリケーションを削除する場合は、Part4「その他の機能を使う」をご覧ください。
- ・ NIFTY MANAGERを削除する場合は、Part1「パソコン通信をする」をご覧ください。
- ・ *があるものは、インターネットエクスプローラ4.0をインストールした場合のみ削除できます。

アプリケーションのアンインストール機能を使うもの

次のアプリケーションが削除できます。手順については「アンインストール機能を使って削除する」を参照してください。

- ・ PC-VANナビゲータ
- ・ pcANYWHERE プラス
- ・ 海外ゲーム対応ユーティリティ
- ・ VirusScan
- ・ NEC SoftMPEG1.0(PC-9821Ra266/W30Rをお使いの場合のみ)

コントロールパネルを使って削除する

削除の準備

- 1** Windows 95を起動します。
- 2** [スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]を起動します。
- 3** [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を起動します。
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面が表示されます。
- 4** [セットアップと削除]タブが選択されていることを確認します。
選択されていない場合は[セットアップと削除]タブをクリックします。

この画面で次のアプリケーションを削除できます。すでに削除しているアプリケーションはこの画面には表示されません。

- ユースフルパックセットアップ
- 添付アプリケーションセットアップ
- BIGLOBE
- DMIT00L
- インターネットエクスプローラ
- Microsoft Chat 2.0
- Microsoft Netshowプレーヤー
- MicrosoftWallet
- Real Player 4.0
- AOLへのご招待
- 98Timer



添付アプリケーションの削除

次の手順で添付アプリケーションを削除します。

- 1** 「削除の準備」の手順1～4を行います。
- 2** [セットアップと削除]画面の一覧から「添付アプリケーション セットアップ」をクリック(反転表示)して、[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3** [添付アプリケーション セットアップ]の画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。
- 4** [セットアップ方法の選択]の画面で「カスタム」を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
- 5** 表示された画面で、削除したいアプリケーションのチェックボックスをクリックして、チェックを外します。
次のアプリケーションが削除できます。
 - ・ 98プレーヤー
 - ・ CompCore softPEG(TM)
(PC-9821 Xa20/W30R、PC-9821 Xa200/W30Rをお使いの場合のみ)
 - ・ Hover
 - ・ PCIセットアップユーティリティ
 - ・ 補足説明
- 6** チェックボックスのチェックを外したら、[次へ]ボタンをクリックします。
アプリケーションの削除がはじまります。
- 7** 「セットアップが完了しました」と表示されたら「完了」ボタンをクリックします。
システム設定が変更された場合は再起動を促すメッセージが表示されます。
他のソフトウェアを削除する場合は、「いいえ」を選択して、引き続き削除を行ってください。
削除を終了する場合は、「はい」を選択して、システムを再起動してください。

インターネットエクスプローラの削除

次の手順でインターネットエクスプローラ及びインターネットエクスプローラ関連プログラムを削除します。

- 1** 「 削除の準備 」の手順1～4を行います。
- 2** [セットアップと削除]画面の一覧から[Microsoft Internet Explorer 4.0]をクリック(反転表示)して[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3** 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0とそのすべてのコンポーネントをアンインストールする」にチェックを付け、[詳細]ボタンをクリックします。
- 4** 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0と次のコンポーネントをアンインストールする」にチェックを付け、さらに次のコンポーネントにチェックマークを付け、[OK]ボタンをクリックします。
 - ・ Microsoft FrontPage Express
 - ・ Microsoft Music Control
 - ・ Microsoft NetMeeting 2.0
 - ・ Microsoft Outlook Express
 - ・ Microsoft VM for Java
 - ・ Microsoft Web 発行ウィザード 1.51
 - ・ VDO Live Player
- 5** 「既にセットアップされているコンポーネントを検索しています」のメッセージの後に、「Internet Explorer 4.0と共有コンポーネントを削除するには、[OK]をクリックしてください。」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
- 6** 「Microsoft Internet Explorer 4.0を削除しますか?」と表示されます。削除する場合は[はい]ボタンをクリックしてください。

削除が始まります。削除には10数分かかります

(ごみ箱の中身を消すかどうかの確認画面が表示される場合は、メッセージに従って[OK]か[キャンセル]を選択してください。)
- 7** 「すべてのアプリケーションを閉じて、新しい設定でWindowsを再起動します」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
- 8** 「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されたら、実行中のプログラムでデータを処理しているものがあれば、それらのデータを保存しプログラムをすべて終了させたら、[OK]ボタンをクリックします。



- 9 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
自動的に再起動されます。
- 10 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合、ユーザ名とパスワードを入力します。
- 11 次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて[はい]ボタン[いいえ]ボタンをクリックします。
 - ・ Microsoft Internet Explorer 4.0
 - ・ Windows デスクトップのアップデートコンポーネント
 - ・ インターネット接続ウィザード
 - ・ Microsoft NetMeeting 2.0
 - ・ Outlook Express
 - ・ VDO Live Player
 - ・ Microsoft FrontPage Express

Microsoft Chat 2.0の削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を行います。
- 2 [セットアップと削除]画面の一覧から[Microsoft Chat 2.0]をクリック(反転表示)して[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3 「Microsoft Chat 2.0を削除します。Microsoft Chat のアプリケーションが実行されていないことを確認してください。」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
- 4 「Microsoft Chat 2.0は正常に削除されました。」のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

Microsoft NetShow Playerの削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を行います。
- 2 「セットアップと削除」画面の一覧から[Microsoft NetShow Player]をクリック(反転表示)して[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3 「Microsoft NetShow プレーヤーをアンインストールしますか?」のメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

Microsoft Walletの削除

- 1** 「 削除の準備 」の手順1～4を行います。
- 2** [セットアップと削除]画面の一覧から[Microsoft Wallet]をクリック(反転表示)して[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3** 「Microsoft Wallet を削除します。続行しますか?」のメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

RealPlayer 4.0の削除

- 1** 「 削除の準備 」の手順1～4を行います。
- 2** [セットアップと削除]画面の一覧から[RealPlayer 4.0]をクリック(反転表示)して[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3** 「RealPlayer の全てのコンポーネントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
- 4** 「RealPlayer のアンインストールが完了しました。」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

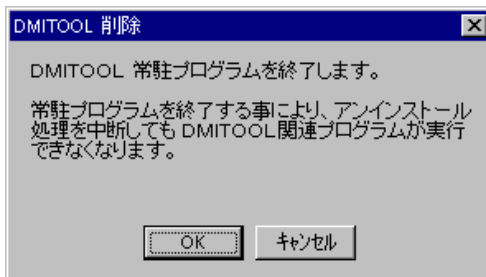
BIGLOBEの削除

次の手順でBIGLOBEサインアップナビとBIGLOBE Walkerを削除します。

- 1** 「 削除の準備 」の手順1～4を行います。
- 2** [セットアップと削除]画面の一覧から「BIGLOBE」をクリック(反転表示)して、[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3** 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。削除する場合は[はい]ボタンをクリックしてください。アプリケーションの削除がはじまります。
- 4** 「アンインストールが完了しました。」のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

DMIT00Lの削除

- 1 DMIT00L WWW Extensionの削除を行います。(DMIT00L WWW Extensionをセットアップしていない場合には、7の手順から初めてください)
- 2 PWS(“ パーソナル Web サーバー ”または“ Microsoft Peer Web Service ”)を停止してください。
- 3 「 削除の準備 」の手順1～3を行います。
- 4 「 削除の準備 」の手順4で[DMIT00L WWW Extension]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 5 次の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



- 6 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。これで、DMIT00L WWW Extensionプログラムの削除が開始されます。
- 7 DMIT00L関連のアプリケーションが起動されていないことを確認してください。次のアプリケーションがDMIT00L関連のアプリケーションです。
 - ・ システムビューア
 - ・ 状態監視
 - ・ MIFブラウザ
 - ・ 休眠ファイル

8 「削除の準備」の手順1～4を行います。

9 [セットアップと削除]画面の一覧から[DMIT00L]をクリック(反転表示)して、
[追加と削除]ボタンをクリックします。
次の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

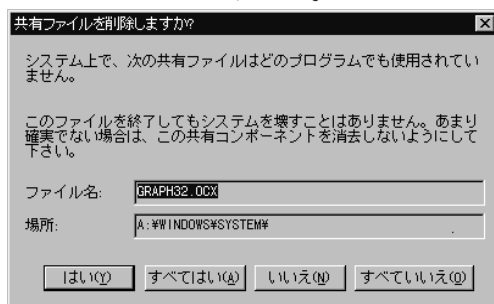


10 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」
と表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。これでプログラムの削除が開始されます。



[いいえ]を選択し、削除を中断した場合には、システムを再起動してからDMIT00Lを使用してください。

11 削除を開始して間もなく次の画面が表示されます。ここでは必ず[すべていいえ]ボタンをクリックしてください。



12 [コンピュータからプログラムを削除]の画面が表示されます。
画面にアンインストールが完了した旨が表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

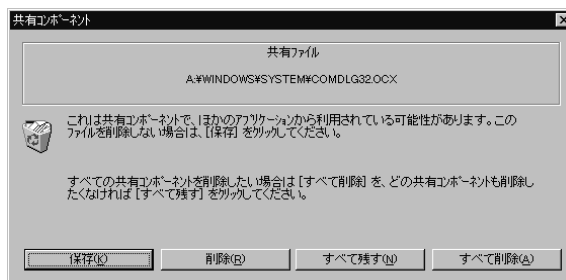
AOLへのご招待の削除

- 1 「 削除の準備 」の手順1～4を行います。
- 2 [セットアップと削除]画面の一覧から[AOLへのご招待]をクリック(反転表示)して、[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。削除する場合は[はい]ボタンをクリックしてください。
アプリケーションの削除がはじまります。
- 4 「アンインストールが完了しました。」のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

98Timerの削除

次の手順で98Timerを削除します。

- 1 「 削除の準備 」の手順1～4を行います。
- 2 [セットアップと削除]画面の一覧から「98Timer」をクリックして、[追加と削除]ボタンをクリックします。
- 3 「98Timerとそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。削除する場合には[はい]ボタンをクリックしてください。98Timerの削除がはじまります。
- 4 [共有コンポーネント]画面が表示されたら、[すべて残す(N)]ボタンをクリックします。



- 5 「削除されました」のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

アンインストール機能を使って削除する.....

PC-VANナビゲータの削除

次の手順でPC-VANナビゲータを削除します。

1 [スタート]メニューの[プログラム]-[PC-VANナビゲータ]から[PC-VANナビゲータアンインストーラー]をクリックします。

2 表示された画面で「プログラムだけ削除」を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



「すべて削除」を選択すると、設定ファイルやアドレス帳なども削除されてしまいます。

3 「PC-VANナビゲータのプログラムファイルを削除します。」と表示されます。削除する場合は、[OK]ボタンをクリックします。

4 「ファイルを削除しました。」と表示されたら[OK]ボタンをクリックします。以上で削除は完了です。



「すべて削除」を選択した場合でも、メールフォルダやダウンロードしたファイルが一部残ります。これらのファイルを削除する場合は、[マイコンピュータ]や[エクスプローラ]で「A:¥PCNAVI」にあるファイルを削除してください。

5 [スタート]メニューの[プログラム]に残ったアイコンを削除するには、以下のフォルダをファイルごと削除してください。

A:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥PC-VANナビゲータ

pcANYWHERE プラスの削除

1 [スタート]メニューの[プログラム]-[pcANYWHERE プラス]にある[pcANYWHERE プラスの削除]をクリックします。

2 [パス名]が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。

3 「pcANYWHERE32 プラスを削除しました。」というメッセージが表示されますので、[完了]ボタンをクリックします。

自動的に再起動されます。

以上で削除は完了です。

海外ゲーム対応ユーティリティの削除

- 1 [スタート]メニューの[プログラム]から[海外ゲーム対応ユーティリティ]-[海外ゲーム対応ユーティリティの削除]をクリックします。
- 2 「海外ゲーム対応ユーティリティを削除します。」と表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。
- 3 「海外ゲーム対応ユーティリティの削除を開始します。」と表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。
- 4 「海外ゲーム対応ユーティリティの削除が終了しました。」と表示されたら[終了]ボタンをクリックします。

以上で削除は完了です。

VirusScanの削除

- 1 [スタート]メニューの[プログラム]から[McAfee VirusScan] - [VirusScanの削除]をクリックします。
- 2 「VirusScanの削除が選択されました。本当にVirusScanを削除しますか?」のメッセージが表示されます。削除する場合は[はい]ボタンをクリックしてください。
- 3 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」のメッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックします。

アプリケーションの削除がはじまります。

- 4 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックします。
- 5 「アンインストールが完了しました。」のメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
- 6 システムを再起動します。

NEC Soft MPEG 1.0を削除する(PC-9821 Ra266/W30Rをお使いの場合のみ)

NEC Soft MPEG 1.0の削除は[コントロールパネル]の[マルチメディア]を使用して行います。

- 1** 動作中のアプリケーションをすべて終了してください。
- 2** [スタート]メニューから[設定] - [コントロールパネル]を起動します。
- 3** [マルチメディア]アイコンをダブルクリックします。
- 4** マルチメディアのプロパティから[詳細設定]タブを選択します。
- 5** [メディアコントロールデバイス]の左のプラス記号(+)をクリックして、デバイスドライバの一覧を表示します。
- 6** [NEC Soft MPEG 1.0]をダブルクリックし、[NEC Soft MPEG 1.0のプロパティ]で[削除]ボタンをクリックします。
- 7** 削除の確認ダイアログボックスが表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。
- 8** [デバイスは削除されました]画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
- 9** 削除後、再起動を促すメッセージが表示されたら[はい]ボタンをクリックしてWindowsを再起動します。

以上で削除は完了です。

削除したアプリケーションを再追加する

削除したアプリケーションを再追加する場合の手順について説明します。



- ・「バックアップCD-ROM」から、削除したアプリケーションを再追加する場合は、アプリケーションのアイコン登録先が、購入時と同じ状態に設定されないことがあります。
- ・ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す場合は、『再セットアップガイド』をご覧ください。

プロダクトの選択

- 1** Windows95を起動します。
- 2** CD-ROMドライブに本機添付の「バックアップCD-ROM」をセットします。
- 3** [スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]を起動します。
- 4** [コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を起動します。
- 5** [セットアップと削除]タブが選択されていることを確認します。
選択されていない場合は[セットアップと削除]タブをクリックします。
- 6** [セットアップ]ボタンをクリックして[フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ]を起動します。
- 7** 「バックアップCD-ROM」がCD-ROMドライブにセットされていることを確認して、[フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ]の画面で[次へ]ボタンをクリックします。
- 8** [セットアッププログラムの実行]画面の「セットアッププログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>: ¥NSETUP.EXE」になっていることを確認して、[完了]ボタンをクリックします。
- 9** [プロダクトの選択]画面が表示されます。

この画面で次のアプリケーションを追加できます。

- ・ ユースフルパックセットアップ
- ・ 添付アプリケーションセットアップ
- ・ BIGLOBE
- ・ PC-VANナビゲータセットアップ
- ・ NIFTY MANAGER
- ・ DMIT00L
- ・ 98Timer
- ・ pcANYWHEREプラス
- ・ 海外ゲーム対応ユーティリティセットアップ
- ・ AOLへのご招待
- ・ VirusScan



- ・ NIFTY MANAGERを追加する場合は、Part1「パソコン通信する」をご覧ください。
 - ・ ユースフルパックセットアップのアプリケーションを追加する場合は、Part4「その他の機能を使う」をご覧ください。
-

添付アプリケーションの追加

ここでは、以下のプロダクトの追加方法について説明します。

- ・ 添付アプリケーションセットアップ

[添付アプリケーションセットアップ]には、それぞれ次のプログラムが含まれています。

- ・ 添付アプリケーションセットアップ

98プレーヤー

CompCore softPEG(TM)

(PC-9821 Xa20/W30R、PC-9821 Xa200/W30Rをお使いの場合のみ)

Hover

PCIセットアップユーティリティ

補足説明



- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を行います。
- 2 [プロダクトの選択]画面で追加したいアプリケーションの含まれている項目を選択(反転表示)して、[OK]ボタンをクリックします。
- 3 選択した項目のセットアップ画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。
- 4 [セットアップ方法の選択]画面が表示されます。[標準]または[カスタム]を選択してください。
 - ・ [標準]を選択した場合
[添付アプリケーションセットアップ]では、その項目のすべてのプログラムが追加されます。
 - ・ [カスタム]を選択した場合
追加するプログラムを1つずつ選択することができます。
- 5 [標準]または[カスタム]を選択したら、[次へ]ボタンをクリックします。
 - ・ [標準]を選択した場合
表示された画面で、そのまま[次へ]ボタンをクリックします。
アプリケーションの追加がはじまります。
 - ・ [カスタム]を選択した場合
表示された画面で、追加したいアプリケーションのチェックボックスをクリック(チェックボックスにチェックを付ける)して、[次へ]ボタンをクリックします。
選択したアプリケーションの追加がはじまります。



途中で「コピー先に新しい日付のファイルが存在します。上書きしてよろしいですか」のメッセージが表示された場合は[いいえ]を選択してください。

- 6 「セットアップが完了しました」と表示されたら、[完了]ボタンをクリックしてください。
システム設定が変更された場合は再起動を促すメッセージが表示されます。
他のソフトウェアを追加する場合は、[いいえ]を選択して、再度手順1に戻って、引き続き追加を行ってください。
追加を終了する場合は、[はい]を選択して、システムを再起動してください。

インターネットエクスプローラの追加

ここでは、インターネットエクスプローラ及びインターネットエクスプローラ関連プログラムの追加方法について説明します。

- 1** デスクトップにある「インターネットエクスプローラ4.0のセットアップ」アイコンをダブルクリックします。
- 2** 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「セットアップの開始」メッセージが表示されたら、[次へ] ボタンをクリックします。
- 3** 使用許諾契約書が表示されます。よくお読みになり、同意する場合は「同意する」にチェックマークを付け[次へ] ボタンをクリックします。
- 4** 「インストールオプション」で「最小インストール」「標準インストール」「完全インストール」から選択し[次へ] ボタンをクリックします。
- 5** 「デスクトップのアップデート」で「インストールしますか?」のメッセージが表示されたら「はい」にチェックをつけ、[次へ] ボタンをクリックします。
- 6** 「Active Channelの選択」で「日本」を選択し[次へ] ボタンをクリックします。
- 7** 「インストール先フォルダ」でインストール先を指定します。

- ・ 購入時と同じフォルダにインストールする場合

[参照] ボタンをクリックして[フォルダの参照] 画面を表示し、そこで次のフォルダを選択し[OK] ボタンをクリックします。

A:¥Program Files¥Internet Explorer

- ・ 購入時と別のフォルダにインストールする場合

(すでに存在するフォルダの場合)

[参照] をクリックして[フォルダの参照] 画面を表示し、そこでインストールしたいフォルダを選択し[OK] ボタンをクリックします。

(新規にフォルダを作成する場合)

インストールフォルダに直接フォルダ名を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。「入力したフォルダが存在しないため、作成しますか?」と表示されたら[はい] ボタンをクリックします。



- 8** 「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」のメッセージが表示されたら「すべてのコンポーネントを再インストール」にチェックを付け [OK] ボタンをクリックします。
インストールが始まります。インストールには10数分かかります。
- 9** 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら [OK] ボタンをクリックします。
- 10** 「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されたら、実行中のプログラムでデータを処理しているものがあれば、それらのデータを保存しプログラムをすべて終了します。それから [OK] ボタンをクリックします。
- 11** 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら [OK] ボタンをクリックします。
自動的に再起動されます。
- 12** 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力します。
Internet Explorer 4.0関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。この間数分かかります。

BIGLOBEの追加

- 1** 「 プロダクトの選択 」の手順1～9を行います。
- 2** [プロダクトの選択]画面で「 BIGLOBE 」をクリック(反転表示)して、[OK]ボタンをクリックします。
- 3** [ようこそ]画面で[次へ]ボタンをクリックします。
- 4** [インストール先の選択]画面でインストール先ディレクトリを指定して[次へ]ボタンをクリックします。
- 5** 「BIGLOBE Walker のインストールを開始します。よろしいですか?」のメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。
- 6** [プログラムフォルダの選択]画面でプログラムフォルダを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
プログラムのインストールが開始されます。

これでインストールは終了です。

PC-VANナビゲータの追加

- 1** 「 プロダクトの選択 」の手順1～9を行います。
- 2** [プロダクトの選択]画面で[PC-VANナビゲータ セットアップ]をクリック(反転表示)して、[OK]ボタンをクリックします。
- 3** 「他のアプリケーションを終了してからインストールして下さい」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
- 4** [PC-VANナビゲータインストール]の画面で[インストール]ボタンをクリックします。
- 5** 表示された画面で[OK]ボタンをクリックします。
- 6** 「ディレクトリを作成しますか?」のメッセージが表示された場合は、[OK]ボタンをクリックします。
- 7** [PC-VANナビゲータ登録]画面で[はい]ボタンをクリックします。
- 8** 「インストールが完了しました」と表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

これでインストールは完了です。



DMIT00Lの追加

- 1 「 プロダクトの選択 」の手順1～9を行います。
- 2 [プロダクトの選択]画面で「 DMIT00L 」をクリック(反転表示)して、[OK]ボタンをクリックします。
- 3 DMIT00Lセットアップの説明画面が表示されます。指示に従い「 次へ 」ボタンをクリックしてください。
- 4 [登録]の画面が表示されます。あなたの名前と会社名を入力して「 次へ 」ボタンをクリックしてください。
- 5 [パス設定]の画面が表示されます。インストール先ディレクトリを指定して「 次へ 」ボタンをクリックしてください。
プログラムのインストールが開始されます。
- 6 [情報]の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
- 7 システムを再起動します。

98Timerの追加

- 1 [プロダクトの選択]の手順1～9を行います。
- 2 [プロダクトの選択]画面で「 98Timer 」をクリックして、[OK]ボタンをクリックします。
- 3 「98Timerのセットアップを始めます。」と表示されている画面で、[OK]ボタンをクリックします。
- 4 パソコンの絵が描かれているボタンをクリックします。
インストールが始まります。
- 5 「98Timerのセットアップが完了しました。」と表示されたら「 OK 」ボタンをクリックします。

pcANYWHERE プラスの追加

- 1** 「 プロダクトの選択 」の手順1～9を行います。
- 2** [プロダクトの選択 画面で [pcANYWHERE プラス] をクリック 反転表示 して、[OK] ボタンをクリックします。
- 3** [pcANYWHERE 画面で名前と会社名を入力します。[次へ] ボタンをクリックします。
- 4** [オンライン使用許諾契約] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。
- 5** 「 pcANYWHERE は以下の場所にコピーされます。 」というメッセージが表示されます。インストール先ディレクトリを指定して [次へ] ボタンをクリックします。
- 6** 「 pcANYWHERE プログラムを以下の場所にコピーします。 」というメッセージが表示されます。 [次へ] ボタンをクリックします。ファイルのコピーが始まります。
- 7** ファイルのコピーが終了すると、「 Windows95およびWindowsNT用pcANYWHERE のインストールに成功しました。 」と表示されますので [完了] ボタンをクリックしてください。

自動的に再起動されます。

以上でインストールは完了です。

海外ゲーム対応ユーティリティの追加

- 1** 「 プロダクトの選択 」の手順1～9を行います。
- 2** [プロダクトの選択 画面で [海外ゲーム対応ユーティリティ セットアップ] をクリック (反転表示 して、[OK] ボタンをクリックします。
- 3** 「 海外ゲーム対応ユーティリティをインストールします。 」と表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。
- 4** 「 インストールを開始します。 」と表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。
- 5** 「 インストールが終了しました。 」と表示されたら [終了] ボタンをクリックします。

以上でインストールは完了です。



NEC Soft MPEG 1.0を再追加する (PC-9821 Ra266/W30 Rをお使いの場合のみ)

NEC Soft MPEG 1.0の再追加は[コントロールパネル]の[ハードウェア]を使用して行います。

- 1** CD-ROMドライブに本機添付のバックアップCD-ROMをセットします。
- 2** [スタート]メニューから[設定] - [コントロールパネル]を起動します。
- 3** [ハードウェア]アイコンをダブルクリックし、[ハードウェアウイザード]を起動します。
- 4** [インストールを始める]画面で[次へ]ボタンをクリックします。
- 5** 新しいハードウェアを自動的に検出する選択画面では[いいえ]を選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。
- 6** インストールするハードウェアの種類に[その他のデバイス]を選択して[次へ>]ボタンをクリックします。
- 7** [ディスク使用]を選択し、[フロッピーディスクからインストール]ダイアログでコマンドラインに<CD-ROMドライブ名>:¥NECMPEGと入力し、[OK]ボタンをクリックします。
- 8** 画面に[NEC Soft MPEG 1.0]と表示されますので、[次へ>]ボタンをクリックします。
- 9** [完了]ボタンをクリックするとファイルのコピーが開始されます。
- 10** ファイルのコピー終了後、再起動を促すメッセージが表示されたら[はい]ボタンをクリックしてWindowsを再起動します。

以上でNEC Soft MPEG 1.0が再追加されます。

AOLへのご招待の追加

- 1** 「 プロダクトの選択 」の手順1～9を行います。
- 2** [プロダクトの選択]画面で[AOLへのご招待]をクリック(反転表示)して、[OK]ボタンをクリックします。
- 3** しばらくするとAOLへのご招待セットアップの説明画面が表示されます。
指示に従い、[次へ]ボタンをクリックします。
- 4** [インストール先の選択]画面が表示されます。インストール先ディレクトリを指定して[次へ]ボタンをクリックします。
プログラムのインストールが開始されます。
- 5** [情報]画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
これでインストールは完了です。

VirusScanの追加

- 1** 「 プロダクトの選択 」の手順1～9を行います。
- 2** [プロダクトの選択]画面で[McAfee VirusScan v3.1.0(プレインストール版)]をクリック(反転表示)して、[OK]ボタンをクリックします。
- 3** 使用許諾契約書が表示されます。よくお読みになり、同意する場合は、[はい]ボタンをクリックしてください。
- 4** [セットアップへようこそ]画面で[次へ]ボタンをクリックします。
- 5** [セットアップ方法]画面でセットアップ方法、インストール先ディレクトリを選択して[次へ]ボタンをクリックします。
- 6** [インストール設定の確認]画面が表示されます。設定を確認したら[次へ]ボタンをクリックします。
プログラムのインストールが開始されます。
- 7** VirusScanが実行され結果が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。



- 8** [McAfee エマージェンシーディスク作成ユーティリティ] 画面が表示されます。エマージェンシーディスクを作成する場合は、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして[継続] ボタンをクリックします。エマージェンシーディスクを作成する場合はMS-DOSでフォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要になります。

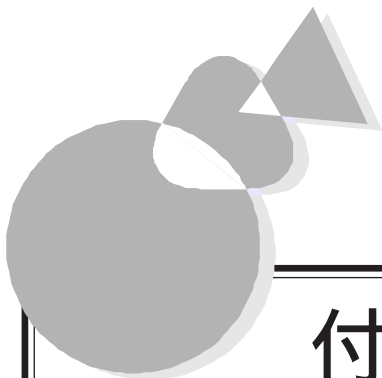
画面の指示に従って、エマージェンシーディスクを作成してください。

- 9** 「この製品のバージョンについての最新の情報を表示しますか?」のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

- 10** [変更事項] 画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。

- 11** 「インストールが完了しました」画面が表示されますので、直ちにコンピュータを再起動するかどうかを選択し、[終了] ボタンをクリックします。

これでインストールは完了です。



付録

本機を利用するための補足情報です。

ツール一覧

付録

ツール一覧

本機の「スタートメニュー」から「プログラム」を選択すると、次のようなアイコンが表示されます。

ツール一覧

表の見方

- ・ があるものは購入時にはセットアップされていません。
- ・ 追加方法については本書のPart 6「アプリケーションの削除と追加」をご覧ください。
- ・ インターネットエクスプローラ4.0をセットアップした時に表示されるメニューです。
- ・ *があるものは本書で説明している機能です。
その他の機能についてはそれぞれのオンラインヘルプを参照してください。

Aol	AOLへのご招待* updater
Biglobe	BIGLOBE Walker クイックマニュアル 初めにお読みください 入会申込*
Dmitool	MIFブラウザ* WWW Extensionセットアップ* オンラインヘルプ ご使用になる前に システムビューア* 状態監視*
DOS アプリケーション	DOS APショートカットの作成*() DOS APの登録*()
Internet Explorer	FrontPage Express Internet Explorer* Microsoft Chat Microsoft NetMeeting* NetShow プレーヤー Outlook Express* RealPlayer Web 発行ウィザード アドレス帳 接続ウィザード*
McAfee VirusScan	ScreenScan VirusScan* VirusScan コンソール オンラインヘルプ VirusScanコンソール VirusScanの削除 ウィルスデータベースの内容 エマージェンシーディスク作成 使用許諾書について 必ずお読みください
NECユースフルパック	NECユースフルパック Readme()

NIFTY MANAGER	NIFTY MANAGERオートパイロットヘルプ() NIFTY MANAGERオートパイロット() NIFTY MANAGERヘルプ() NIFTY MANAGERリリースノート() NIFTY MANAGER*() NIFTY SERVEサインアップ*() NIFTY SERVEサインアップヘルプ() インターネット経由接続について() ダイヤルアップネットワークの設定() データベース変換プログラム()	
pcANYWHERE プラス	pcANYWHERE プラス* pcANYWHERE プラスの削除 リリースノート	
PCIセットアップ ユーティリティ	PCIセットアップユーティリティ PCIセットアップユーティリティ 実行用FD作成	
PC-VANナビゲータ	PC-VANナビゲータアンインストーラー PC-VANナビゲータ* PC-VANナビゲータヘルプ	
アクセサリ	Fax	FAXメッセージの要求 新しいFAXメッセージの送信 送付状エディタ
	インターネット ツール	インターネット エクスプローラ*
	ゲーム	Hover ソリティア ハーツ フリーセル マインスイーパ
	システム ツール	システム モニター スキャンディスク デフラグ ドライブスペース ネット ウォッチャー バックアップ リソース メーター 圧縮エージェント 受信トレイ修復ツール
	マルチメディア	98プレーヤー* ActiveMovie コントロール CD プレーヤー サウンド レコーダー ボリュームコントロール メディア プレーヤー

	Imaging オンライン登録 ケーブル接続 ダイヤラー ダイアルアップ ネットワーク ハイパーターミナル ヒントとツアー ペイント メモ帳 ワードパッド 外字エディタ 電卓 文字コード表
スタートアップ	(なし)
海外ゲーム対応 ユーティリティ	お読みください 海外ゲーム対応ユーティリティ 海外ゲーム対応ユーティリティの削除
98Timer* Microsoft Exchange Microsoft NetMeeting MS-DOS プロンプト The Microsoft Network エクスプローラ 補足説明	

索引

記号

98Timer	46
98Timerの削除	157
98Timerの追加	167
98プレイヤー	22

A

AOL	14
AOLへのご招待の削除	157
AOLへのご招待の追加	170

B

BIGLOBE	3
BIGLOBEの削除	154
BIGLOBEの追加	166

C

CDを再生する	23
---------	----

D

DMIT00L	36
DMIT00Lの削除	155
DMIT00Lの追加	167
DOS APインストーラ	75
DOS APインストーラの注意事項	82

L

LANシリーズのデータを見る	71
LANによる接続	88

M

Microsoft Chat 2.0の削除	153
Microsoft NetMeeting	145
Microsoft NetShow Playerの削除	153
Microsoft Walletの削除	154
MPEG動画を再生する	32

N

NECAIIME95	62
NECAIIME95ツールバー	62
NEC Soft MPEG1.0	32
NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項	33
NEC Soft MPEG1.0の削除	160
NEC Soft MPEG1.0の再追加	169
NetMeeting	145
NIFTY MANAGERの削除	17
NIFTY MANAGERのインストール	15
NIFTY MANAGERの起動	17
NIFTY-SERVEに接続する	17

O

Outlook Express	126
Outlook Expressを起動する	126

P

PC-VANナビゲータ	3
PC-VANナビゲータの起動	11
PC-VANナビゲータの削除	158
PC-VANナビゲータの追加	166
PC-VANに接続する	11
pcANYWHEREプラス	52
pcANYWHEREプラスの削除	158
pcANYWHEREプラスの追加	168

R

Real Player 4.0の削除	154
--------------------	-----

V

VirusScan	58
VirusScanの削除	159
VirusScanの追加	170

ア

アプリケーションを削除する	148
アンインストール機能を使って削除する	158

イ	
インターネットエクスプローラ	113
インターネットエクスプローラの削除	152
インターネットエクスプローラの追加	164
インターネット接続	100
インターネット接続ウィザード	89
インターネットに接続する	88
インターネットメール	126

ウ	
ウイルススキャン	58
ウイルスの検査	58
受け取った電子メールを読む	134

エ	
英語モードフォント	73

オ	
オーディオCD	22
オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する	29
オーディオCDを聴く	24

カ	
海外ゲーム対応ユーティリティの削除	159
海外ゲーム対応ユーティリティの追加	168
かな漢字変換(NECA IIME95)	62

コ	
コントロールパネルを使って削除する	150
コンピュータウイルスに備える	58

サ	
削除したアプリケーションを再追加する	161

シ	
自動的にウイルスを削除する	60
手動でウイルスを削除する	61

ス	
スキャンワクチン	58

ツ	
ツール一覧	174

テ	
電子メールをまとめて送る	142
添付アプリケーションの削除	151
添付アプリケーションの追加	162

ニ	
日本語モードフォントの切り替え	74

ネ	
ネットミーティング	145

ハ	
パソコン通信	2

ヒ	
ビデオCD	22
ビデオCD(カラオケCD)を再生する場合のご注意	34
ビデオCD(カラオケCD)を見る	26

フ	
フォトCD	22
フォトCDを見る	30
プロダクトの選択	161

メ	
メールを送る	138
メールを読む	134
メディアプレーヤー	34

モ	
モデムによる接続	97

ヨ	
読むメールを選ぶ	135

98 MATE

アプリケーション操作ガイド
98MATE
(Windows 95インストール)

四版 1998年12月

NEC

P

808-882706-013-A

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。

